

## パーソナルコンピューター VGN-E シリーズ 取扱説明書

# MIO

パーソナルコンピューター

# VGN-E シリーズ

Microsoft® Windows® XP Home Edition 搭載モデル

#### お買い上げいただきありがとうございます。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を 使う前の必要な準備について説明しています。この説明書を よくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みに なったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してくだ さい。







## 目次

サービス・サポート
バイオ電子マニュアル 目次6
安全規制について8
安全のために11
はじめに
付属品を確かめる20
説明書・その他 21
各部の説明22
本機正面22
本機右側面26
本機左側面27
本機後面30
本機底面31
キーボードの各部名称
リモコンの各部名称 (VGN-E70B/S・E70B/B)
本機をセットアップする
準備する36
1 バッテリを取り付ける36
<b>②</b> リモコンを準備する (VGN-E70B/S·E70B/B)
電源を入れる38
バッテリを上手に使うには <b>39</b>
電源を切るには39
Windowsを準備する40
「Norton AntiVirus」ソフトウェアを インストールする42
カスタマー登録する43
VAIOカスタマー登録について43
<b>VAIO</b> カスタマー登録の方法43
VAIOカスタマー登録情報を変更するには47

基本設定を行う	_48
アンテナにつなぐ (VGN-E70B/S・E70B/B)	. 48
バイオの基本設定をする	
インターネットを始める	
インターネットとは	_52
ホームページを見る	. 52
電子メールをやりとりする	. 52
情報を発信する	. 52
インターネット接続方法の種類について	_53
インターネット接続に必要なものは	_54
インターネット上のトラブルについて	_56
インターネットに接続するまでの流れ	_57
インターネットに接続したあとは	. 57
一般電話回線/ADSL/ISDN/	
CATVインターネット回線につなぐ	_58
一般の電話回線につなぐときは	. 58
ADSL接続サービスを利用するときは	
ISDN回線を利用するときは	
CATVインターネット回線を利用するときは	. 60
チェックシートを作成する	_60
設定項目について	. 62
ADSLでインターネットに接続する	_64
一般電話回線でインターネットに接続する	
(モデム搭載モデル)	
接続のための設定をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
インターネットに接続する	
接続を切断するには	. 71
電子メールソフトウェアの設定をする	_72
電子メールの設定を変更するには	. 73
電子メールをやりとりする	_74
セキュリティについて	_77

### その他

メモリモジュールを取り付ける/	
取りはずす	
メモリモジュールを取り付けるには	80
メモリモジュールを取りはずすには	83
リカバリについて	84
リカバリの種類/方法	85
リカバリの準備(バックアップ)	88
バックアップしたデータを戻す	90
リカバリディスクを作成する	91
リカバリに使用するディスクについて	
リカバリディスクを作成するには	_
リカバリする	
Windowsからリカバリする	
<b>Windows</b> が起動しない状態でリカバリする . 本機をお買い上げ時状態に戻す	
パーティションサイズを変更する	
パーティションとは	
パーティションサイズを変更するには	
ハードディスク上のリカバリ領域を削除する.	101
使用上のご注意	103
お手入れ	107
コンピュータ廃棄時などのハードディスク	Ł
のデータ消去について	_ 108
付属ソフトウェアのお問い合わせ先	109
困ったときは	
困ったときは	116
バイオ電子マニュアル Q & A 一覧	
よくあるトラブルと解決方法	
電源/起動	
テレビ再生/録画	
文字入力/キーボード	
タッチパッド 画面/ディスプレイ	
画面/ディスノレイ	
ハードディスク	
エラーメッセージ	
エノーヘッピージ	140

### サービス・サポート

VAIOカスタマー登録について	142
「VAIO Update」を利用するには	143
バイオ内の情報を調べる	144
VAIOカスタマーリンクのホームページを 確認する	146
VAIOカスタマーリンクに電話で 問い合わせる	148
修理を依頼されるときは	150
その他のサービスとサポート	153
お問い合わせ先について	155
お客様の個人情報のお取扱いについて	157
主な仕様	158
索引	160

#### **次ページに続く**

本書に記載以外のさらに詳しい情報は、「バイオ電子マ ニュアル」に掲載しています。

「バイオ電子マニュアル」の目次は次ページをご覧ください。

#### バイオ電子マニュアル 目次

本機には「バイオ電子マニュアル」をプレ インストールしています。このマニュアル 内の情報(下記)もご覧ください。



#### 「バイオ電子マニュアル」の起動方法

[バイオ電子マニュアル] の順にクリック してください。

#### はじめてのバイオ

- ─■ はじめてのインターネット
- ─■ How to VAIO
- → できるWindows for VAIO

#### バイオの使いかた

- ─■ 各部の説明
- -■ 電源/バッテリ/省電力
- **-■** キーボード/タッチパッド/リモコン
- -■ ディスプレイ/音
- CD/DVD
- **-** "メモリースティック" /フロッピー ディスク/メモリカードアダプタ
- **─■** Do VAIOを楽しむ
- --■ 音楽
- --■ 静止画/動画
- ─■ テレビ
- **─■** インターネット/電子メール
  - ─■ 接続/拡張
- **─■** データのやりとり/保存
- -■ ワイヤレス機能
- —■ 設定
- **-■** ご注意/その他

#### 困ったときは/サポート

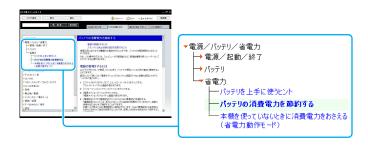
- よくあるトラブルと解決方法
  - 電源/起動
  - → パスワード
- → 省電力動作モード
- → インターネット接続
- ◆ インターネット閲覧
- → 電子メール
- → ワイヤレスLAN
- → テレビ再生/録画
- → リモコン (VGN-E70B/S・E70B/B)
- ◆ 文字入力/キーボード
- → タッチパッド
- **→** 画面/ディスプレイ
  - 輝度ボタン
- **→** 拡大ボタン
- → CD / DVDディスク
- → フロッピーディスク
- **→** "メモリースティック"
- **→** PCカード
- → メモリカードアダプタ
- → スピーカー/ヘッドホン
- → マイク
- → プリンタ
- → i.LINK / DV機器
- → ハードディスク
- → プロセッサ (CPU)
  - → ファン
- → メモリ
- → ソフトウェア
- → エラーメッセージ
- → カスタマー登録
- → リカバリ (再セットアップ)
- ╼ バイオを診断する
- バイオ内の情報を検索する
- **-■** サポートのホームページを見る
- お問い合わせ先について
- **─■** サービスサポートのご案内

#### ソフト活用ナビ

- ─■ How to VAIO
- → 付属ソフトご紹介/お問い合わせ先
- —■ バイオアップデート
- **-■** ソニーのホームページ

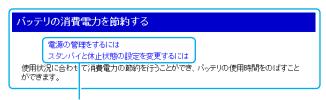
#### バイオ電子マニュアルはこのように使います

#### 例: バッテリの消費電力を節約する方法を知りたいとき



#### 知りたい情報がすぐに見られる

見出しの下にある青色の文字で記載された部分をクリックすると、ページ内の該当項目にジャンプすることができます。



青色の文字(ポインタをあてると下線がひかれる文字)

#### この項目に関連する情報を見たいときは

文中に【詳細】がある場合は、クリックすると別ウィンドウに情報が表示されます。

#### スタンバイと休止状態の設定を変更するには

液晶ディスプレイを閉じたときや (パワー)ボタンを押したときなどに移行する省電力動作モート(詳細)と設定します。

#### このページに関連する情報をさらに見たいときは

ページの最後にある「ここにも注目」の下にある青色の文字をクリックすると、該当ページにジャンプします。



青色の文字(ポインタをあてると下線がひかれる文字)

### 安全規制について

#### 電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を 受けています。認証機器名は次のとおりです。

認証機器名:PCG-9Q1N/9Q3N

#### 電波法に基づく認証について

本機内蔵のワイヤレスLANカードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカードを分解/改造すること
- 本機内蔵のワイヤレス LANカードに貼られている証明ラベルをはがすこと

#### 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

#### 漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、それぞれ社団法 人電子情報技術産業協会(旧JEIDA)のパソコン基準 (PC-11-1988)に適合しております。

#### 瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパー ソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足し ております。

しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、 不都合が生じることがあります。

(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコン ピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示) ただし、バッテリ未搭載でACアダプタを使用している場 合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

#### レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準(JIS·C-6802) クラス1 適合の DVD  $\pm$  RW ドライブが搭載されています。

#### 高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

#### 無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

#### 本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIO カスタマーリンクまでお問い合わせください。VAIO カスタマーリンクについては、付属の「バイオ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

### 2. 4DS/0F4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式として DS-SS変調方式および OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

#### ワイヤレス LAN製品ご使用時における セキュリティについて

ワイヤレス LANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。

セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの 仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が 発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあ らゆる損害に対する責任を負いかねます。

詳細については、

http://vcl.vaio.sony.co.jpnoticessecurity\_wirelesslan.html をご覧下さい。

#### ワイヤレスLAN機能について

本機内蔵のワイヤレス LAN機能は WFA (Wi-Fi Alliance) で規定された「Wi-Fi (ワイファイ) 仕様」に適合していることが確認されています。

#### マクロビジョンについて

本機は、米国特許およびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバースエンジニアリングまたは分解は禁止されています。

#### 著作権について

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、著作者の許可なく、取り込んだ映像・画像・音声に変更・切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうことは禁じられています。
- 著作権保護の信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組、または「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は、録画することができません。
- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定を ご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。
- CD-ROMや音楽CDからのコピーの作成およびその利用は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの作成およびその利用にあたっては、オリジナルCDの使用許諾条件および著作権法を遵守してください。

• 各種サービスは、都合によりソニーおよび提供者の判断にてご提供を中止・中断する場合があります。その場合、対象ソフトウェアまたは対象ソフトウェアの一部機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

#### 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをは じめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための 国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー 消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、 普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断によ り参加することができる任意制度となっております。対 象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、 ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

#### 充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



#### l i-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店 に関する問い合わせ先:

社団法人電池工業会

ホームページ: http://www.baj.or.jp

#### 使用済みコンピュータの回収について



リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金 負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。

詳細はソニーのホームページ

http://www.sony.co.jp/pcrecycle/

をご参照ください。

#### 個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部

の パイオの使いがた タブをクリックし、画面左側にある [ご注意/その他]→[その他]→[使用済みコンピュータの回収について]の順にクリックして表示される情報を ご覧ください。

#### 事業者のお客様へ

事業で(あるいは、事業者が)で使用になりましたバイオ を廃棄する場合は、http://www.sony.co.jp/pcrecycle/ よ り、事業者向けのページをご覧ください。

#### アナログ放送からデジタル放送への 移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。

該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。

地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年末までに終了することが、国の方針として決定されています。

#### この説明書の説明図や画面について

この説明書で使われている説明図や画面は実際のものとは異なる場合があります。特に指示のない限り、本文中の説明図にはVGN-E70B/Sを使用しています。

#### △警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

#### 安全のための注意事項を守る

12~18ページの注意事項をよくお読みください。 製品全般の注意事項が記載されています。

#### 故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼 ください。

#### 万一異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビ ネットを破損したとき





②電源コードや接続 ケーブルを抜き、 バッテリを取り はずす

**③** VAIOカスタマー リンク修理窓口、 または販売店に 点検・修理を依頼 する

#### データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって 保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、 記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その 責任を負いません。

#### 警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### 危険

この表示の注意事項を守らないと、 火災・感電・破裂などにより死亡や 大けがなどの人身事故が生じます。

#### ⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、 火災・感電などにより死亡や 大けがなどの人身事故につながる ことがあります。

#### 注意

この表示の注意事項を守らないと、 感電やその他の事故によりけがを したり周辺の物品に損害を 与えたりすることがあります。

#### 注意を促す記号







#### 行為を禁止する記号









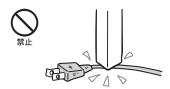
#### 行為を指示する記号





下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

#### 電源コードを傷つけない



電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

#### 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に は置かない



上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。この説明書に記されている使用条件以外の環境でので使用は、火災や感電の原因となります。

#### 内部に水や異物を入れない



水や異物が入ると火災や感電の原因となります。 万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源 コードや接続ケーブルを抜いてください。

#### モデムは一般電話回線以外に接続しない



本機の内蔵モデムをISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機(PBX)へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱・火災の原因となります。

特に、ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などには、 絶対に接続しないでください。

#### 内部をむやみに開けない



- 本機および付属の機器(ケーブルを含む)は、むやみに 開けたり改造したりすると火災や感電の原因となり ます。
- メモリモジュールを取り付けたり、取りはずすときは、「メモリモジュールを取り付ける/取りはずす」(80ページ)に従って注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

#### 指定のACアダプタ以外は使用しない



火災や感電の原因となります。

#### ひざの上で長時間使用しない



禁止

長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの 原因となります。

#### 本機は日本国内専用です



本機に内蔵されているモデムは国内専用です。 海外などでモデムを使用すると、火災・感電の原因となる ことがあります。

#### よ(ネットワーク/LAN)コネクタに指 定以外のネットワークや電話回線を接 続しない



本機の 品 (ネットワーク/LAN) コネクタに次のネット ワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流 が流れ、発熱、火災の原因となります。

特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に 接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

また、子(ネットワーク/LAN)コネクタをお使いになると きは、職場などのネットワーク管理者にご相談ください。

#### 落雷のおそれがあるときは本機を使用 しない



落雷により、感電することがあります。雷が予測されると きは、火災や感電を防ぐためにアンテナプラグやテレホ ンコード、電源プラグを抜いてください。また、雷が鳴り だしたら、本機には触らないでください。

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤 動作させるおそれがあり事故の原因となります。

#### 満員電車の中など混雑した場所ではワ イヤレス機能を使用しない



付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可 能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作 に影響を与えるおそれがあります。

#### 心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm以上離して使用する



電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれ があります。

#### 病院などの医療機関内、医療用電気機器 の近くではワイヤレス機能を使用しない



電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事 故の原因となるおそれがあります。

#### 航空機内ではワイヤレス機能を使用し ない



電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるお それがあります。

#### 本製品を使用中に他の機器に電波障害 などが発生した場合は、ワイヤレス機能 を使用しない



電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるお それがあります。

下記の注意事項を守らないと、健康を害するお それがあります。

#### ディスプレイ画面を長時間続けて見ない



ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れ たり、視力が低下するおそれがあります。

ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを 感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してくだ さい。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医 師の診察を受けてください。

#### キーボードを使いすぎない



キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、 腕や手首が痛くなったりすることがあります。

キーボードやタッチパッドを使用中、体の一部に不快感 や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息 してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれない ときは医師の診察を受けてください。

#### 大音量で長時間つづけて聞きすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞く と、聴力に悪い影響を与えることがあります。 特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。 呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺 の物品に損害を与えたりすることがあります。

#### ぬれた手で電源プラグにさわらない





ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因 となることがあります。

#### 接続するときは電源を切る



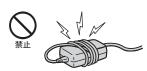
ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接 続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから 抜いてください。感電の原因となることがあります。

#### 指定された電源コードや接続ケーブル を使う



この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを 使わないと、感電の原因となることがあります。

#### 電源コードや接続ケーブルを ACアダプタ に巻き付けない



断線の原因となることがあります。

#### 排気口、吸気口をふさがない



排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物(じゅうたんや毛布など)の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

#### 排気口からの排気に長時間あたらない



本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が 排出されることがあります。

この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

#### 通電中の本機やACアダプタに長時間 ふれない



長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの 原因となることがあります。

#### 本機やACアダプタを布や布団などで おおった状態で使用しない



熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

#### 安定した場所に置く



ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

#### 本機の上に乗らない、重いものを載せない



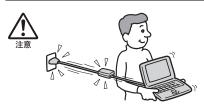
壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

#### お手入れの際は、電源を切って電源プラグ を抜く



電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

#### 移動させるときは、電源コードや接続 ケーブルを抜く



接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 また、本機を落とさないようにご注意ください。

#### コネクタはきちんと接続する



- コネクタの内部に金属片を入れないでください。 ピンとピンがショート(短絡)して、火災の原因となる ことがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。 斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災 の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、そ れらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

#### 長時間使用しないときは電源プラグを 抜く



セントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコン セントから抜いてください。

#### 直射日光のあたる場所や熱器具の近く に設置・保管しない



内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

#### 液晶画面に衝撃を与えない



重い物をのせたり、落としたりしないでください。 液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、 けがの原因となることがあります。

#### ディスプレイパネルの裏側を強く押さない



液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあり ます。

#### 本機に強い衝撃を与えない



故障の原因となることがあります。

#### 電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、次の注意事項を 必ずお守りください。

#### <u></u> 危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
   落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを 載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因と なります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本機に付属または指定された別売りのバッテリをご 使用ください。
- 以下のバッテリを使用した場合の安全性は保証できません。
- 本機に付属、または指定された別売りのバッテリ以外を使用した。
  - 分解、改造を行ったバッテリを使用した。

### ⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

### ⚠警告

#### アルカリ電池の液が漏れたときは



素手で液をさわらない

アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、 失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そ のときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が たってから症状が現れることがあります。





必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水 などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を 受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で 十分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状が あるときは、医師に相談してください。

#### 電池は乳幼児の手の届かない所に置く





電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となる ことがあります。

万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

## 電池を火の中に入れない、加熱・分解・ 改造・充電しない、水で濡らさない

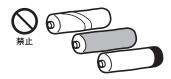


破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

#### ⚠注意

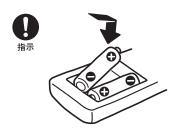
次の注意事項を守らないと故障の原因となることがあり ます。

市販のアルカリまたはマンガン電池(単三型)以外の電池をリモコンに使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない



使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない 電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりし て、けがややけどの原因となることがあります。

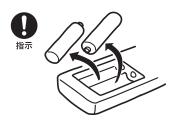
#### +と-の向きを正しく入れる



+と-を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

#### 使い切ったときや、長時間使用しないと きは、電池を取り出す



電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、 けがややけどの原因となることがあります。

#### 本機の発熱についてのご注意

#### 使用中に本機の表面やACアダプタ、 バッテリが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、 故障ではありません。使用している拡張機器やソフト ウェアによって発熱量は異なります。

#### 本機やACアダプタが普段よりも異常に 熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、 バッテリを取りはずしてください。次に、VAIOカスタ マーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

# はじめに



# 付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、**VAIO**カス タマーリンクに*ご*連絡ください。

なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

#### □ パソコン本体



□ ACアダプタ



□ 電源コード



ロ バッテリ



□ アンテナ変換プラグ(VGN-E70B/S・E70B/B)



□ S VIDEO変換ケーブル(VGN-E70B/S・E70B/B)



□ リモコン本体(VGN-E70B/S・E70B/B)



リモコン用単3マンガン乾電池(VGN-E70B/S・E70B/B、2)



□ リモコン用受光ユニット(VGN-E70B/S・E70B/B)



□ メモリカードアダプタ(メモリースティック/メ モリースティックPRO/SDメモリーカード/ スマートメディア/マルチメディアカード対応)



#### 説明書・その他

- □ 取扱説明書
- □ VAIOで楽しもう!
- □ 「Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> XP Home Edition」 ファースト ステップ ガイド
- □ VAIOカスタマー登録・保証書お申込書
- □ VAIOカルテ
- □ ソフトウェア使用許諾契約書
- □ その他パンフレット類
- プロバイダを選ぶ際は、「できるインターネットプロバイダー選び&オンラインサービス編」をご活用ください。
- 大切な情報が記載されている場合があります。必ずご 覧ください。

#### ミヒント

本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(109ページ)をご覧ください。

□ Microsoft<sup>®</sup> Office Personal Edition 2003\* プレインストールパッケージ CD-ROM

お買い上げ時にプレインストールされています。起動 方法について詳しくは「付属ソフトウェアのお問い合 わせ先」の「ワープロ・表計算」(111ページ)をご覧く ださい。

\* この説明書では以降、Office Personal 2003と略します。

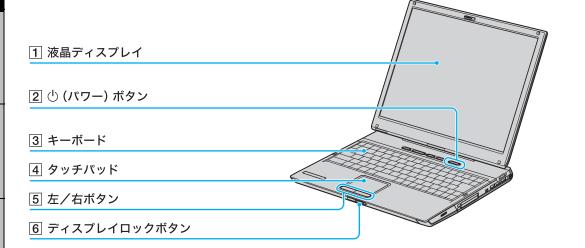
#### ドヒント

本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。 詳しくは「リカバリについて」(84ページ)をご覧ください。

## 各部の説明

詳しい説明は、()内のページ、または「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

#### 本機正面



- 1 液晶ディスプレイ(103、135ページ)
- 2 (パワー)ボタン(38ページ)
- 3 キーボード (32ページ)

4 タッチパッド(133ページ)

マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。

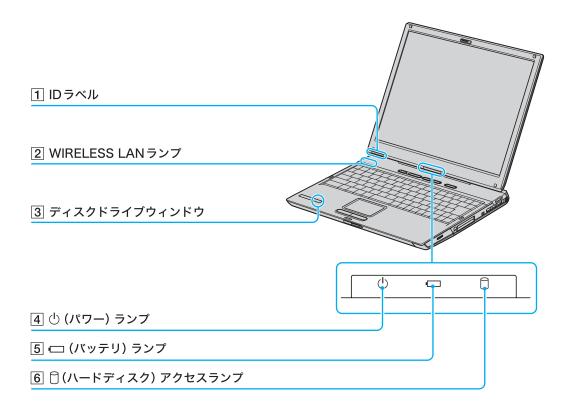
5 左/右ボタン

マウスの左/右ボタンに相当します。

6 ディスプレイロックボタン

ディスプレイパネルを開くときは、ディスプレイロックボタンを押しながら開きます。

本機を起動中にディスプレイロックボタンを押すと、 液晶ディスプレイのバックライトが一時的に消えま すが、はなすと元に戻ります。



1 IDラベル

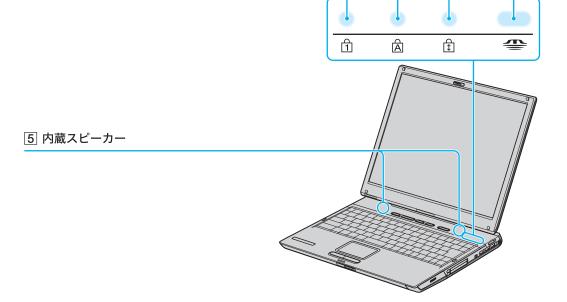
型名が記載されています。

- ② WIRELESS LANランプ ワイヤレス LANが使える状態のときに点灯します。
- ③ **ディスクドライブウィンドウ** ディスクが入っているかを確認することができます。
- 4 (パワー)ランプ(38ページ)

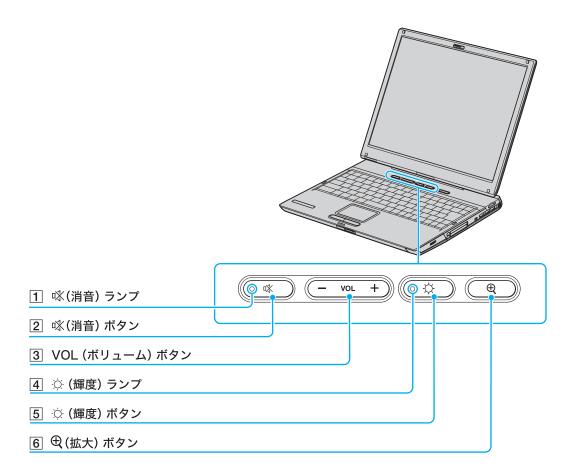
電源が入ると点灯(グリーン)します。スタンバイモード時には点滅(アンバー(赤褐色))します。

- (バッテリ)ランプバッテリの動作状態をお知らせします。
- ⑥ (ハードディスク) アクセスランプ ハードディスクにアクセスしているときに点灯します。

- 1 (メモリースティック) アクセスランプ
- ② 🐧 (Scroll Lock) ランプ
- ③ 🛕 (Caps Lock) ランプ
- 4 1 (Num Lock) ランプ



- ① ◆ (メモリースティック) アクセスランプ "メモリースティック" にアクセスしているときに点 灯します。
- 2 ① (Scroll Lock)ランプ
- ③ △ (Caps Lock) ランプ(33ページ) Caps Lock キーを有効にすると点灯します。
- 4 **① (Num Lock) ランプ (32ページ)**Num Lock キーを有効にすると点灯します。
- 5 内蔵スピーカー



1 ※(消音)ランプ

消音時に点灯します。

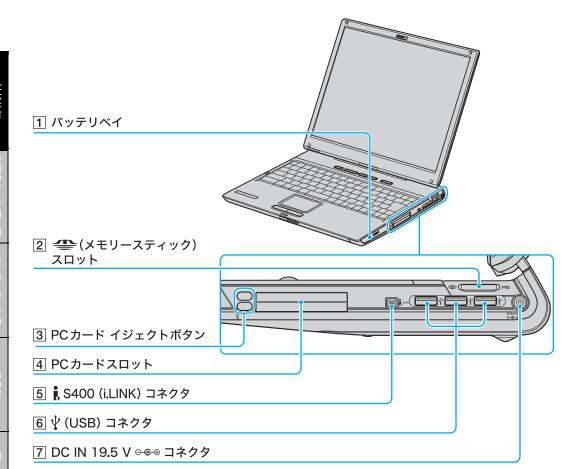
- ② **%(消音)ボタン** スピーカーやヘッドホンの音声を入/切します。
- ③ VOL(ボリューム)ボタン スピーカーやヘッドホンの音量を調節します。
- [4] ☆(輝度)ランプ 液晶ディスプレイの明るさが最大の場合に点灯します。

#### 5 ○ (輝度)ボタン

画面の明るさを変更します。 液晶ディスプレイの明るさが最大のときに(輝度)ボタンを1回押すと、画面が暗くなります。もう1回押 すと、最大の明るさに戻ります。

### ⑥ ⊕ (拡大)ボタン

画面を拡大表示します。 ボタンを押すと、解像度が変更されて画面が拡大表示 されます。もう1回押すと、前の設定に戻ります。



#### 1 バッテリベイ

バッテリを取り付けます。

- 2 金メモリースティックスロット
  - "メモリースティック"を挿入します。 "メモリースティック デュオ"もそのままお使いになれます。
- ③ PCカード イジェクトボタン PCカードを取り出します。
- 4 PCカードスロット (105ページ)

#### 5 S400(i.LINK)コネクタ

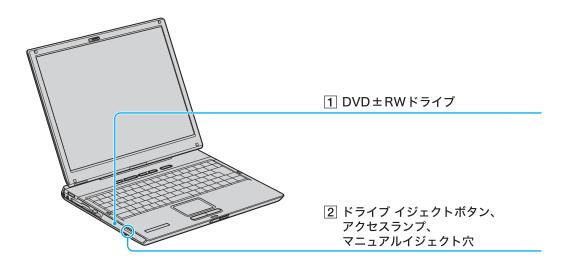
i.LINK端子の付いた他の機器とデータをやりとりで きます。

6 ♀ (USB)コネクタ

USB規格に対応した機器をつなぎます。

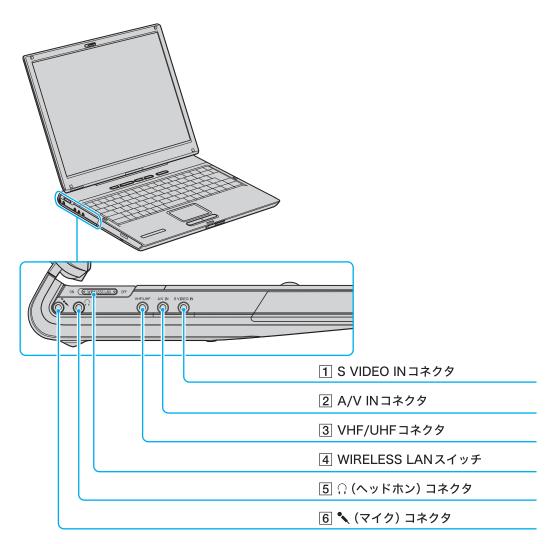
7 DC IN 19.5 V<sub>○</sub>-**②**-**②**-**③** コネクタ (38ページ) ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

### 本機左側面



DVD±RWドライブ以降、ドライブと略します。

② ドライブ イジェクトボタン/ アクセスランプ/ マニュアルイジェクト穴



#### 1 S VIDEO INコネクタ

ビデオデッキやアナログビデオカメラなどのS VIDEOの出力をつなぎます。

#### 2 A/V INコネクタ

ビデオデッキなどの出力をつなぎます。

#### 3 VHF/UHFコネクタ

アンテナを接続し、本機でテレビ番組を見ることができます。

#### 4 WIRELESS LANスイッチ

ワイヤレスLANの機能をオン/オフします。

#### 5 (ヘッドホン)コネクタ

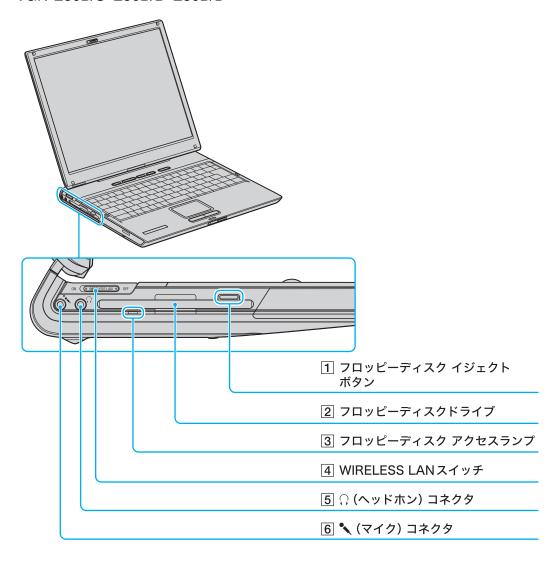
外部スピーカーやヘッドホンをつなぎます。

#### **6 ९** (マイク)コネクタ

マイクをつなぎます。

ヘッドホンコネクタと区別がしやすいように、マイクコネクタの右上に突起がついています。 マイクをお使いになるときは、誤ってヘッドホンコネクタに接続しないようにご注意ください。

#### VGN-E50B/S•E50B/B•E50B/D



- 1 フロッピーディスク イジェクトボタン
- 2 フロッピーディスクドライブ
- ③ フロッピーディスク アクセスランプ
- 4 WIRELESS LANスイッチ ワイヤレス LANの機能をオン/オフします。

#### 5 (ヘッドホン)コネクタ

外部スピーカーやヘッドホンをつなぎます。

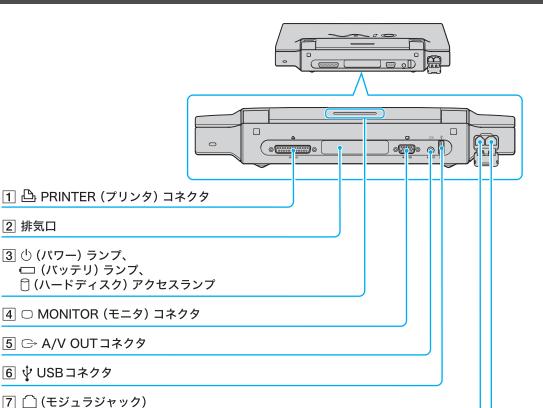
#### ⑥ へ (マイク)コネクタ

マイクをつなぎます。

ヘッドホンコネクタと区別がしやすいように、マイクコネクタの右上に突起がついています。

マイクをお使いになるときは、誤ってヘッドホンコネクタに接続しないようにご注意ください。

2 排気口



1 A PRINTER (プリンタ)コネクタ プリンタをつなぎます。

8 器 (ネットワーク/LAN) コネクタ

2 排気口

⑥ ♥ USBコネクタ

- ③ (パワー)ランプ(38ページ) / ← (バッテリ) ランプ/ 🗋 (ハードディスク) アクセスランプ
- 4 MONITOR(モニタ)コネクタ 外部ディスプレイや液晶プロジェクタをつなぎます。
- ⑤ A/V OUTコネクタ テレビをつなぎます。

- ⑥ ♥USBコネクタ USB規格に対応した機器をつなぎます。
- 7 □ (モジュラジャック) (59ページ) 電話回線をつなぎます。
- 图 器 NETWORK (ネットワーク/LAN) コネクタ LANケーブルなどをつなぎます。 LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに 接続するときに使います。

### 本機底面

#### 1 吸気口

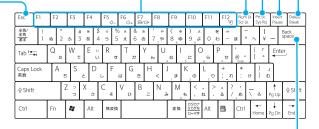


#### 1 吸気口

#### キーボードの各部名称

各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

- 1 Delete (デリート) キー
- 2 Insert (インサート) キー
- ③ Prt Sc (プリントスクリーン) キー
- 4 Num Lk (ナムロック) キー
- 5 ファンクションキー
- 6 Esc (エスケープ) キー



- 7 Backspace (バックスペース) キー
- 1 Delete (デリート)キー

カーソルの右側の文字を消します。

2 Insert(インサート)キー

文字入力モードを切り替えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとにカーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り替えることができます。使用するソフトウェアによっては働かない場合があります。

3 Prt Sc(プリントスクリーン)キー

表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。Altキーを押しながらこのキーを押すと、選択されているウィンドウだけを取り込みます。取り込んだ画像は「ペイント」などのソフトウェアで保存、加工、印刷できます。

#### 4 Num Lk(ナムロック)キー

テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、キーボードの右上にある ① (Num Lock) ランプが点灯します。もう1度 Num Lkキーを押すと、消灯します。

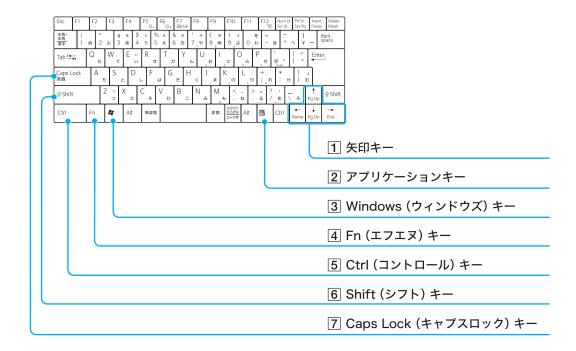
#### 5 ファンクションキー

使用するソフトウェアによって働きが異なります。 Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

6 Esc(エスケープ)キー

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押し ます。

**7** Backspace (バックスペース) キーカーソルの左側の文字を消します。



#### 1 矢印キー

カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。

#### 2 アプリケーションキー

タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きを します。

#### 3 Windows(ウィンドウズ)キー

Windowsの「スタート」メニューが表示されます。 他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

#### 4 Fn(エフエヌ)キー

キーボード上で紫色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

#### 5 Ctrl(コントロール)キー

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

例)Ctrlキーを押しながら、Sキーを押す。

メニューから「保存する」を選ばずに、ファイルを保存できます。

#### 6 Shift(シフト)キー

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。また、文字キーと他の機能キーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

#### 7 Caps Lock (キャプスロック)キー

Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押し、

キーボードの右上にある 🗟 (Caps Lock) ランプが点 灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。

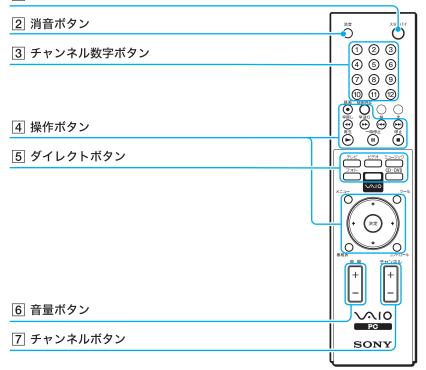
もう1度、Shiftキーを押しながらこのキーを押すと、

△ (Caps Lock) ランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。

#### **リモコンの各部名称(VGN-E70B/S•E70B/B)**

本機に接続したリモコン用受光ユニット(36ページ)にリモコンを向けて、Do VAIOを操作できます。

#### 1 スタンバイボタン



#### 1 スタンバイボタン

本機の動作中にスタンバイにします。

#### !ご注意

録画中や録画予約開始5分前以降など、ソフトウェアの状態によってはスタンバイにできないことがあります。

#### 2 消音ボタン

一時的に音を消します。もう1度押すと音が出ます。

#### 3 チャンネル数字ボタン

チャンネルを選択します。 **5**ボタンに突起がついています。

#### 4 操作ボタン

ソフトウェアの操作に使用します。 上下左右ボタンに突起がついています。

#### 5 ダイレクトボタン

目的にあったDo VAIOの機能を手軽に表示できます。

#### 6 音量ボタン

音量を調節します。

#### 7 チャンネルボタン

テレビのチャンネルを選択します。 +ボタンに突起がついています。

# 本機をセットアップする

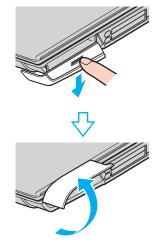
# シーロス・リバー

### 準備する

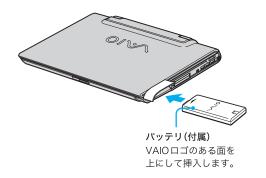
#### 1 バッテリを取り付ける

バッテリの取り付け/取りはずしをする場合は、あらかじめ「バッテリについてのご注意」 (105ページ)をご覧ください。

#### バッテリベイのふたを開ける。



### 2 バッテリを挿入する。



### バッテリベイのふたを閉じる。

「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

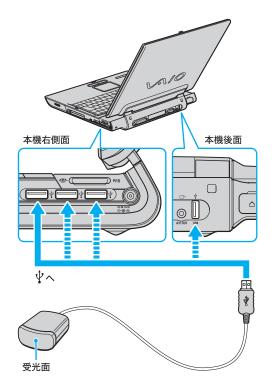
#### 2 リモコンを準備する(VGN-E70B/S・E70B/B)

以下の手順に従って、リモコンを使えるように準備します。

#### □ リモコン用受光ユニットを接続するには

付属のリモコン用受光ユニットを本機の $\Psi$  (USB)コネクタに接続します。

リモコンでの操作について詳しくは、「バイオ電子マニュ



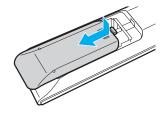
#### !ご注意

- リモコン用受光ユニットは、本機専用です。他の機器 ではお使いになれません。
- リモコン用受光ユニットを設置するときは、以下の点にご注意ください。
  - 受光面をリモコンの信号が受けやすい方向に向けてください。
  - 受光ユニットの受光面とリモコンの発光部の間に 障害物がない場所に設置してください。
- 受光ユニットをUSBハブに接続してご使用の場合、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証は

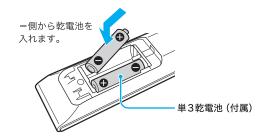
いたしかねます。必ず直接本機の $\checkmark$  (USB) コネクタ に接続してください。

# リモコンを裏返す。

# 2 リモコン裏面の乾電池入れのふたを開ける。



# +と-の方向を確かめて、付属の単3乾 電池を2本入れる。



#### !ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- +と-の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- 乾電池が液もれしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

### 4. 乾電池入れのふたを閉める。

# 電源を入れる

次の手順に従って、本機の電源を入れてください。

#### !ご注意

安全のために、本機に付属または指定された別売りの バッテリおよびACアダプタをご使用ください。

# 1

#### バッテリを取り付ける。

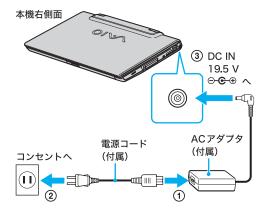
停電や誤ってAC 電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。バッテリの取り付けかたについて詳しくは、「バッテリを取り付ける」(36ページ)をご覧ください。

# 2

#### AC電源をつなぐ。

本機と壁のACコンセントを接続します。

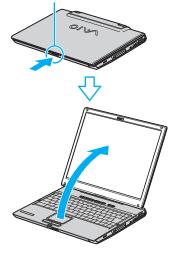
- ① 電源コードのプラグを ACアダプタに差し込む。
- ②電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。
- ③ ACアダプタのプラグを、本機後面のDC IN 19.5 V○-**企**-④ コネクタに差し込む。



# 3

### ディスプレイロックボタンを押しなが ら、ディスプレイパネルを開く。

ディスプレイロックボタン



#### !ご注意

- ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。
- 本機を起動中にディスプレイロックボタンを押すと、 液晶ディスプレイのバックライトが一時的に消えま すが、はなすと元に戻ります。

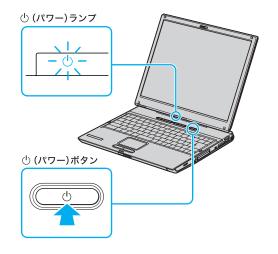
# 4

### 

本機の電源が入り、しばらくしてWindowsが起動します。

#### !ご注意

 $\frac{\Box}{\Box} ( \mathcal{N} \nabla \mathcal{D} - )$  ボタンを 4 砂以上押したままにすると、電源が切れてしまいます。  $\frac{\Box}{\Box} ( \mathcal{N} \nabla \mathcal{D} - )$  ランプが点灯したら指を離してください。



本機の電源をはじめて入れる場合は、Windowsの口ゴの 画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへよ うこそ」画面が表示されます。

「Windows を準備する」(40ページ)の手順に従って、Windows のセットアップを行ってください。

#### !ご注意

「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。

途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の 原因となります。

 本機を安心してご使用になるために、大切なデータを 失わないための対策や第三者から本機を守るために 「セキュリティについて」(77ページ)をご覧ください。

#### ドヒント

本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、お買い上げ時の設定では、AC電源でで使用中に約30分操作しないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スタンバイ $^{*1}$ )。キーボードのいずれかのキーを押すか、()(パワー)ボタン $^{*2}$ を一瞬押すと、元の状態に戻ります。

また、バッテリでご使用中に約30分操作しないと、自動的に本機の電源を切ります(休止状態 $^{*1}$ )。

元の状態に復帰させるには、()(パワー)ボタンを一瞬押してください。

\*1 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

「バオが使いか」 タブをクリックし、画面左側にある[電源/バッテリ/省電力]→[省電力]→[本機を使っていないときに消費電力をおさえる(省電力動作モード)]の順にクリックして表示される情報をご覧ください

\*2 (パワー)ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

#### バッテリを上手に使うには

早く復帰できます。

本機をバッテリで使用しているときに、次のようなことに 気をつけるとバッテリを長持ちさせることができます。

- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする お買い上げ時の設定は明るくなっています。 液晶ディスプレイは、明るくするより暗いままで使用 するほうがバッテリを長持ちさせることができます。
- 省電力の機能を使う こまめにスタンバイや休止状態にすることで、バッテ リを長持ちさせることができます。 また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも

#### 電源を切るには

次の手順に従って、本機の電源を切ります。

#### !ご注意

必ず次の手順に従って電源を切ってください。手順に 従って電源を切らないと本機の故障の原因となったり、 作成した文書などのファイルが使えなくなることがあり ます。

# [スタート]ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

### メニューの[終了オプション]をクリック する。



ここをクリックする。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

#### ・ヒント

画面は実際のものと異なる場合があります。

# 3 [電源を切る]をクリックする。



ここをクリックする。

数秒後に本機の電源が自動的に切れ、()(パワー)ランプ (グリーン)が消灯します。

液晶ディスプレイパネルを閉じるときは、①(パワー)ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

#### !ご注意

ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。

# Windowsを準備する

本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。 Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフト ウェアやいろいろな機能も使えるようになります。次の 手順に従って、Windowsを使う準備をします。

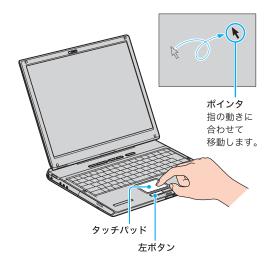
#### ドヒント

- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失 われてしまうことのないよう、次の操作を行う前に付 属のバッテリを本機に取り付けてください。 取り付けかたについては「準備する」(36ページ)をご 覧ください。
- タッチパッドやキーボードの使いかたについては、 「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

「Microsoft Windowsへようこそ」画面が 表示されたら、画面右下にある[次へ]を クリックする。

タッチパッドに触れて指を動かし、[次へ]の上までポイ ンタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに

これを「クリックする」と言います。





「使用許諾契約」画面が表示されます。

2

画面に表示された内容を読み、内容に同意 するときは[同意します]の ○をクリック して◎にし、「次へ]をクリックする。

> ここをクリックすると、 文章が上下に移動する。



[同意しません]の ()をクリックすると、Windowsの準 備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェ アはお使いになれません。

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示され ます。

3

必要な場合はコンピュータ名を変更し、 [次へ]をクリックする。

コンピュータ名は、本機をネットワークに接続して使用 する場合にコンピュータを識別するために必要です。「こ のコンピュータの名前」の欄に自動的に表示されますが、 必要な場合は認識しやすい名前に変更してください。 また、コンピュータにわかりやすい説明をつけることも できます。その場合は「コンピュータの説明」欄に入力し てから[次へ]をクリックしてください。

Windows XP Home Edition搭載モデルをお使いの場合 は、手順6へ進んでください。

4. 「管理者パスワードを設定してください」 画面が表示されたら、「管理者パスワード」 と「パスワードの確認入力」の欄にパス ワードを入力し、「次へ」をクリックする。

5 「このコンピュータをドメインに参加させますか?」画面が表示されたら、ネットワーク環境に合わせて設定し、[次へ]をクリックする。

「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした。」画面が表示されたら、[省略]をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか?」画面が表示されます。

#### ・ヒント

「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面でお使いのデバイスの ○をクリックして [次へ]をクリックすると、デバイスによってはインターネットへ接続するための設定画面が表示されます。

その場合は画面の指示に従って操作してください。 また、インターネットに接続するための設定は、Windows のセットアップ完了後にも行うことができます。詳しくは 「インターネットを始める」(52ページ)をご覧ください。

7 [いいえ、今回はユーザー登録しません]の○をクリックして◎ にし、[次へ]を クリックする。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」 画面が表示されます。



#### ドヒント

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか?」画面で、[はい、今すぐユーザー登録します]を選んで[次へ]をクリックすると、マイクロソフトへのオンライン登録ができます。ただし、オンライン登録するには本機を電話回線に接続しておく必要があります。

インターネットに接続するための設定について詳しくは「インターネットを始める」(52ページ)をご覧ください。

3 ユーザーの名前を入力し、[次へ]をクリックする。

複数のユーザーを入力した場合、ここで入力した名前は、本機の電源を入れたときに表示される「ようこそ」画面に表示されます。Windowsを起動するときは、表示された名前をクリックします。

Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バオの使いかた タブをクリックし、画面左側にある[コンピュータの基礎を学ぶできるWindows for VAIO]をクリックして表示される情報をご覧ください。

「設定が完了しました」画面が表示されます。

- 9 [完了]をクリックする。
- Windowsの起動後、本機に設定されている日時を確認し、現在の日時に合わせる。
- ① [スタート]をクリックして、[コントロールパネル]→[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[日付と時刻]の順にクリックする。「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。
- ② [日付と時刻]タブをクリックして、「日付」と「時刻」を現在の日時にあわせる。
- ③ [OK]をクリックする。日時の設定が有効になります。

これでWindowsが使えるようになりました。

#### 「Norton AntiVirus」ソフトウェアをインストールする

ウイルス対策ソフトウェア「Norton AntiVirus」をお使いになるためには、インストールを行う必要があります。 次の手順でインストールしてください。

なおこの操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、 管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があ ります。

[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[品 Norton AntiVirus 2004 インストーラ]の順にクリックする。

「ウイルススキャンしますか?」画面が表示されます。

2 [はい]をクリックする。

ウイルススキャンが開始されます。

4. 表示された画面の指示に従って、「Norton AntiVirus」ソフトウェアをインストールする。

#### 上が注音

「Norton AntiVirus」ソフトウェアのCD-ROMは同梱されていません。

MSN インスタントメッセンジャースキャナは初期状態では機能しません。

5 インストール完了の画面が表示された ら、[完了]をクリックする。

「Norton AntiVirus情報ウィザード」が起動します。 画面に従って、設定を行います。 これで「Norton AntiVirus」ソフトウェアが使えるように なりました。

引き続きいろいろな操作をするためには、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バオの使いか タブをクリックして表示される情報をご覧ください。 電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」(39ページ)をご覧ください。

#### !ご注意

- 本機に付属のOS(Operating System)以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。本機のOSは、「Microsoft® Windows® XP Professional\*」または「Microsoft® Windows® XP Home Edition\*」です。
  - この説明書では、Windows または Windows XPと 略します。
- デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定の期間 使用しないと自動的にデスクトップ画面上から削除 されるものがあります。Windowsの初回起動時から 60日後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。

その後も60日ごとに、使用していないデスクトップ 画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかど うかを確認する画面が表示されます。デスクトップ画 面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削 除されません。

#### ・ヒント

#### 本機を複数のユーザーで使えます

登録したユーザーごとに専用のデスクトップ画面やマイドキュメントが用意され、それぞれのユーザーが自分専用のコンピュータのように使用することができます。複数のユーザーでのWindowsの使用について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バイオの使いかた タブをクリックし、画面左側にある[コンピュータの基礎を学ぶできるWindows for VAIO]をクリックして表示される情報をご覧ください。

# カスタマー登録する

#### VAIOカスタマー登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社 (以下、「ソニー」)はバイオをご所有のお客様へセキュリティ情報などの必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」を行っていただくことをおすすめしています。ご登録のメリットについては、VAIOホームページ

(http://www.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間 はお買い上げ時から3か月間です。

ご登録を行っていただくことで、カスタマー専用デスクから、ご購入日より1年間有効な保証書(「My Sony ID」と「お客様サポート番号」を記載)をお送りします。

なお、保証について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の 「バイオの使いかた タブをクリックし、画面左側にある[ご注意/その他] $\rightarrow$ [その他] $\rightarrow$ [保証書とアフターサービス]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」までご連絡ください。

詳しくは、「お問い合わせ先について」(155ページ)をご覧ください。

#### VAIOカスタマー登録の方法

次の方法で手軽にご登録が行うことができます。

- オンライン登録 テレホンコードをつなぎ、一般の電話回線を通じて行 えます。また、インターネット経由でもご登録を行う ことができます。
- 付属のお申込書を郵送して登録 付属の「VAIOカスタマー登録・保証書お申込書」にご 記入の上、郵送いただくことでもご登録を行うことが できます。

付属の「VAIOカスタマー登録・保証書お申込書」を使ってお申し込みいただく場合は、「VAIOカスタマーID」を記した保証書をお送りします。その後、次の手順に従って、「My Sony ID」を取得することができます。

#### ・ヒント

 VAIOオンラインカスタマー登録にご使用いただく電 話回線は一般電話回線だけでなく、ISDN回線にも対 応しています。(60ページ)

- 次の場合を除き、ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、お客様 個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。
  - 1) お客様にお知らせした使用目的のために、業務を委託する協力会社に開示が必要な場合。(ソニーは、当該協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します。)
  - 2) 司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請 を受けた場合。
- **13**才より小さいおこさまは、ほごしゃのかたといっ しょにとうろくしてください。

#### !ご注意

- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コン ピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザー としてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などのご登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内(http://www.vaio.sony.co.jp/)のページ上で、変更手続きが行えます。

また、[スタート] ボタンをクリックして、[すべてのプログラム] にポインタをあわせ、[VAIO オンラインカスタマー登録] をクリックして変更手続きを行うこともできます。

### 電話回線につなぐ。

58ページの手順に従ってつなぎます。

【スタート】ボタンをクリックして【すべてのプログラム】にポインタを合わせ、 [VAIO オンラインカスタマー登録】をクリックする。

#### ・ヒント

カスタマー登録をしない、または後でするときは、[キャンセル]をクリックして表示される画面で[終了]をクリックしてください。

### [次へ]をクリックする。



ここをクリックする。-

「登録手順について」画面が表示されます。

# 4. [次へ]をクリックする。

「ID·パスワードの入力」画面が表示されます。

#### ・ヒント

1つ前の画面を見たいときは、[戻る]をクリックします。

## 5 [次へ]をクリックする。

#### ・ヒント

本機を含めてバイオをすでに2台以上お持ちの方など、すでに「VAIOカスタマーID」や「My Sony ID」をお持ちの方はIDを入力し、画面の指示に従って操作してください。

「VAIOオンラインカスタマー登録専用回線」の ○ をクリックして ◎ にし、[次へ]をクリックする。

**1** ここをクリックする。



②ここをクリックする。-

「発信方式の設定」画面が表示されます。

#### !ご注意

- 外線発信(0発信)はできません。
- 「インターネット経由」を選んでご登録いただく場合、 接続料金はお客様の負担となります。

ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機の□(モジュラジャック)と一般電話回線をつなぎ(58ページ)、通信を行ってください。

#### ドヒント

- [次へ]をクリックすると、手順7に進む前に「接続デバイスの選択」画面が表示されることがあります。この場合は、通信に使う機器を選び、[次へ]をクリックしてください。
- 「インターネット経由」を選んで[次へ]をクリックしたときは、「インターネット経由の接続設定」画面が表示されます。画面の指示に従って接続先の選択を行ったあと、手順8へと進んでください。また、ネットワーク(LAN)の環境設定などによっては、「インターネット経由の接続設定」画面でプロキシ

# の設定をする必要があります。プロキシの設定について詳しくは、各法人・団体様のシステム管理者にお尋ねください。

お使いの電話回線の発信方式(ダイヤル方法)を選び、[次へ]をクリックする。

# !ご注意

ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる 通信機器によっては、正しく接続できないことがありま す。この場合は、本機の $\mathbb{Q}$ (モジュラジャック)と一般電 話回線をつなぎ(58ページ)、通信を行ってください。

### ・ヒント

- 本機を一般電話回線につないでいるときのみトーン 式/パルス式ダイヤルを選びます。
- トーン式ダイヤルとは
   電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
- パルス式ダイヤルとは

ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方法です。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、契約している電話会社へお問い合わせください。

# 電話回線がつながっていることを確認し、[問い合せる]をクリックする。

電話回線を通じて通信が行われ、完了すると「問い合せ完 了」画面が表示されます。 9 [次へ]をクリックする。

「VAIO カスタマー登録の特典/VAIO カスタマー登録の ご注意」画面が表示されます。

10 [次へ]をクリックする。

11 スクロールバーをドラッグするか、▲または ▼ をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容を了承するときは [了承します]をクリックする。

**1** スクロールバーを 操作して文章を 表示させる。



②ここをクリックする。

「IDの規約の確認」画面が表示されます。

12 スクロールバーをドラッグするか、 ▲ または ▼ をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容に同意するときは [同意する]をクリックする。

#### !ご注意

| |同意しない||をクリックすると、カスタマー登録は完了 |しません。

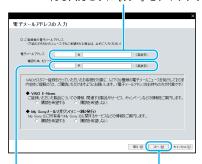
**1名** 画面の指示に従って入力し、[次へ]をクリックする。

❶どちらかを選ぶ。



③ここをクリックする。

- 14. 既に電子メールアドレスをお持ちの方は、電子メールアドレスを入力し、[次へ]をクリックする。
  - ●電子メールアドレスを入力する。電子メールアドレスをお持ちでない方や電子メールアドレスを教えたくない方は、何も入力せずに [次へ] をクイックする。



- ❷確認のため、もう1度入力する。
- ❸ここをクリックする。-
- ■・必要な項目を入力し、「次へ」をクリックする。

●生年月日を入力する。 ②性別を選ぶ。



**④** ここをクリックする。

#### !ご注意

- 「郵便番号」はハイフンを除いて入力してください。
- 保証書等の送付先がここで入力した住所と同様の場合は、画面下部の「保証書等の送付先住所を上記と同様に
   フェー・・・・

する。」の をクリックして ✔ にしてください。

#### ドヒント

「郵便番号」を入力した後、[住所検索]をクリックすると、 簡単に住所検索ができます。 「My Sony ID」の「@」前にご希望の文字列、「My Sony ID用パスワード」、「パスワード初期化のための合言葉」を入力し、 [次へ]をクリックする。

● ここに入力する。
②ここに入力する。
②ここに入力する。
③ここに入力する。

③ ここに入力する。

③ ここに入力する。
② ここに入力する。

③ ここに入力する。

② ここに入力する。

② ここに入力する。

② ここに入力する。

③ ここに入力する。

② ここに入力する。

② ここに入力する。

② ここに入力する。

③ ここに入力する。

③ ここに入力する。

② ここに入力する。

③ ここに入力する。

※ ここに入力する。

#### !ご注意

入力する。

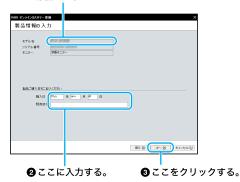
- 「My Sony ID用パスワード」は英字と数字を混ぜて入 力してください。英字のみ、または数字のみのパス ワードは設定できません。
- 「My Sony ID用パスワード」は「登録内容の確認」画面では表示されません。「My Sony ID用パスワード」を忘れないようご注意ください。

#### ・ヒント

「パスワード初期化のための合言葉」は、「My Sony ID用パスワード」を忘れてしまったときに備え、あらかじめ設定しておいた質問と答えを使って、パスワードの初期化と再設定を行う機能です。

## 17 本機のモデル名を確認し、本機の購入日 や販売店名を入力し、[次へ]をクリック する。

● ここがお使いの機種か確認する。



「登録内容の確認」画面が表示されます。

#### ミヒント

製品情報の入力が完了すると、「アンケート」画面が表示される場合がありますので、画面の指示に従って入力してください。

# 登録内容を確認し、[次へ]をクリックする。

「確認してください」画面が表示されます。

# 19 [登録する]をクリックする。

登録内容が電話回線を通じて送られ、送信が終わると「登録完了」画面が表示されます。

#### !ご注意

ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機の $\mathbb{Q}$ (モジュラジャック)と一般電話回線をつなぎ(58ページ)、通信を行ってください。

### **20** [次へ]をクリックする。

「ご登録の完了」画面が表示されます。

#### ・ヒント

「My Sony ID」と「お客様サポート番号」について VAIO登録カスタマー向けのサービスをご利用の際には「My Sony ID」をお使いください。

VAIOカスタマーリンクへ電話でお問い合わせいただく際には「お客様サポート番号」をご使用ください。

#### !ご注意

VAIOカスタマーリンクへ電話でお問い合わせいただく際に、「My Sony ID」はご使用できません。

#### ドヒント

「My Sony ID」と「お客様サポート番号」は後日、ソニーより「1年間保証書」などとともに郵送でお知らせいたします。

# **2** [ID と番号をファイルに保存する]をクリックする。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

# 22

#### ファイルに任意の名前を付け、[保存]を クリックする。

お客様の「My Sony ID」と「お客様サポート番号」の情報がファイルとして「マイドキュメント」フォルダの中に保存されます。

#### !ご注意

保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないよう ご注意ください。

# 23

### 「ご登録の完了」画面の[OK]をクリック する。

これでVAIOオンラインカスタマー登録は終了です。

#### ・ヒント

[OK]をクリックすると、サービス内容などをお知らせする画面が表示されることがあります。この場合は、[次へ]をクリックしてください。

#### VAIOカスタマー登録情報を変更するには

[スタート] ボタンをクリックして[すべてのプログラム] にポインタをあわせ、 [VAIO オンラインカスタマー登録] をクリックする。

「お客様はすでにVAIOカスタマーに登録されています。・・・・・」というメッセージが表示されます。

2

[はい]をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

3

[次へ]をクリックする。

「登録情報変更手順について」画面が表示されます。

4

[次へ]をクリックする。

「My Sony ID、My Sony ID用パスワードの入力」画面が表示されます。

画面の指示に従って操作し、登録内容を変更してください。

# 基本設定を行う

#### アンテナにつなぐ(VGN-E70B/S•E70B/B)

本機でテレビを楽しむには、本機のVHF/UHFコネクタと 壁のアンテナコネクタを接続します。

接続のしかたは場合によって異なりますので、ご自分の 使用環境にあわせて接続してください。

- 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合
- すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機を新たに接続する場合

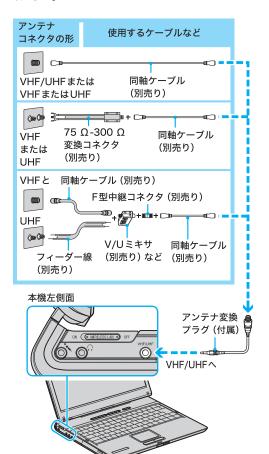
#### !ご注意

アンテナ変換プラグは、必ず本機のVHF/UHFコネクタに接続してください。

#### □ 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合

テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタ の形や使用するケーブルによって異なります。下の例か ら最も近いものを選び、接続してください。

なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談 ください。

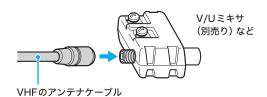


#### !ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルにくらべ雑音電波などの影響を受けやすく、信号が劣化します。できるだけ同軸ケーブルをご使用ください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、本機からできる だけ離してください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、長くなりすぎないようにご注意ください。

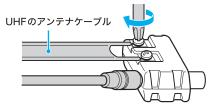
#### V/Uミキサをつなぐには

VHFのアンテナケーブルをV/Uミキサに つなぐ。

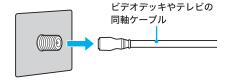


2 UHFのアンテナケーブルを V/U ミキサに つなぐ。

ネジをゆるめて芯線を巻きつけ、 ネジを締める。

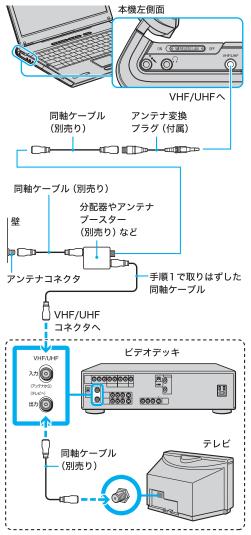


- □ すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機を新たに接続する場合
  - 壁のアンテナコネクタに接続されている ビデオデッキやテレビの同軸ケーブルを 取りはずす。



## **2** テレビアンテナを接続する。

別売りの分配器やアンテナブースターなどを使ってテレビアンテナを接続します。壁のアンテナコネクタと分配器やアンテナブースターのつなぎ方は、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。「本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合」(48ページ)から、最も近いものを選び接続してください。



点線内の接続について詳しくは、ビデオデッキまたは テレビの取扱説明書をご覧ください。

#### ミヒント

ビデオデッキをつなぐなど、テレビアンテナを分配すると電波が弱くなり、ディスプレイの画面がチラチラしたり、斜めじまが入ることがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをアンテナと本機の間につないでください。

#### バイオの基本設定をする

Do VAIOは、テレビやビデオなどの映像や音楽、デジタル 写真、音楽CD、DVDビデオをコンピュータで楽しむため の統合プレイヤーです。

本機をはじめてお使いになるときは、Do VAIOの設定を 行ってください。

はじめて Do VAIOを使うときには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてから、次の手順に従って、テレビを見るためのチャンネル設定(VGN-E70B/S·E70B/B)や、Do VAIOで使用するフォルダの設定を行ってください。

#### □ VGN-E70B/S・E70B/Bをお使いの場合

リモコンのVAIOボタンを押すか、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

## 2 [次へ]をクリックする。

「テレビを見るための準備を行います。初めにお住まいの 地域を選択してください。」画面が表示されます。

## 本機を使用する都道府県および最も近い 地域を選択する。

「制限付きアカウント」を持つユーザーでログオンしている場合、テレビの設定を行うことはできません。そのまま、手順4に進んでください。

# 4 [次へ]をクリックする。

「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限を持つユーザーでログオンしている場合、チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの設定が完了しました」画面が表示されます。

#### ミヒント

「制限付きアカウント」を持つユーザーでログオンしている場合、「Do VAIOはバイオにためた映像や写真、音楽などのコンテンツを楽しむことができます」画面が表示されます。[完了]をクリックすると、Do VAIOの基本設定が完了します。

# サービス・サボート

### 5 [次へ]をクリックする。

「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限を持つユーザーでログオンしている場合、「Do VAIOはバイオにためた映像や写真、音楽などのコンテンツを楽しむことができます」画面が表示されます。

### 6 [完了]をクリックする。

「[マイ ドキュメント]フォルダに保存されたコンテンツを Do VAIOで楽しめるように設定してよろしいですか?」画面が表示されます。

#### ・ヒント

[はい]をクリックすると、「マイドキュメント」に保存されたコンテンツを Do VAIOで楽しめるようになります。ただし、他のユーザーからも「マイドキュメント」に保存されたコンテンツが利用できるため、注意が必要です。また、[いいえ]をクリックすると、「マイドキュメント」に保存されたコンテンツを Do VAIOで利用しません。

Do VAIOの基本設定が完了します。

□ VGN-E50B/S·E50B/B·E50B/Dをお使いの場合

[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

# 2 [完了]をクリックする。

「[マイ ドキュメント]フォルダに保存されたコンテンツを Do VAIOで楽しめるように設定してよろしいですか?」画面が表示されます。

#### ・ヒント

[はい]をクリックすると、「マイドキュメント」に保存されたコンテンツを Do VAIOで楽しめるようになります。ただし、他のユーザーからも「マイドキュメント」に保存されたコンテンツが利用できるため、注意が必要です。また、[いいえ]をクリックすると、「マイドキュメント」に保存されたコンテンツを Do VAIOで利用しません。

Do VAIOの基本設定が完了します。

#### ドヒント

- Do VAIOの基本設定を後から変更する場合は、「スタート」ボタンをクリックして「すべてのプログラム」
  → [Do VAIO]の順にポインタを合わせ、「Do VAIO 設定]をクリックして表示される画面で設定してください。詳しくは、Do VAIOのヘルプをご覧ください。
- Do VAIOの操作方法について詳しくは、「バイオ電子 マニュアル」画面上部の「バオの使いがた」タブをクリックし、画面左側にある[Do VAIOを楽しむ]→[Do VAIOの使いかた]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

# インターネットを始める

# インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。インターネット接続サービスを提供する会社(「インターネットサービスプロバイダ(ISP)」や単に「プロバイダ」と言います。以下「プロバイダ」と記します)と契約すれば、インターネットに接続することができます。



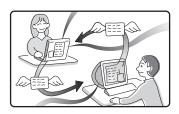
インターネットに接続すると、次のようなことができる ようになります。

#### ホームページを見る



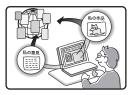
- 調べたい情報を検索する。
- 世界の景色を見る。
- ホテルや乗物の予約をする。
- 趣味の仲間をさがす。
- オンラインショッピングをする。

#### 電子メールをやりとりする



電子メールで時差を気にせず世界中の人たちとコミュニケーション。

#### 情報を発信する



- 自分の意見を発言する。
- 趣味の仲間をつのる。
- 絵や文芸作品を発表する。
- 仕事の広告を出す。

# インターネット接続 方法の種類について

インターネットに接続する方法には、いろいろな種類があります。接続方法によって、通信速度やプロバイダの料金、接続に必要な機器などが異なります。詳しくは、プロバイダにお問い合わせいただくか、または「インターネット接続に必要なものは」(54ページ)をご覧ください。また、ADSLなどのプロードバンド接続については、付属の「できるインターネットプロバイダー選び&オンラインサービス編」もあわせてご覧ください。

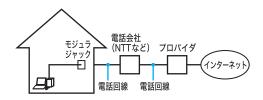
#### □ 各接続方法の特徴

回線の種類	接続可能エリア	高速 通信	常時 接続
一般電話回線	0	$\triangle$	$\triangle$
ADSL	0	$\circ$	0
ISDN	0	Δ	Δ
CATVインターネット	$\triangle$	0	0
光(FTTH)	$\triangle$	0	0

◎:最適 ○:適している △:あまり適さない

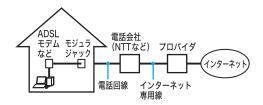
#### □ 一般電話回線

通常の電話回線を使ってインターネットに接続します。 バイオのようなモデム内蔵タイプのコンピュータを利用 する場合には、特別な機器を必要としません。



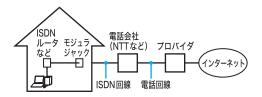
#### □ ADSL

通常の電話回線を使ってインターネットに接続します。 高速通信・常時接続ができる接続方法です。回線の申し込みや、ADSLで接続するための機器(ADSLモデムなど)が必要です。



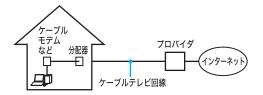
#### □ ISDN

NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。一般電話回線よりも高速ですが、ADSLよりは低速です。回線の申し込みや、ISDNで接続するための機器(ISDNルータなど)が必要です。なお、ISDNからADSLへ接続方法を切り替える場合は、回線変更の申し込みが必要になります。



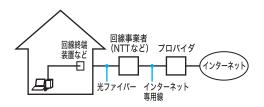
#### □ CATVインターネット

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。多くの場合、ADSLと同程度の速度で接続ができます。ケーブルテレビ局への申し込みが必要で、接続にはケーブルテレビの端末を使います。



#### □ 光(FTTH)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。一般的にADSLより高速に接続できます。回線の申し込みが必要です。



その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。 詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

# インターネット接続 <u>に必要なものは</u>

世界中の情報に接することのできるインターネットですが、情報を受け取ったり、発信したりするためには接続する回線や機器、専用のソフトウェアが必要になります。 また、電話回線などを通してインターネットにつなぐためにプロバイダと契約する必要があります。

インターネットに接続するために必要な主なものは以下 のとおりです。

#### □ 接続回線

インターネットに接続するための回線には、主に以下のような種類があります。

接続について詳しくは「一般電話回線/ADSL/ISDN/CATVインターネット回線につなぐ」(58ページ)をご覧ください。

回線の種類	解説	お問い合わ せ先
一般電話回線	通常の電話が使って いる回線です。	プロバイダ
ADSL	ADSLとは	ADSL接続
	「Asymmetric Digital	サービスを提
	Subscriber Line」の 略で、一般電話回線 を利用してインター ネットに常時接続で きるサービスのこと です。	供しているプ ロバイダ
	【ご注意 ISDN回線でADSL を利用することはで きません。詳しくは、 契約するADSL接続 業者にお問い合わせ ください。	
ISDN	NTTのデジタル通信 網を使った回線で、1 回線で従来の2回線 分の通話/通信がで きます。	NTT(局番な し116番)

回線の種類	解説	お問い合わ せ先
CATV	CATV事業者が提供	CATV事業者
インターネット	するCATVインター	
	ネット回線を利用し	
	てインターネットに	
	常時接続できるサー	
	ビスのことです。	
その他	上記のほかに光ファ	プロバイダ
	イバーで接続する方	NTTなどの
	法(FTTH)や、外出先	回線事業者
	などでも接続可能な	
	無線での接続方法な	
	どもあります。	

### □ インターネット接続サービス(インターネット サービスプロバイダ:ISP)との契約

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。この会社のことを「インターネットサービスプロバイダ」(ISP)または単に「プロバイダ」と言います。

プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。プロバイダと契約すると、インターネットを使って、いろいろな情報が載ったホームページを見ることができます。また、ほとんどのプロバイダでは、「電子メールアドレス」という、あなたの住所のようなものが契約時に用意されます。電子メールアドレスは、電子メールを送受信するときの宛先になります。これらの他に、契約するプロバイダによっていろいろなサービスがあります。

プロバイダと契約すると、サービスに応じた接続料金がかかります。また、プロバイダとの契約条件によっては、接続料金とは別に電話回線の通話料がかかることがあります。

プロバイダについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」

画面上部の  $V7Pを開発 タブをクリックし、画面左側 にある [付属ソフトご紹介/お問い合わせ先] <math>\rightarrow$  [ISPサインアップ]  $\rightarrow$  [インターネット カウンセラーVer.1.0] の順 にクリックして表示される情報をご覧ください。

#### !ご注意

- 本機および付属ソフトウェアの設定によっては、本機の電源を切っている間でも、自動的にインターネットに接続することがあります。自動接続すると、接続を自動的に終了しないことがあります。この場合、通話料と接続料金が多額になる可能性がありますので、ご注意ください。
- インターネットに接続している間は、電話をかけたり、受けたりできないことがあります。

#### ロ モデム

インターネット上のホームページを見たり、電子メール をやりとりするために電話をかける装置です。回線の種類によって、以下のようなものがあります。

回線の種類	モデムの種類
一般電話回線	モデム(本機内蔵)
ADSL	  ADSLモデム(別売り)
ISDN	ISDNダイヤルアップルータ
	(別売り)
	または、ターミナルアダプタ
	(別売り)
CATV	ケーブルモデム(別売り)
インターネット	

#### ロ ソフトウェア

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア(「ウェブブラウザ」と言います。)が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には両方の専用ソフトウェアが付属しています。

本機には以下のウェブブラウザおよび電子メールソフト ウェアが付属しています。

#### ウェブブラウザ



Microsoft Internet Explorer

#### 電子メールソフトウェア



**Outlook Express** 

この説明書では、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアと「Outlook Express」ソフトウェアの設定と使いかたを中心に説明していきます。これらのソフトウェアの特長について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「ソフト透用ナビタブをクリックし、画面左側にある[付属ソフトご紹介/お問い合わせ先]  $\rightarrow$  [インターネット・メール] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

#### ミヒント

#### ワイヤレスLANでの接続について

ワイヤレスLAN機能を使えば、接続回線とコンピュータの間の接続を無線にすることができます。例えば、部屋の中で接続コードを気にせずコンピュータを移動させてインターネットを楽しんだり、接続コードの長さを気にせずにコンピュータを設置することができます。ワイヤレスLAN機能・1を使ってインターネットに接続する場合は、ワイヤレスLANアクセスポイントの設定については、ワイヤレスLANアクセスポイントの設定については、ワイヤレスLANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。また、外出先などからワイヤレスLANサービスを利用してインターネットに接続することも可能です。外出先でのインターネット接続をする場合は、対応しているプロバイダや、NTTなどの回線事業者にお問い合わせください。

- \*1 ワイヤレスLAN機能搭載モデルをお使いの場合は、無線でインターネットに接続できます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バイオの使いか」 タブをクリックし、画面左側にある[ワイヤレス機能]→[ワイヤレスLAN]→[ワイヤレスLAN機能の基礎を学ぶ]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。(ワイヤレスLAN内蔵モデルのみ)ワイヤレスLANを搭載していないモデルをお使いの場合は、ワイヤレスLANカードなどが必要です。
- \*2 ADSLモデムなどに内蔵されている場合もあります。

# インターネット上の トラブルについて

現在一般に普及し、さまざまなサービスを提供している インターネットですが、普及に伴いトラブルも発生して います。

インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを 誤ったり、安易な気持ちで使用すると思わぬトラブルに あう可能性があります。

#### □ インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。 ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど、情報を受ける側もモラ ルを持って情報を利用する必要があります。

また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になる恐れもあります。 ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように 管理してください。

#### □ コンピュータウイルスやチェーンメールなどの 被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意を持った人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルス(コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム)が潜んでいたり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。

不審な電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、添付されているプログラムを実行せずに削除してください。

また、できるだけインターネットサービスプロバイダなど に報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。

#### ・ヒント

\_\_\_\_\_ コンピュータウイルスについて詳しくは、「セキュリティ について」(77ページ)をご覧ください。

#### □ 情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、コンピュータの情報などがインターネット上にもれ出すことがあります。悪意を持った人たちの標的になりやすいため対応することが必要です。

ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が、開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。

また、電子メールには完全な機密性はありません。送信する内容にはご注意ください。

#### ・ヒント

#### OSとは

オペレーティングシステム」の略称で、「オーエス」と読みます。

リソースなど、コンピュータ全体を管理し、コンピュータ を操作するのに必要な基本ソフトウェアです。本機で使 用している Windows も代表的な OS の 1 つです。

#### □ インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないようにご注意ください。プライバシー情報がもれる可能性があります。 注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。できるだけ信用のおけるところを利用するなどの注意が必要です。

#### □ その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアの中には、国際電話やダイヤルQ2などに接続してしまうものもあります。

知らない間に接続し、課金されている場合がありますの でご注意ください。

- インターネット上での個人情報の公開には細心の注意を払いましょう。
- 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

# インターネットに 接続するまでの流れ

インターネットを利用してホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、本機をインターネットに接続する必要があります。

以下の流れに従ってインターネットに接続します。ここでは一般電話回線を使ってインターネットに接続する流れを説明します。詳しくは、各手順の参照ページをご覧ください。

#### !ご注意

インターネットに接続するための設定を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

一般電話回線/ADSL/ISDN/CATV インターネット回線などにつなぎましょ う。(58ページ)

本機を一般電話回線やADSL、ISDN、CATVインターネット回線などにつなぎます。

# 2 プロバイダと契約しましょう。

プロバイダと契約します。契約すると、インターネット接続に必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。

### チェックシートを作成しましょう。 (60ページ)

プロバイダから郵送されてきた資料をもとに、チェックシートを作成します。資料の内容など、インターネット接続の設定の際の不明点については、契約したプロバイダにお問い合わせください。

プロバイダについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」 画面上部の Уフト活用ナビ タブをクリックし、画面左側 にある[付属ソフトご紹介/お問い合わせ先]→[ISPサイ

ンアップ]→[インターネット カウンセラーVer.1.0]の順 にクリックして表示される情報をご覧ください。

#### !ご注意

郵送されてくるまでしばらく時間がかかります。

4: 接続のための設定をしましょう。(一般電話回線の場合: (66ページ)、ADSLの場合: (64ページ))

チェックシートをもとに、本機を使ってインターネット に接続するための設定をします。

# 電子メールソフトウェアの設定をしましょう。(72ページ)

電子メールを使うときは電子メールを使うための設定を します。

# インターネットに接続してみましょう。

契約したプロバイダに接続します。

#### インターネットに接続したあとは

**電子メールをやりとりしてみましょう** 電子メールをやりとりする練習をします。

# 一般電話回線/ADSL/ISDN/CATVインター ネット回線につなぐ

インターネットに接続するには、一般の電話回線に接続する方法や、ADSLに接続する方法などがあります。ここでは、一般の電話回線での接続方法と、ADSL(59ページ)、ISDN(60ページ)、CATVインターネット(60ページ)での機器の接続について説明します。

#### -般の電話回線につなぐときは

別売りのテレホンコードを使って本機と一般の電話回線をつなぐと、インターネットを楽しんだり、ファックスを送受信できるようになります。

本機の内蔵モデムの通信速度は、データ受信時最大56 kbpsです。データ送信時は最大33.6 kbpsに制限されています。電話回線の状況によって通信速度は変化することがあります。

#### !ご注意

本機の内蔵モデムで使用可能な回線は、一般電話回線です。その他の回線に接続した場合には、故障・発火の原因となることがあります。

# お使いの電話回線のダイヤル方法(トーン式またはパルス式)を確認する。

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしないときはトーン式ダイヤルです。ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機は、パルス式ダイヤルです。

# 2 モデムのダイヤル方法を設定する。

- ① [スタート] ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。
- ② [プリンタとその他のハードウェア]アイコンを クリックする。
- ③ [電話とモデムのオプション]アイコンをクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

④ 設定されている所在地をクリックして選び、[編集]をクリックする。

「所在地の編集」画面が表示されます。 該当する所在地がないときは[新規]をクリックする と「新しい所在地」画面が表示されます。

- ⑤ 手順1で確認したお使いの電話回線のダイヤル 方法に合わせて[トーン]または[パルス]を選択 する。
- ⑥ ダイヤル元の市外局番を半角の数字で入力する。 外線発信番号が必要な場合は、「市内通話の場合の外 線発信番号」と「市外電話の場合の外線発信番号」とも に入力してください。
- (7) [OK]をクリックし、「所在地の編集」画面を閉じる。
- (3) [OK]をクリックし、「電話とモデムのオプション」画面を閉じる。

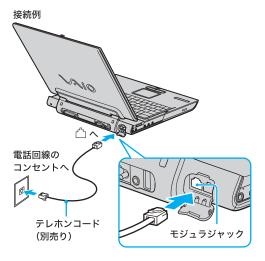
# **3** モジュラジャックカバーを開ける。



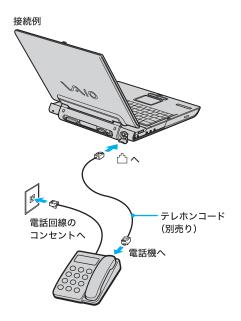
### 4

#### 電話回線につなぐ。

モジュラプラグのツメが「カチッ」とロックするまでまっすぐに差し込みます。



モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。

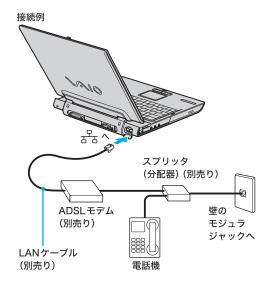


#### !ご注意

- 接続後、お使いになる通信用ソフトウェアで、電話機 やファックス、通信方法などの設定をする必要があり ます。詳しくは、それぞれのソフトウェアの取扱説明 書をご覧ください。
- 接続する機器によってこの接続例とは異なる場合が あります。
- 本機後面の 合 (ネットワーク/LAN) コネクタにテレホンコードを接続しないようご注意ください。
- 本機の口(モジュラジャック)にはテレホンコード以外をつながないようご注意ください。

#### ADSL接続サービスを利用するときは

ADSLとは、「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスです。このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者(プロバイダ)に申し込み、契約することが必要です。料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分にあったプロバイダと契約することをおすすめします。



#### !ご注意

• ADSLの接続や設定に関しては、必ず各プロバイダに お問い合わせください。

各プロバイダのお問い合わせについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の プップト活用ナビ タブをクリックし、画面左側にある [付属ソフトご紹介/お問い合わせ先]  $\rightarrow$  [ISPサインアップ]  $\rightarrow$  [インターネット カウンセラーVer.1.0] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

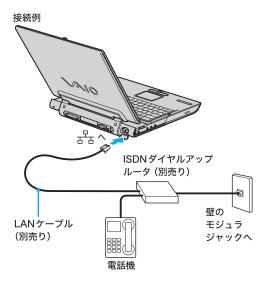
• プロバイダや接続する機器によってこの接続例とは 異なる場合があります。

#### ・ヒント

ADSL接続サービスを利用するときや、職場などのネットワーク(LAN)に接続するときは、本機後面の子(ネットワーク/LAN)コネクタにつなぎます。

#### ISDN回線を利用するときは

「ISDN回線」とはNTTのデジタル通信網を使った電話回線で、1回線で従来の2回線が使えます。ISDN回線を使って本機を使用するには、本機の他に「ISDNダイヤルアップルータ」や「ターミナルアダプタ」が必要です。

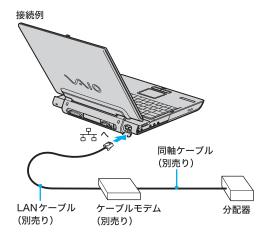


#### | ご注音

接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

#### CATVインターネット回線を利用するときは

CATVインターネットとは、CATV事業者が提供する CATVインターネット回線を利用してインターネットに 常時接続できるサービスのことです。CATVインターネット回線を使って本機を使用するためには、本機の他に 「ケーブルモデム」が必要です。



#### !ご注意

CATV事業者や接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

# チェックシートを作成 する

プロバイダと契約を結ぶと、通常、インターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。

その資料をもとにインターネットに接続するための設定 をします。

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になりながら、次ページのチェックシートをコピーするなどして、あらかじめ作成しておくと、「ADSLでインターネットに接続する」(64ページ)、「一般電話回線でインターネットに接続する(モデム搭載モデル)」(66ページ)および「電子メールソフトウェアの設定をする」(72ページ)の手順でインターネットに接続するための設定が簡単になります。「設定項目について」(62ページ)からの説明に従ってチェックシートの各項目をご記入ください。

#### !ご注意

- ADSLの接続や設定に関しては、必ず各プロバイダに お問い合わせください。
- チェックシートに書き込む内容は、あなたの個人情報です。取り扱いには充分ご注意ください。
- チェックシートは、将来、再度設定し直さなければならないときなどにも活用できますので、チェックシートは大切に保管しておいてください。
- 他人にご自分のパスワードなどの情報がもれないようにご注意ください。パスワードは、他人に自分の名前を使われたり、電子メールを読まれたりしないようにするためのものです。できるだけ紙に書き留めず、記憶しておくことをおすすめします。
- 「(4)パスワード(PPP)」はプロバイダに電話回線を通じて接続できるようにするためのパスワードです。「(14)パスワード(POPアカウントパスワード)」は電子メールを受信できるようにするためのパスワードです。これらのパスワードは両方とも同じでも、別々でもかまいません(プロバイダによって、自由に設定できる場合と、プロバイダが規定する場合があります)。

#### ・ヒント

- チェックシートをコピーするなどしたうえで各項目を記入し、他人に見られることがないように、厳重に保管することをおすすめします。
- チェックシートをコピーするなどして記入しておくと、「接続のための設定をする」(一般電話回線の場合:66ページ、ADSLの場合:64ページ)の手順を行うときに便利です。

設定項目	あなたの設定値	例 (So-netの場合)
(1)ダイヤルアップ接続名		So-net
(2) 電話番号 (アクセスポイント)		0570-00-1616
(3) ユーザー名 (PPP)		ichiro@aa2
(4) パスワード (PPP)		
(5) 市外局番		03
(6) トーン/パルス (電話回線の種類)		
(7) DNSサーバーアドレス (プライマリDNS)		202.238.95.24
(8)別のDNSサーバーアドレス (セカンダリDNS)		202.238.95.26
(9) 表示名 (差出人フィールドでの表示)		Ichiro Suzuki
(10) 電子メールアドレス	@	ichiro@aa2.so-net.ne.jp
(11) 受信メール (POP3、IMAPまたは HTTP) サーバー		pop.aa2.so-net.ne.jp
(12) 送信メール (SMTP) サーバー		mail.aa2.so-net.ne.jp
(13) POPアカウント名		ichiro
(14) パスワード (POPアカウントパスワード)		
(15) インターネットメール アカウント名		ichiro@aa2.so-net.ne.jp

記入内容がわからないときは契約したプロバイダにお問い合わせください。

### ミヒント

「(7) DNS サーバーアドレス(プライマリ DNS)」、「(8) 別の DNS サーバーアドレス(セカンダリ DNS)」、「(11) 受信メール (POP3、IMAP または HTTP) サーバー」、「(12) 送信メール (SMTP) サーバー」 は、プロバイダによっては設定しなくてよいことがあります。

#### 設定項目について

#### (1) ダイヤルアップ接続名

デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックし て、[接続]にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]を クリックして表示される「ネットワーク接続」画面の中の 接続アイコンの名前です。

お好みの名前をご記入ください。

例:So-net

#### ・ヒント

- プロバイダによっては、オンラインサインアップソフ トウェアを使って契約すると自動的に接続アイコン が作られ、名前も付けられます。
- 接続アイコンをデスクトップ画面上に作ることもで きます。(67ページ)

#### (2) 電話番号(アクセスポイント)

プロバイダから送られてきた資料をご覧になり、プロバイ ダのアクセスポイントの電話番号(接続先の電話番号)を ご記入ください。アクセスポイントは「V.90」に対応してい るものをお選びになると、より高速な通信ができます。 例:0570-00-1616

#### ・ヒント

#### アクセスポイントとは

一般加入電話からインターネットに接続するために、プ ロバイダが設けている接続地点のことです。インター ネットの利用者は接続地点までの電話料金を負担する必 要があるので、利用地点からより近いアクセスポイント で接続する方が通話料は少なくてすみます。

#### !ご注意

- ここで記入する電話番号はご自分の電話番号ではあ りませんのでご注意ください。
- 電話番号は必ず市外局番からご記入ください。
- ISDN回線をお使いの場合やPHSを使ってインター ネットに接続するときは、電話番号が異なる場合があ ります。詳しくは、契約したプロバイダにお問い合わ せください。

#### (3) ユーザー名(PPP)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロ バイダにダイヤルアップ接続するときに使用するユー ザー名をご記入ください。

例:ichiro@aa2

ユーザー名は「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネット ワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオ ン名」などともいいます。

#### ・ヒント

#### PPPとは

「Point to Point Protocol」の略で、ネットワーク(LAN)に 接続する方法の1つです。

電話による接続が一般的なことからダイヤルアップ接続 とも呼ばれています。

#### (4) パスワード(PPP)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロ バイダにダイヤルアップ接続するときに使用する、ユー ザー名に対するパスワードを記入します。

#### ・ヒント

- このパスワードは「PPPパスワード」、「ネットワーク パスワード」、「接続パスワード」などともいいます。
- パスワードの入力は、一般的に半角の英数字や記号な どを使います。

#### ・ヒント

#### ダイヤルアップ接続とは

電話回線を通じてインターネットに接続することです。

#### (5) 市外局番

ご自分の電話番号の市外局番をご記入ください。 例:03

#### (6) トーン/パルス(電話回線の種類)

お使いの電話回線のダイヤル方法がトーン式かパルス式 か確認してご記入ください。

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カ チカチ」と音がしない電話機のダイヤル方法です。

#### パルス式:

ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤル ボタンを押すたびに「カチカチ」と音がする電話機のダイ ヤル方法です。パルス式ダイヤルの場合、ダイヤルボタン を押すと受話器から電子音が聞こえるものもあります。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、 NTTなど電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧く ださい。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載 されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本) 使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」で す。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT(局 番なしの116番)など電話会社にお問い合わせください。

#### (7) DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、ご記 入ください。

例:202.238.95.24

#### ドヒント

• DNSサーバーは「ネームサーバー」、「プライマリDNS サーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメイン ネームサーバー」ともいいます。

この項目が必要ないプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

### (8) 別のDNSサーバーアドレス(セカンダリ DNS)

上記の「(7) DNSサーバーアドレス」以外のアドレスがプロバイダから郵送されてきた資料に書かれている場合はご記入ください。

DNSサーバーアドレスは1つだけのプロバイダもあります。この場合は、「(8)別のDNSサーバーアドレス」は空欄のままでかまいません。

例:202.238.95.26

#### (9) 表示名(差出人フィールドでの表示)

あなたが送る電子メールの差出人欄に表示する名前をお 好みでご記入ください。通常はご自分の名前のフルネー ムにします。

例∶Ichiro Suzuki

#### ・ヒント

この表示名は全角の漢字でも良いですが、日本語圏以外の相手に電子メールを送ることが多いかたは半角のアルファベットにすることをおすすめします。こうすることによって電子メールを送った相手には「Ichiro Suzuki <ichiro@aa2.so-net.ne.jp>」などと表記されます。

#### (10) 電子メールアドレス

電子メールをやりとりするときのあなたの宛先をご記入ください。プロバイダから郵送されてきた資料には「xxxxx@xxxx.xx」と記載されています。電子メールアドレスは、あなたの住所と同じ役割をします。

例:ichiro@aa2.so-net.ne.jp

#### ・ヒント

電子メールアドレスは、「E-Mailアドレス」、「Mailアドレス」、「メールアドレス」などともいいます。

### (11) 受信メール (POP3、IMAPまたはHTTP) サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子 メールを受け取るサーバーのアドレスをご記入くださ い。受信メールサーバーは、郵便局のような役割をしま す。受信メールサーバーからあなたの電子メールアドレ スに電子メールが送られます。

例:pop.aa2.so-net.ne.jp

#### ・ヒント

- 受信メールサーバーは、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」、「POP3」などともいいます。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料を ご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせく ださい。

#### (12) 送信メール(SMTP)サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを送信するサーバーのアドレスをご記入ください。送信メールサーバーも郵便局のような役割をします。 あなたが送った電子メールを受け取り、送り先の電子メールアドレスに送ります。

例: mail.aa2.so-net.ne.jp

#### ドヒント

- 送信メールサーバーは「メールサーバー」、「SMTP サーバー」、「メール送信サーバー」、「SMTP」などとも いいます。「(11)受信メールサーバー」と同じ場合もあ ります。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料を で覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせく ださい。

#### (13) POPアカウント名

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名をご記入ください。「(10)電子メールアドレス」の「@」(アットマーク)より前の部分を記入します。電子メールを見るためには、このアカウント名と「(14)パスワード」の両方が必要になります。

例: 「ichiro@aa2.so-net.ne.jp」が電子メールアドレスなら、POPアカウント名は「ichiro」になります。

#### ・ヒント

POPアカウント名は「メールアカウント名」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POPサーバーアカウント」、「POPサーバーログイン名」ともいいます。「(3)ユーザー名」と同じ場合もあります。

#### (14) パスワード (POPアカウントパスワード)

受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名に対するパスワードを半角の英数字でご記入ください。電子メールを見るためには、「(13) POPアカウント名」とこのパスワードの両方が必要になります。

#### ドヒント

このパスワードは、「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」などともいいます。

#### (15) インターネットメールアカウント名

お好みの名前をご記入ください。わかりやすいように電子メールアドレスを入れることをおすすめします。 例:ichiro@aa2.so-net.ne.jp

# ADSL**でインター** ネットに接続する

#### □ 接続のための設定をする

「チェックシートを作成する」(60ページ)で作成した チェックシートをご覧になりながら、表示される画面に 従って、各項目入力していきます。

#### □ ADSLモデムについて

ADSL接続に必要なADSLモデムには、一般的に下記の2タイプがあります。

- ① ブリッジタイプの ADSLモデム
  →コンピュータと ADSLモデムを接続し、コンピュータ側で設定 (PPPoE の設定) を行います。
- ② ルータータイプの ADSL モデム→コンピュータと ADSL モデムを接続し、ルーターの 設定を行います。

#### ミヒント

接続について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の がはなの使いがた タブをクリックし、画面左側にある [インターネット/電子メール]→[接続のための設定をする(ADSLの場合)]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

#### !ご注意

ADSLでの設定に関しては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。

各プロバイダのお問い合わせについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の プント活用ナビ タブをクリックし、画面左側にある[付属ソフトご紹介/お問い合わせ先]→[ISPサインアップ]→[インターネットカウンセラーVer.1.0]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

• ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、契約するADSL接続業者にお問い合わせください。

ここでは、①のブリッジタイプのADSLモデムを使った一般的な設定のしかたについて説明します。

[スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「コントロールパネル」画面で[ネット ワークとインターネット接続]アイコン をクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

「ネットワークとインターネット接続」画面で[ネットワーク接続]アイコンをクリックする。



4. 「ネットワーク接続」画面の「ネットワークタスク」から[新しい接続を作成する]をクリックする。

ここをクリックする。

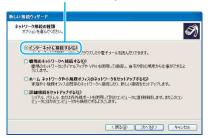


「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

5

「新しい接続ウィザードの開始」画面で [次へ]をクリックする。 「ネットワーク接続の種類」画面で[インターネットに接続する]の ○ をクリックして ⑥ にし、[次へ]をクリックする。

ここをクリックする。



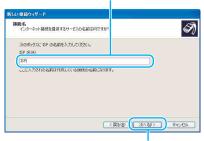
「準備」画面が表示されます。

7 「準備」画面で[接続を手動でセットアップする]の ○ をクリックして ● にし、 [次へ]をクリックする。

「インターネット接続」画面が表示されます。

- 「インターネット接続」画面で[ユーザー名とパスワードが必要な広帯域接続を使用して接続する]の○をクリックしてにし、「次へ」をクリックする。
- 「接続名」画面で「ISP名」にご契約の ADSL接続業者の名前を入力し、[次へ] をクリックする。

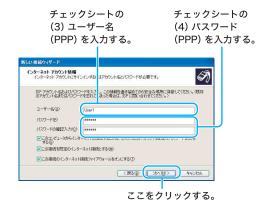
ご契約のADSL接続の名前を入れる。



ここをクリックする。

なお、お使いの環境によっては「インターネット アカウント情報」画面が表示される前に、「接続の利用範囲」画面が表示されることがあります。その場合は、接続を利用するユーザーを選んでから[次へ]をクリックしてください。

【● 「インターネット アカウント情報」画面でユーザー名、パスワードをご契約のADSL接続業者から指定されている情報で入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、「次へ」をクリックする。



「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

## [完了]をクリックする。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が閉じます。 これでADSLでPPPoEを使用してインターネットに接 続するための設定は終わりです。

# 一般電話回線でイン ターネットに接続する (モデム搭載モデル)

#### 接続のための設定をする

「チェックシートを作成する」(60ページ)で作成した チェックシートをご覧になりながら、表示される画面に 従って、各項目入力していきます。以下の手順に従って操 作してください。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

#### ・ヒント

接続のための設定が終わったあとは $[X9-h] \rightarrow [Y29-k]$ をクリックすると、[Y39-k]が記動するようになります。もう1度[Y39-k]が起動するようになります。もう1度[Y39-k]がをカリックして[Y39-k]ができる。[Y39-k]が多ンをクリックして[Y39-k]が接続ウィザード[Y39-k]が接続ウィザード[Y39-k]が接続ウィザード[Y39-k]がます。

**2** [次へ]をクリックする。

〔インターネットに接続する〕の ○ をクリックして ⑥ にし、「次へ」をクリックする。

ここをクリックする。



「準備」画面が表示されます。

(接続を手動でセットアップする]の ○
 をクリックして ● にし、[次へ]をクリックする。

「インターネット接続」画面が表示されます。

#### ・ヒント

Windows XPアップグレードサービスをご利用の場合など、すでにプロバイダのインターネットサーバーに接続したことがあるときは、「インターネットサービスプロバイダ(ISP)の一覧から選択する」の ○ をクリックして

● にし、[次へ]をクリックしてください。そのあとは、 画面の指示に従って操作してください。

「ダイヤルアップ モデムを使用して接続する」の ○ をクリックして ● にし、 [次へ]をクリックする。

(ずイヤルアップ接続名)を入力 し、[次へ]をクリックする。

チェックシートの (1) ダイヤルアップ接続名を入力する。



7 アクセスポイントの電話番号を入力し、 [次へ]をクリックする。

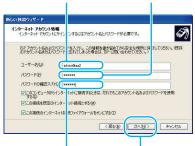
> チェックシートの (2) 電話番号 (アクセスポイント) を入力する。



8

ユーザー名とパスワードを入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、「次へ」をクリックする。

チェックシートのチェックシートの(3) ユーザー名(4) パスワード(PPP) を入力する。(PPP) を入力する。



チェックシートの ここをクリックする。 (4) パスワード (PPP) を入力する。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

#### ・ヒント

「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「\*」で表示されます。

# ♀ [完了]をクリックする。

「新しい接続ウィザード」が終了します。

#### ドヒント

「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。

10

[スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。

#### ドヒント

手順11および12の「コントロールパネル」画面での操作は、お買い上げ時の状態のものです。

[プリンタとその他のハードウェア]アイ コンをクリックする。

ここをクリックする。

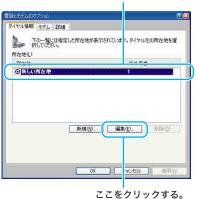


「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

**12** [電話とモデムのオプション]アイコンを クリックする。

**設定されている所在地をクリックして選び、[編集]をクリックする。** 

ここをクリックして選ぶ。

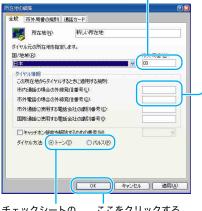


(E)F

\_\_\_\_\_ 該当する所在地がないときは[新規]をクリックしてください。「新しい所在地」画面が表示されます。

# | 4 | 各項目を以下のように設定し、[OK]をクリックする。

チェックシートの (5) 市外局番。 ダイヤル元の市外局番を半角の 数字で入力する。 外線発信番号が 必要な場合は 「O」と入力する。



チェックシートの ごこをクリックする。 (6) トーン/パルス (電話回線の種類) を選ぶ。

### **15** 「電話とモデムのオプション」画面の [OK]をクリックする。

【名 [スタート]ボタンをクリックして[接続] にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]をクリックする。

#### ドヒント

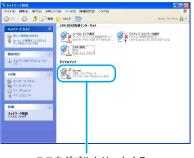
以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます(お買い上げ時のウィンドウの設定の場合)。

[スタート]ボタンをクリックして[コントロール パネル]をクリックする。表示された「コントロール パネル」 画面で[ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。表示された「ネットワークとインターネット接続」画面で[ネットワーク接続]アイコンをクリックする。

# 17

ダイヤルアップ接続(チェックシートの (1))のアイコンをダブルクリックする。

So-netの例では[So-net]をダブルクリックします。



ここをダブルクリックする。

「So-netへ接続」画面が表示されます。

#### ・ヒント

手順9で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られている場合、これをダブルクリックして、手順18に進むこともできます。

# 18 [プロパティ]をクリックする。



ここをクリックする。ここをクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

20

複数の所在地があるときは、「所在地」から設定されている所在地をクリックして 選ぶ。

### 2 「電話とモデムのオプション」画面の [OK]をクリックする。

手順22~25は、チェックシートに「(7) DNSサーバーアドレス(プライマリ DNS)」および「(8) 別の DNSサーバーアドレス(セカンダリ DNS)」を記入した場合(プロバイダから郵送されてきた資料に DNSサーバーアドレスが記入されている場合)のみ操作を行ってください。

# **22** [ネットワーク]タブをクリックする。

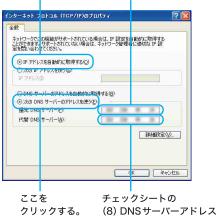
ここをクリックする。



### 24 各項目を以下のように設定する。

- [IPアドレスを自動的に取得する]をクリックする。
- [次のDNSサーバーのアドレスを使う]をクリック し、DNSサーバーアドレスを入力する。

チェックシートの ここを (7) DNSサーバーアドレス クリックする。 (プライマリ DNS) を入力する。



#### ミヒント

「(7) DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)」と「(8) 別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)」は同じ場合があります。このときは「代替DNSサーバー」には入力する必要はありません。

(セカンダリDNS) を入力する。

# **25** [OK]をクリックする。

「インターネット プロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が閉じます。

**26** ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面で[OK]をクリックする。

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が閉じます。

**27** 「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面で [キャンセル]をクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が閉じます。

これでインターネット接続のための設定は終わりです。

#### インターネットに接続する

契約したプロバイダのインターネットサーバーに一般電話回線を使用して接続するには、以下の手順に従って操作してください。

#### ミヒント

#### インターネットサーバーとは

常時インターネットに接続され、アクセス可能なコンピュータのことです。

ホームページ・サーバーやメール・サーバーなどがあります。

[スタート]ボタンをクリックして[接続] にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

#### ・ヒント

以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます(お買い上げ時のウィンドウの設定の場合)。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。「コントロールパネル」画面が表示されます。
- ② [ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。 「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
- ③ [ネットワーク接続]アイコンをクリックする。

ダイヤルアップ接続(チェックシートの (1))のアイコンをダブルクリックする。

So-netの例では[So-net]をダブルクリックします。

#### ・ヒント

「接続のための設定をする」(66ページ)の手順9で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られている場合、これをダブルクリックして、手順3に進むこともできます。

# 「So-netへ接続」画面の各項目を入力または確認する。

① パスワード(チェックシートの(4))を入力する。



チェックシートの (4) パスワード (PPP) を入力する。

#### !ご注意

「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」の 

「をクリックして

 に、「このユーザーのみ」の ○ をクリックして ● にすると、次回からパスワードを入力する手間が省けます。「このコンピュータを使うすべてのユーザー」の ○ をクリックして ● にすると、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがありますのでご注意ください。

#### ミヒント

- 「パスワード」(チェックシートの(4)パスワード (PPP))は「\*」で表示されます。
- 「パスワード」入力欄は、「電子メールソフトウェアの 設定をする」(72ページ)の手順5で、「パスワードを保 存する」の をクリックして (すると、入力された状態で表示されます。
- ② ユーザー名(チェックシートの(3))が正しいか 確認する。



ここを確認する。

#### ③ [ダイヤル]をクリックする。

プロバイダのインターネットサーバーに接続します。 「(ダイヤルアップ接続名)は現在接続しています。」画 面が表示されたときは、[OK]をクリックします。

[OK]をクリックする前に「今後、このメッセージを表

次回からこの画面は表示されません。

デスクトップ画面右下には が表示されます。



これで、接続は完了です。

インターネットに接続しているときは、常にデスクトッ

プ画面右下に が表示されます。

- 電子メールをやりとりするには 「電子メールをやりとりする」(74ページ)をご覧くだ
- 接続できなかった場合は 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の バイオの使いかた タブをクリックし、画面左側にある[イ ンターネット/電子メール]→[インターネットに接 続する(一般電話回線の場合)]の順にクリックして表 示される情報をご覧ください。

#### 接続を切断するには

一般電話回線やISDNなどで、プロバイダと契約した内容 によっては、インターネットに接続している間は、ホーム ページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作 を行っていないときでも通話料やプロバイダへの接続料 金がかかることがあります。また、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアや「Outlook Express」ソフトウェ アを終了しても、インターネットへの接続は解除されま せん。操作を行わないときや操作が終わった後などは、イ ンターネットの接続を切断してください。 接続を切断するには、以下の3つの方法があります。

- デスクトップ画面右下の を右クリックして表示 されるメニューから[切断]をクリックする。
- デスクトップ画面右下の 🗾 をダブルクリックして 表示される「自動切断」画面で[今すぐ切断する]をク リックする。
- 通信用ソフトウェアで、通信を終了するコマンドを実 行する。

#### ドヒント

- 電子メールを書いているときや電子メールを受け取っ た後に読むときは、インターネットの接続を切断してお けば接続料金はかかりません(オフライン作業)。
- ワイヤレス LAN機能などを同時に使用していると、デ

スクトップ画面右下の通知領域に れます。



アイコンにポインタを当てて接続しているアイコン 名を確認してから切断してください。

• ADSLやCATVインターネットについては、基本的に 常時接続となりますので、特に接続を切断しなくても 問題ありません。

# 電子メールソフト ウェアの設定をする

電子メールのやりとりを正しく行えるようにするための 設定を行います。

「チェックシートを作成する」(60ページ)で作成した チェックシートをご覧になりながら、各項目に記入した 内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力し ていきます。以下の手順に従って操作してください。 ここでは、本機に付属の電子メールソフトウェア 「Outlook Express」を例に電子メールをやりとりするた めの設定をしていきます。

#### ドヒント

「Outlook Express」ソフトウェアの設定は1度行えば、2回目以降の起動時には不要です。

[スタート]ボタンをクリックして[すべ てのプログラム]→[Outlook Express] をクリックする。

インターネット接続ウィザードの「名前」画面が表示されます。

#### ・ヒント

- お使いの機種によっては、「名前」画面とは違う画面が 表示されることがあります。この場合は、画面の指示 に従って操作し、手順2の画面まで進んでください。
- 電子メールソフトウェアの設定が終わったあとは、手順1を行うと「Outlook Express」ソフトウェアが起動するようになります。電子メールのアカウントを追加するなど、もう一度「インターネット接続ウィザード」を表示させたいときは、「Outlook Express」ソフトウェアを起動時に、画面上部の「ツール」をクリックし、「アカウント」をクリックします。表示される「インターネットアカウント」画面で「追加」→[メール]の順にクリックします。

**2** 表示したい名前を入力し、[次へ]をクリックする。

チェックシートの (9) 表示名 (差出人フィールドでの表示) を入力する。



「インターネット電子メールアドレス」画面が表示されます。

「電子メールアドレス」に電子メールアドレスを入力して、「次へ」をクリックする。

4. 受信メールサーバーと送信メールサーバーの名前を入力し、[次へ]をクリックする。

チェックシートの (11) 受信メール (POP3、IMAPまたはHTTP) サーバーを入力する。



(12) 送信メール

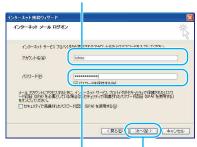
(SMTP) サーバーを 入力する。

#### ・ヒント

「(11)受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー」の名前と「(12)送信メール(SMTP)サーバー」の名前は同じ場合があります。

## アカウント名とパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

チェックシートの (13) POPアカウント名を入力する。



チェックシートの (14) パスワード (POP アカウントパスワード) を入力する。

「設定完了」画面が表示されます。

#### ・ヒント

「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「\*」で表示されます。

ここをクリックする。

 「パスワードを保存する」の をクリックして にすると、実際にインターネットに接続するときの「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面でパスワードを入力する手間が省けます。しかし、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがありますのでご注意ください。

## 6 [完了]をクリックする。

自動的に「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

#### 1.戸注章

[完了]をクリックしたあと、その他の画面が表示される ことがあります。この場合は、画面の指示に従って操作し てください。

#### ・ヒント

「Outlook Express」ソフトウェアで作成したメッセージは初期設定でHTML形式になります。HTML形式に対応していない電子メールソフトウェアを使っている相手にHTML形式のメッセージを送ると、相手側が正しく受け取れないことがあります。メッセージはテキスト形式で送ることをおすすめします。メッセージをテキスト形式で送るように設定するには、次の手順に従ってください。

- ①「Outlook Express」画面上部の[ツール]をクリックし、[オプション]をクリックする。「オプション」画面が表示されます。
- ② [送信] タブをクリックする。 「送信」画面が表示されます。
- ③「メール送信の形式」で[テキスト形式]の を クリックして ⑥ にし、[OK]をクリックする。 送信するメッセージがテキスト形式になります。 電子メールをテキストのみで送りたいときも同様の 設定でお使いください。

# **1** 画面右上の<mark>図</mark> (「閉じる」ボタン)をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

#### 電子メールの設定を変更するには

チェックシートの「(15)インターネットメールアカウント名」は、下記の方法で変更できます。

「Outlook Express」画面上部の[ツール] をクリックする。

「ツール」メニューが表示されます。

[アカウント]をクリックする。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

**ら** [メール]タブをクリックする。

「メール」画面が表示されます。

4. [プロパティ]をクリックする。

「メールアカウント」(「pop.aa2.sonet.ne.jp」が反転表示されている部分)を 変更する。

ここでは「Suzuki Ichiro」と入力してみます。

ここを変更する。



- ⑥ [OK]をクリックする。
- 7 名前を変更した場合は、変更されている か確認して[閉じる]をクリックする。

ここが変更されているか確認する。



ここをクリックする。

【Outlook Express」画面で右上の 【(「閉じる」ボタン)をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

## 電子メールをやりとり する

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子メールソフトウェアが必要です。

ここでは、「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

#### !ご注意

電子メールをやりとりする手順は、インターネットへの接 続やソフトウェアの設定によって変わることがあります。

[1]「Outlook Express」ソフトウェアを起動する まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。 「ダイヤルアップの接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

#### EHUR

「ダイヤルアップの接続」画面で[キャンセル]をクリックするとオフライン作業となります。

#### [2] 電子メールを送信する

ためしに自分のメールアドレス宛に電子メールを送信し てみましょう。

[メッセージの作成]をクリックする。



ここをクリックする。

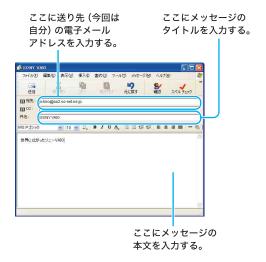
#### ・ヒント

電子メールを書くときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットに接続していない状態(オフライン作業)の方が接続料金と通話料がかからなくてすみます。

## 2 メッセージを作成する。

ここでは、メッセージに「世界に広がったソニーVAIO」と 入れてみます。

タイトル(件名)は「SONY VAIO」にしましょう。



## 画面左上の[送信]をクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)に接続中」画面が表示されたのち、[接続]をクリックすると、作成した電子メールが送り先に送られます。

#### !ご注意

オフライン(インターネットに接続していない状態)で [送信]をクリックした場合は、電子メールは送信トレイ に保管されます。「Outlook Express」画面左上の[送受信] をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

#### [3] 電子メールを受信する

手順[2]で送った自分のメールアドレス宛の電子メール を受信してみましょう。

## 【 インターネットに接続した状態で、画面 左上の[送受信]をクリックする。

手順[2]で送った電子メールが届きます。

#### ここをクリックする。



#### !ご注意

オフライン(インターネットに接続していない状態)のときは、「オフライン作業しています。オンラインに切り替えますか?」というメッセージが表示されます。この場合は、「はい]をクリックしてください。

#### ドヒント

- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。
- 電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう。(71ページ)

#### [4] 受け取った電子メールを見る

手順[3]で届いた電子メールを見てみます。

## [受信トレイ]をクリックする。

受信トレイの中身が表示されます。

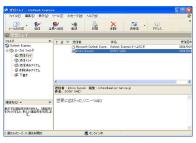
## [SONY VAIO]をクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

#### ここをクリックする。







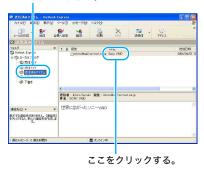
#### [5] 送った電子メールを見る

手順[2]で送った電子メールを見てみます。

## 画面左側の[送信済みアイテム]をクリッ クし、[SONY VAIO]をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

#### ここをクリックする。



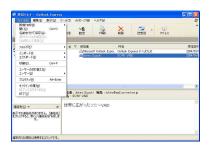
電子メールをやりとりできなかった場合について詳しく は、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

困ったときは/サポート タブをクリックし、画面左側にある[よ くあるトラブルと解決方法]→[電子メール]の順にク リックして表示される情報をご覧ください。

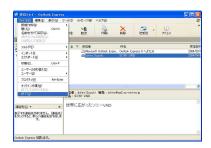
## [6]「Outlook Express」ソフトウェアを終了する

最後に「Outlook Express」ソフトウェアを終了します。

## 画面左上の[ファイル]をクリックする。



#### 2 [終了]をクリックする。



「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

#### !ご注意

インターネットに接続している間は、ホームページを見 たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行ってい ないときでも、通話料やプロバイダへの接続料金がかか ります。また、「Outlook Express」ソフトウェアを終了し ても、インターネットへの接続は解除されません。電子 メールを読んでいる間など、操作を行わないときや、操作 が終わった後などは、インターネットへの接続を切断し てください。(71ページ)

「Outlook Express」ソフトウェアについて詳しくは、ヘル プをご覧ください。「Outlook Express」のヘルプを見ると きは、「Outlook Express」画面上部の[ヘルプ]をクリック してください。

## セキュリティについて

パソコンを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からパソコンを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

#### コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると…」に見られるような被害が起きてしまいます。

コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ 自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコン ピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

#### コンピュータウイルスに侵入されると...

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを 知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルが勝手に消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換 えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスクの空き容量が急に少なくなる。
- □「Norton AntiVirus」ソフトウェアについて

#### !ご注意

ウイルス対策ソフトウェア「Norton AntiVirus」をお使いになるためには、「Norton AntiVirus」をインストールする必要があります。

なお、この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

インストールするには、[スタート]ボタン→[すべてのプ

以降、画面の指示に従って「Norton AntiVirus」ソフトウェアをインストールしてください。

コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルス チェックをおすすめします。

「Norton AntiVirus」ソフトウェアの操作方法について詳しくは、「Norton AntiVirus」のヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。

#### ・ヒント

ウイルス定義ファイルなどのアップデートについて 大機をウィルスからウスために、字即のに「Live Ladete

本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行してください。

なお、「LiveUpdate」を実行するには、インターネットに接続している必要があります。

次の手順で「LiveUpdate」を行ってください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Norton AntiVirus]→[LiveUpdate
   Norton AntiVirus]の順にクリックする。
- ②表示される画面の指示に従って、「LiveUpdate」 を実行する。

「Norton AntiVirus」ソフトウェアの操作方法について詳しくは、「Norton AntiVirus」のヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。

#### シマンテック コンシューマ テクニカルサポート センター

ホームページ: http://www.symantecstore.jp/oem/sony/

#### !ご注意

本センターをご利用頂くためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートをご購入頂くか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。

- \* テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録され た電子メールアドレス宛に通知いたします。
- □「Windows Update」の「重要な更新と Service Pack」のご利用について

次の手順に従って、「Windows Update」にて提供されるプログラムの更新を定期的に行ってください。

「Windows Update」を行うには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。

【スタート】ボタンをクリックして、[すべ てのプログラム]→[Windows Update] の順にクリックする。

「Windows Update へようこそ」画面が表示されます。

#### 2 [更新をスキャンする]をクリックする。

「利用可能な更新を検索しています」というメッセージが 表示され、検索が始まります。

画面左側の「インストールする更新の選択」メニューの[重要な更新と Service Pack]をクリックし、[更新の確認とインストール]をクリックして「重要な更新とService Pack」をインストールする。

#### !ご注意

「Windows XP」や「ドライバの更新」の更新はおすすめし ません。

ドライバの更新により、本機のプレインストール状態の動作に不具合を生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Update に関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご参照ください。

- 「Windows Update 関連情報」 http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html
- 「Windows XPサービスパック関連情報」 http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winxpservice/index.html

#### □ インターネット接続ファイアウォール機能について

本機では、インターネット接続ファイアウォール機能と呼ばれるファイアウォール形式のインターネットセキュリティが提供されています。

本機能を有効にすると、インターネットに接続するコン ピュータを保護することが可能となりますが、次のよう な一部の機能が正常に動作しなくなることがあります。

- Windowsの一部の機能
- 本機搭載のアプリケーション

正常に動作させるにはインターネット接続ファイア ウォールの設定変更が必要となります。 上記の設定変更などの詳細につきましては、下記のホームページをご参照ください。

#### VAIOカスタマーリンク ホームページ

インターネット接続ファイアウォール機能について http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/xptech/info1.html

本機能を有効にしない場合、インターネットに接続する コンピュータが保護されなくなりますので次のような対 策をとられることをおすすめします。

- ハードウェアファイアウォール(ワイヤレス LAN アクセスポイントやブロードバンド ルータなどの製品の多くに搭載されています)による保護を行う。
- 「Windows Update」の実施により、システムを最新の 状態に更新し、セキュリティを強化する。
- 本機にインストールされているコンピュータウイル ス検査・ウイルス除去用ソフトウェアを使い、定期的 なウイルスチェックを行う。

#### □ インターネットのセキュリティについて

インターネットに接続してご使用中は、常にセキュリティが守られなくなる可能性や、コンピュータウイルスによる被害などの危険性が潜んでいます。

セキュリティやウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。

ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報を下記のホームページにて提供しております。定期的に 最新情報をご確認ください。

### VAIOカスタマーリンク ホームページ セキュリティ について

http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。

### VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わ せ窓口

電話番号: (0466)30-3016 受付時間: 平日 10:00~20:00、 土·日·祝日 10:00~17:00 その他

## メモリモジュールを取り付ける/取りはずす

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが2つあり、最大2Gバイトまでメモリを増設できます。\* メモリ容量が大きいと、データの処理速度や、複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理が速くなります。

\* VGN-E70B/S·E70B/Bは、お買い上げ時に256 Mバイトメモリモジュールが2枚取り付けられています。 VGN-E50B/S·E50B/B·E50B/Dは、お買い上げ時に256 Mバイトメモリモジュールが1枚取り付けられています。

## メモリモジュールを取り付けるには

#### !ご注意

- メモリモジュールを取り付ける前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- コンピュータ内部はとても精密にできています。そのため、メモリモジュールの取り付けや取りはずしは注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。破損した場合は有償修理となります。
  - メモリモジュールの取り付けや取りはずしに関するご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- 弊社が動作保証していないメモリーモジュールでは、正常に認識されなかったり、Windowsの動作が不安定になるものがあります。他社のメモリモジュールをお使いになる場合には、販売店またはメモリモジュールの製造メーカーにご相談ください。
- 水などの液体や、ネジなどの異物が入ると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないよう注意深く作業してください。
- 本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないよう注意してください。

#### ・ヒント

#### メモリモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリモジュールを取り付けるときは、静電気の起こりやすい場所(カーペットの上など)では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部やプラスドライバーなどに触れてから作業を始めてください。 ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

#### ▲ 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

### 2 後面のネジ(2か所)を取りはずす。



#### !ご注意

ドライバーはネジのサイズにあったもの(精密ドライバーなど)をお使いください。

## 本機を裏返し、ボトムカバーを矢印の方向にスライドさせて取りはずす。

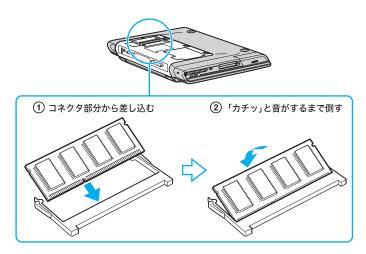


## 4. 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出す。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

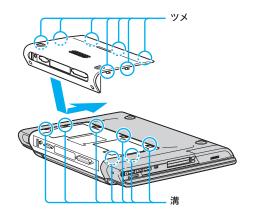
## √ メモリモジュールを取り付ける。

- ①メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、奥までしっかりと差し込む。
- ②「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールを倒す。 メモリモジュールの両端が固定されます。



#### !ご注意

ボトムカバーのツメと本機の溝をあわせてから矢印の方向にスライドさせ、ボトムカバーを取り付ける。



- 7 本機を表向きにし、ネジをしっかり締める。
- **8** 手順1で取りはずした電源コードやバッテリなどを取り付ける。
- メモリの容量を確認する。
- ① 本機の電源を入れる。
- ② [スタート] ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Sony Notebook Setup] の順にポインタをあわせ、[Sony Notebook Setup]をクリックする。「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。
- ③ [システム情報] タブをクリックして、「システム メモリ」の項目を確認する。 「システム メモリ」と「ビデオ メモリ」使用分の8MB(固定)の合計がメインメモリの総容量になります。 メモリ容量が正しくないときは、本機の電源を切って、もう1度正しく取り付けの手順を繰り返してください。

## メモリモジュールを取りはずすには

#### !ご注意

- メモリモジュールを取りはずす前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- 本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないよう注意深く作業してください。
- 機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないよう注意してください。

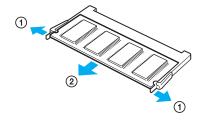
#### ・ヒント

#### メモリモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリモジュールを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所(カーペットの上など)では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。 ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。
  - 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。
  - 2 「メモリモジュールを取り付けるには」の手順2と3を行う。
  - 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを取りはずす。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

- (1) メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。
- ②メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。



- 4. 「メモリモジュールを取り付けるには」の手順6と7を行う。
- **手順1で取りはずした電源コードやバッテリなどを取り付ける。**

## リカバリについて

## リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。 次のような場合などにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなったとき
- 何らかの原因で本機の動作が不安定になったとき
- 誤って C: ドライブを初期化してしまったとき

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。 また、リカバリディスクを作成することもできます。

#### ・ヒント

#### リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うための「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」に必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。

通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

#### !ご注意

• リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです(一部のソフトウェアを除く)。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。

付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。

ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

• パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。

そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。(91ページ)

## リカバリの種類/方法

## リカバリの流れ

リカバリは、以下の流れに従って行います。

## 1 リカバリの準備(バックアップ)

データのバックアップを行います。

## 7 >

## 2 リカバリする

自分の目的にあった方法でリカバリします。

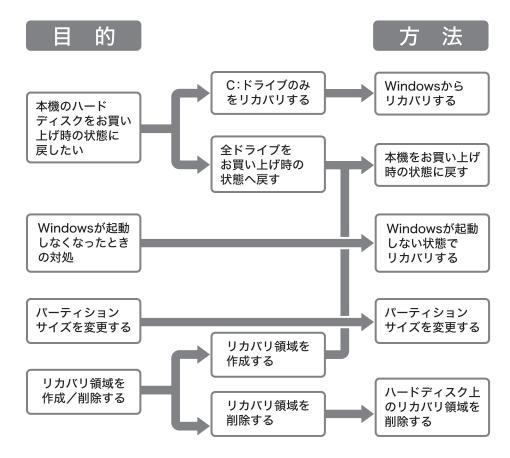
## ₹ 5

## ③ バックアップしたデータを戻す

リカバリの前にバックアップしておいたデータを 元に戻します。

#### どの方法でリカバリすればいいの?

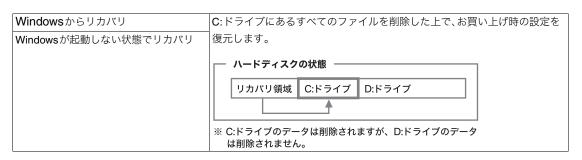
下記を参照して、ご自分にあった方法でリカバリしてください。



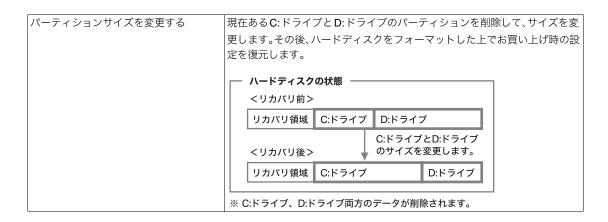
## リカバリの種類

リカバリ方法を次の4種類から選択することができます。通常は、「C: ドライブをリカバリする」を行うことをおすすめします。

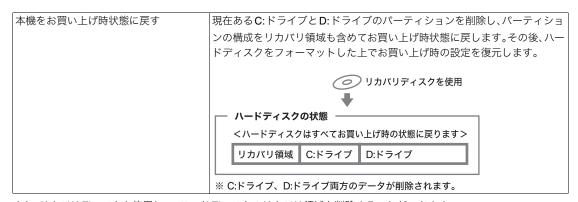
#### □ C:ドライブをリカバリする



#### □ パーティションサイズを変更してリカバリする

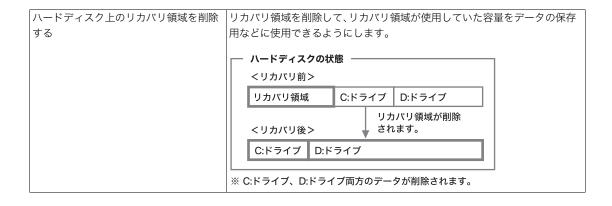


#### □ お買い上げ時の状態にリカバリする



また、リカバリディスクを使用して、ハードディスクのリカバリ領域を削除することができます。

#### □ ハードディスク上のリカバリ領域を削除する



## リカバリの準備(バックアップ)

リカバリする前に、データのバックアップを行ってください。

### データのバックアップを作成する

本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、 大切なデータは必ずバックアップをとってください。バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CDなどのディスクにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、リカバリを行う。

本機のハードディスクは、C: ドライブと D: ドライブの 2 つのパーティションに分かれています。「Windows からリカバリする」(94ページ)の手順5で「C: ドライブをリカバリする」を選んだ場合、C: ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D: ドライブにあるファイルは残ります。

ここでは、例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ方法を紹介します。

[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

2 [ツール]メニューから[オプション]をクリックする。

「オプション」画面が表示されます。

3 [メンテナンス]タブをクリックして[保存フォルダ]をクリックする。

「保存場所」画面が表示されます。



- 4. 「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにポインタをあわせ、右クリックして表示されるリストから[すべて選択]をクリックする。
- 再度、「個人メッセージストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにポインタをあわせ、右クリックして表示されるリストから[コピー]をクリックする。
- [スタート]ボタンをクリックして、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。



## 7

### 「名前」のテキストボックスにポインタをあわせ、右クリックして[貼り付け]をクリックし、[OK] をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのデータが保存されているフォルダの画面が表示されます。



8

表示されているファイルの中から、拡張子が「\*.dbx」になっているファイルを、すべて外部記憶メディアに保存する。

以上で「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ作成は完了です。

#### ・ヒント

- 「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」のバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。「SonicStage」ソフトウェアを起動するには、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[SonicStage]の順にポインタをあわせ、[SonicStege]をクリックします。
- Do VAIOに登録されているコンテンツの管理データは C:ドライブに保存されています。 Do VAIOのバックアップツールを使って管理データのバックアップをとってください。 また、録画したビデオの実データは Do VAIOで保存先ドライブとして設定されているドライブ(お買い上げ時の設定では D:ドライブ)に保存されています。バックアップツールでは実データのバックアップをとることができませんので、録画したビデオの実データを残す場合は、保存先ドライブ(お買い上げ時の設定では D:ドライブ)をフォーマットしないでください。バックアップツールは「VAIO Update」または下記のホームページからダウンロードしてください。 http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/soft/dovaio1.html

#### !ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C: ドライブだけでなく D: ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータは CDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

## リカバリ前に確認してください

- 本機に接続しているすべての周辺機器をはずし、ACアダプタのみを接続してから、作業を行ってください。周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう1度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。「アプリケーションリカバリ」を行わずにリカバリを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- 「Sony Notebook Setup」ソフトウェアでパスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
   万一パスワードを忘れてしまったときは、修理(有償)が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バオの使いかた」タブをクリックし、画面左側にある[電源/バッテリ/省電力]→[電源/起動/終了]→[起動時のパスワードを登録する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

### バックアップしたデータを戻す

リカバリが完了したら、リカバリを行う前にバックアップを取っておいたデータを元に戻し、変更していた設定などがあれば、それもリカバリ前の状態に戻します。

ここでは、例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールデータの戻しかたを紹介します。

[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

2 [ファイル]メニューから[インポート]→[メッセージ]の順にクリックする。

「Outlook Express インポート」画面が表示されます。

「インポート元の電子メールプログラムを選択してください」から、[Microsoft Outlook Express 6]をクリックして[次へ]をクリックする。



「場所の指定」画面が表示されます。

4. [Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

5 [参照]をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[OK]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

「すべてのフォルダ」を選んでクリックし、「次へ」をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

7 [完了]をクリックする。

以上で、電子メールのデータが元の状態に戻ります。

## リカバリディスクを作成する

## リカバリに使用するディスクについて

リカバリでは、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、お買い上げ後すぐに作成してください。

入手方法	使用目的
ご自分で作成	• ハードディスクのリカバリ領域を使用しないでリカバリする。
ご購入(下記参照)	• ハードディスクのリカバリ領域を作成/削除する。

## リカバリディスクのご提供について(有償)

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。

VAIOカスタマーリンクが別途指定するWebページ「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html

\* ご購入にはVAIOカスタマー登録(43ページ)が必要です。

#### !ご注意

本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。

## リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクとは、本機をリカバリするための情報をDVD-RやCD-Rなどのディスクに書き出したものです。「VAIO リカバリユーティリティ」を使うと、リカバリディスクが作成できます。リカバリディスクを用意しておくと、本機のハードディスク上のリカバリ領域を使わなくても、リカバリすることができます。ハードディスクが破損したときや、リカバリ領域を削除してより大きなハードディスク容量を確保したいときに使用します。

万一の場合に備えて、本機を使用する準備ができたら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

#### !ご注意

下記のような操作を行った場合などに、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き換えてしまい、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをお勧めします。本機を使用する準備ができましたら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

#### リカバリディスクとは

ハードディスクリカバリに対応した「バイオ」をリカバリする機能をもったディスクです。

#### !ご注意

[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタをあわせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

2 [リカバリディスクを作成する]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。



「リカバリディスク作成ウィザード」画面が表示されるので、内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

「ディスクの確認」画面が表示されます。

DVD ± RWドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、手順5へ進んでください。

4 使用するディスクを選択する。

リカバリディスク作成用に DVD+R、DVD-Rまたは CD-Rのいずれかが必要となります。必要なディスクの枚数は、「ディスクの確認」 画面で確認できます。

#### !ご注意

DVD+RW、DVD-RW またはCD-RW はリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。

5 [次へ]をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面が表示されます。

## 6 [作成開始]をクリックする。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示され、リカバリディスクの作成が始まります。

#### ・ヒント

リカバリディスクの作成が2回目以降の場合は、ここでリカバリディスクを選択し、希望するリカバリディスクのみ作成することができます。

## 7 指示されたディスクをドライブに挿入し[OK]をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面に現在の作成状況が表示されます。 画面の指示に従って操作してください。 ディスクへの書き込みが完了すると、ドライブからトレイが自動的に引き出されます。

ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順7、8を繰り返します。 リカバリディスクの作成がすべて完了すると、リカバリディスク作成が終了したメッセージが表示されます。

#### 1 ご注音

ディスク名を書き込むときに、ボールペンを使用しないでください。

## **9** [OK]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

## リカバリする

### Windowsからリカバリする

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリする」(98ページ)をご覧ください。

[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタを合わせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。



「メインメニュー」画面が表示されます。

#### : H-11-

2 [本機をリカバリする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。



「リカバリウィザード」画面が表示されます。

3 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

## 4 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリメニュー」画面が表示されます。

## **5** [C: ドライブをリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。



「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

## る 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

## 7 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

#### ミヒント

リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

## [3] 「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

## 😉 [再起動]をクリックする。

本機が再起動します。

#### !ご注意

- Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間が かかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 必ず画面の指示に従って操作してください。

## 「Windowsを準備する」(40ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

## 「「アプリケーションリカバリ」を行います」画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

自動的にアプリケーションソフトウェアのリカバリが始まります。 リカバリ実行中、ディスクを入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

「Office Personal 2003 のインストールを行います。」画面が表示されるので、付属の「Office Personal Edition 2003 プレインストールパッケージ」でOffice Personal 2003をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタート ガイド」をご覧ください。

- ① Office Personal 2003 CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。
- ②「インストールの種類」画面が表示されたら、「完全インストール」の○をクリックして●にし、「次へ」をクリックする。
- ③「ファイルの概要」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。 インストールが始まります。
- ④「セットアップの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。 Office Personal 2003のインストールが完了しました。

#### Webサイトでの更新および追加ダウンロードについて

[Web サイトで更新および追加ダウンロードをチェックする]のチェックボックスをオフにした場合でも、インストール完了後に次の操作を行うと、追加コンポーネントまたはセキュリティ問題の修正プログラムをオンラインで利用できます。オンラインで利用する場合は、インターネットに接続している必要があります。

- ① Office Personal 2003のいずれかのソフトウェアを起動し、「ヘルプ」メニューの[更新のチェック]をクリックする。
- ② Webサイトが表示されたら、ページの左側にある[ダウンロード]が選択されていることを確認する。
- ③必要な Office Personal 2003のアップデートを行う。
  - 「Office Personal Edition 2003 プレインストールパッケージ」でMicrosoft<sup>®</sup> Office Home Style<sup>+</sup> をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタート ガイド」をご覧ください。

- ① Office Home Style+ CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。
- ②「セットアップ先のフォルダ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。
- ③「インストール タイプ選択」画面が表示されたら、[標準]の をクリックして ⑥ にし、[次へ] をクリック する。
- ④「インストールの開始」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。 インストールが始まります。
- ⑤「Microsoft Office Home Style+のインストールが正常に終了しました。」というメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

**⑥**「Microsoft .NET Framework 1.1 パッケージをインストールしますか?」画面が表示されたら、[いいえ] をクリックする。

Office Home Style<sup>+</sup>のインストールが完了しました。

14. 「Office Personal 2003 を本機にインストールします。」画面の[OK]をクリックする。

引き続き、自動的に残りのアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。

- **15** アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動する。
- **16** Office Personal 2003のライセンス認証を行う。

次のいずれかの方法で「ライセンス認証ウィザード」を起動して、ライセンス認証を行ってください。 また、手続きの方法はインターネット経由と電話の2種類が用意されています。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

- Office Personal 2003のいずれかのソフトウェアを起動する。
- Office Personal 2003のいずれかのソフトウェアの「ヘルプ」メニューの[ライセンス認証]をクリックする。 なお、ライセンス認証については、次の専用窓口にお問い合わせください。

#### ライセンス認証専用窓口

電話番号: (0120)801-734 受付時間: 24時間受付

インターネット経由で手続きを行う場合は、この手順を行う前にインターネットに接続するための準備を済ませてお く必要があります。

インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(52ページ)をご覧ください。

ウイルス対策ソフトウェア「Norton AntiVirus」をお使いになるためには、インストールを行う必要があります。 次の手順でインストールしてください。

なおこの操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

**17** [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム] $\rightarrow$ [ $\stackrel{\blacksquare}{\blacksquare}$  Norton AntiVirus 2004 インストーラ]の順にクリックする。

「ウイルススキャンしますか?」画面が表示されます。

**18** [はい]をクリックする。

ウイルススキャンが開始されます。

19 ウイルススキャンが終了した後、表示されるテキスト画面の区をクリックする。

## 20 表示された画面の指示に従って、「Norton AntiVirus」ソフトウェアをインストールする。

#### !ご注意

「Norton AntiVirus」ソフトウェアのCD-ROMは同梱されていません。 MSN インスタントメッセンジャースキャナは初期状態では機能しません。

21 インストール完了の画面が表示されたら、[完了]をクリックする。

「Norton AntiVirus情報ウィザード」が起動します。 画面に従って、設定を行います。 これで「Norton AntiVirus」ソフトウェアが使えるようになりました。

### Windowsが起動しない状態でリカバリする

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。 また、リカバリディスクを作成している場合には、リカバリディスクを使用してリカバリを開始できます。(91ページ)

- ①(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。
- 2 VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

#### ・ヒント

リカバリディスクでも「リカバリウィザード」を起動させることができます。本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り(39ページ)、再び電源を入れてください。

#### !ご注意

「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順1からやり直してください。 何度やり直しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、「本機をお買い上げ時状態に戻す」をご覧ください。

- 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。
- 4: 「Windowsからリカバリする」(94ページ)の手順4以降の操作を行う。

### 本機をお買い上げ時状態に戻す

本機のすべてのハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すには、以下の手順に従って操作します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成をもとに戻したい場合も、この手順を行ってください。

#### !ご注意

この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったデータは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。お買い上げ時状態に戻す前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

- 本機の電源が入っている状態で、リカバリディスクをドライブに入れる。
- 2 [スタート]ボタン→[終了オプション]の順にクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、[電源を切る]をクリックして本機の電源を切る。
- 30秒ほど待ってから ①(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。

VAIOのロゴマークが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます (起動には数分かかる場合があります)。

#### !ご注意

「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は再び手順2からやり直してください。

4 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリメニュー」画面が表示されます。

**6** [お買い上げ時の状態にリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

7 「Windowsからリカバリする」(94ページ)の手順6以降の操作を行う。

## パーティションサイズを変更する

## パーティションとは

ハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機のハードディスクはC: ドライブとD: ドライブの2つのパーティションに分かれており、D: ドライブは、動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域(データスペース)として使えるように設定されています(お買い上げ時)。

本機はリカバリ機能を使ってC:ドライブとD:ドライブのパーティションサイズを変更できます。

より多くのハードディスク容量が必要な場合は、リカバリ領域を削除することができます。(101ページ)

動画の取り込みや書き出しを行う場合は大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こることがあります。ハードディスクの断片化はフレーム落ちの原因となるため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化(デフラグ)またはフォーマットを行ってください。パーティションを区切ると、Windows は  $\mathbf{C}$ : ドライブにインストールされます。  $\mathbf{C}$ : ドライブを最適化するには非常に時間がかかる場合がありますので、 $\mathbf{D}$ : ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

#### ・ヒント

#### 断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

#### ・ヒント

#### デフラグ(最適化)とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ(最適化)により、データの読み出しや書き込みが 速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

### パーティションサイズを変更するには

以下の手順に従ってパーティションサイズを変更します。

#### !ご注意

この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったファイルは C: ドライブだけでなく D: ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータは CD などのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

#### ・ヒント

• 「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」のバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「SonicStage」ソフトウェアを起動するには、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→
[SonicStage]の順にポインタをあわせ、[SonicStage]をクリックします。

- Do VAIOに登録されているコンテンツの管理データはC:ドライブに保存されています。Do VAIOのバックアップツールを使って管理データのバックアップをとってください。また、録画したビデオの実データは Do VAIOで保存先ドライブとして設定されているドライブ(お買い上げ時の設定では D:ドライブ)に保存されています。バックアップツールでは実データのバックアップをとることができませんので、録画したビデオの実データを残す場合は、保存先ドライブ(お買い上げ時の設定では D:ドライブ)をフォーマットしないでください。バックアップツールは「VAIO Update」または下記のホームページからダウンロードしてください。http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/soft/dovaio1.html
  - 「Windowsからリカバリする」 (94ページ) の手順1~4を行う。

「リカバリメニュー」画面が表示されます。

2 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。 ここで現在のパーティションサイズを確認できます。

C: ドライブのパーティションサイズをドロップダウンリストから指定し、[次へ]をクリックする。



「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

4. 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

「Windowsからリカバリする」(94ページ)の手順7以降の操作を行う。

## ハードディスク上のリカバリ領域を削除する

以下の手順でリカバリディスクを使ってハードディスク上のリカバリ領域を削除できます。

#### !ご注意

- リカバリディスクを作成していない場合は、「リカバリディスクを作成する」(91ページ)の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。
- リカバリ領域を削除した場合、ハードディスクからリカバリできなくなります。リカバリ領域を削除した後、リカバリするためには、リカバリディスクでリカバリするか、「本機をお買い上げ時状態に戻す」(99ページ)の手順に従いリカバリ領域を作成してから行ってください。
- この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけではなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。リカバリ領域を削除する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

- 本機の電源が入っている状態で、リカバリディスクをドライブに入れる。
- 2 [スタート]ボタン→[終了オプション]の順にクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、[電源を切る]をクリックして本機の電源を切る。
- 30秒ほど待ってから(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

#### !ご注意

4. 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリメニュー」画面が表示されます。

6 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ領域オプション」画面が表示されます。

7 [リカバリ領域を削除する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。



「実行確認」画面が表示されます。

[はい]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。

9 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

【〇 「Windowsからリカバリする」(94ページ)の手順7以降の操作を行う。

## 使用上の ご注意

#### 本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして 力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車 内など、異常な高温になる場所に は置かないでください。本機が変 形し、故障の原因となることがあ ります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所で は使用しないでください。
- キーボードの上に物を置いたり落としたりしないでください。また、キートップを故意にはずさないでください。キーボードの故障の原因となります。
- 本機は精密機器であるため、ほこりの多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しない でください。
- ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。

#### 液晶ディスプレイについて

• 画面上に常時点灯している輝点 (赤、青、緑など)や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常 に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらか明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。 キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。

#### 結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。 本機を寒い場所から急に暖かい場所 に持ち込んだときや、冬の朝など暖 房を入れたばかりの部屋などで、本 機の表面や内部に結露が生じること があります。

そのままご使用になると故障の原因となります。

結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。 管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。

全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間 放置してください。

#### ハードディスクの取り扱いに ついて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上 の変化)のある場所では使用しな いでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気 ブレスレットなどの磁気を帯び たものを本機に近づけないでく ださい。
- ハードディスクドライブを取り はずさないでください。

#### ハードディスクのバックアップ について

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップを取ることをおすすめします。

ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて 詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。

データの損失については、一切責任 を負いかねます。

#### CDやDVDなどのディスクの 取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



• ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと、本体内部にラベルが貼り付いて、本機の故障の原因となることがあります。ラベルが正しく貼られていることを確認してからディスクをお使いください。

ラベルの貼付に起因する不具合 やメディアの損失については、弊 社では責任を負いかねます。ご使 用になるラベル作成ソフトウェ アやラベル用紙の注意書きをよ くお読みになり、お客様の責任に おいてご使用ください。 外縁を支えるようにして持ち、記録面(再生面)に触れないようにしてください。記録面が汚れると、データの読み込み、書き込みができなくなります。



- ほこりやちりの多いところ、直射 日光の当たるところ、暖房器具の 近く、湿気の多いところには保管 しないでください。
- 直射日光が当たって高温になった自動車の中に長時間放置しないでください。
- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディス クは必ずケースなどに入れて保 管してください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなどで文字を書くと、記録面を傷つけ、データの読み込みや書き込みができなくなることがあります。

#### "メモリースティック"の取り <u>扱いに</u>ついて

"メモリースティック"に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

端子部には手や金属で触れないでください。



- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、"メモリースティック"を付属の収納 ケースに入れてください。

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、 落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下 など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

### "メモリースティック デュオ"使 用上のご注意

- メモリースティックデュオアダ プターに"メモリースティック デュオ"が装着されていない状態 で、本機に挿入しないでください。このような使い方をすると、 機器に不具合が生じることがあります。
- "メモリースティック デュオ"のメ モエリアに書き込むときは、あまり 強い圧力をかけないでください。

#### フロッピーディスクの取り扱い について

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次の ことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの 磁気を帯びたものに近づけないで ください。記録されているデータ が消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具 の近くに放置しないでください。 フロッピーディスクが変形し、使用 できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。



- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッ ピーディスクドライブから取り

- 出して、必ずケースなどに入れて 保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると、本体内部にラベルが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

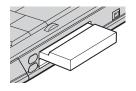
#### ワイヤレス機能の取り扱いに ついて

- 本機のワイヤレス LAN機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ワイヤレスLAN対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が 共有して使用する電波帯です。 そのためワイヤレスLAN対応機器 は、同じ電波帯を使用する機器から の影響を最小限に抑えるための技 術を使用していますが、場合によっ ては他の機器の影響によって通信 速度や通信距離が低下することや、 通信が切断することがあります。
- 通信速度は、通信機器間の距離や 障害物、機器構成、電波状況、使用 するソフトウェアなどにより変化 します。また、電波環境により通信 が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- IEEE802.11a準拠のワイヤレス LAN機能とIEEE802.11b/g準拠のワイヤレスLAN機能とでは、周 波数帯域が異なるため接続する ことはできません。
- ・ IEEE802.11gは、IEEE802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。

- 14チャンネルに対する規制が他 チャンネルと異なるため、14チャ ンネルは、IEEE802.11bモードで 動作します。
  - 14チャンネルは送信時最大2 Mbpsまでの仕様になっています。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、 WIRELESS LANスイッチを「OFF」にあわせてください。

#### PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- カード内部には精密な電子部品 があります。落としたり、強い衝 撃を与えないでください。故障の 原因となります。
- カードを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や 保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下 など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所
- PCカードスロットからはみ出す PCカード(ワイヤレスLANカー ドなど)を挿入してお使いの場合 は、次の点にご注意ください。



- PCカードを挿入した状態で、 本機を移動しないでください。 移動時にPCカードに強い衝撃 を与えると、本機が破損するお それがあります。
- PCカード部分を持って本機を 持ち上げるなど、PCカードに 力を加えると、本機が破損する おそれがあります。

- PCカードを挿入した状態で、 本機をカバンやキャリング ケースなどの中へ入れないで ください。PCカードに予期せ ぬ力が加わり、本機が破損す るおそれがあります。

#### ACアダプタについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属または 指定された別売りのACアダプタ をご使用ください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは 危険ですので、そのまま使用しないでください。

#### バッテリについてのご注意

#### バッテリについて

- 付属のバッテリは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属または 指定された別売りのバッテリを ご使用ください。
- AC電源につないでいるときは、 バッテリを装着しているときで も、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

#### はじめてバッテリをお使いにな るときは

付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリが消耗している 状態になっていることがあります。

#### バッテリの充電について

バッテリは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、使用可能時間が短くなる場合があります。

使用前には、再度、充電することをお すすめします。

また、充電回数、使用時間、保存期間 に伴い少しずつ性能が劣化していき ます。

このため、充分に充電を行っても使用可能時間短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。

この場合には、新しいバッテリをお 買い求めください。

#### 省電力動作モードでお使いのときは

スタンバイ時にバッテリが消耗すると、スタンバイに移行する前の作業 状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スタンバイに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。

なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

#### バッテリの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリの 残量がわずかになると、自動的に休 止状態になるようお買い上げ時に設 定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器に よっては、Windowsからの指示で作 業を一時中断することができないた め、この機能が正しく働かないこと があります。

長時間席をはずされるときなどに バッテリが消耗した場合、自動的に 休止状態にならないと、本機の電源 が切れて作業中のデータが失われて しまうおそれがあります。

バッテリでご使用のときは、こまめ にデータを保存したり、手動で休止 状態にしてください。

#### Do VAIO について (VGN-E70B/S・E70B/B)

#### 本機へアナログ入力するときの ご注意

Do VAIOのテレビ機能を使って、本機に静止画や動画を取り込むとき、静止画や動画にノイズが出たり、一時途切れたり、取り込みに失敗することがあります。これらの現象は、以下のように映像の同期信号が乱れた場合に起こります。

- 取り込む静止画や動画が乱れた とき、または本機に何も入力され ていないとき
- 本機のAVINコネクタまたはS VIDEOINコネクタにつないだ ケーブルをつなぎかえたとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局 の放送信号が何らかの原因で乱 れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノイズが入ったとき、または放送が行われてないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、 ビデオデッキのチャンネルや入 力を切り換えたとき
- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダーから映像入力中に、ビデオテープのつなぎ撮りをした部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画 中に振動やゆれを加えて撮った テープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキやビデオカメラレコーダーに振動やゆれが加わったとき

#### ケーブルテレビを受信するとき のご注意

ケーブルテレビの受信はケーブルテレビの放送(サービス)が行われている地域のみで可能です。ケーブルテレビを受信する場合は、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナルが必要になります。詳しくは、各地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

#### システムの復元をご使用になる ときのご注意

システムの復元を使って復元ポイントに戻すと、レジストリの情報が復元前の状態に戻ります。そのため、場合によってはチャンネルの設定が失われることがあります。その場合は、もう一度「地域設定」を行ってください。

#### ソフトウェアと周辺機器の 動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

#### ソフトウェアの不正コピー 禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

#### ドライブの地域番号書き替え について

お買い上げ時は、本機のドライブの 地域番号(リージョンコード)は「2」 (日本)に設定されています。

一部のソフトウェアには地域番号を書き替える機能がありますが、ご使用にならないでください。これらの機能を使用した結果生じた不具合につきましては、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

#### CD再生/録音についてのご注意

本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生・録音できない場合があります。

## お手入れ

#### 本機のお手入れ

- ゴミヤほこりなどは、乾いた布で 軽く拭き取ってください。
- 液晶ディスプレイは、乾いた柔ら かい布で軽く拭いてください。汚 れてきたと思ったら、こまめに拭 くように心がけてください。
- 本機の表面にできた小さな傷は、 柔らかい布で拭くと取れる場合 があります。
- キーボード(キートップ)の隙間 に落ちたゴミやほこりなどは、精 密機器専用のブロワーなどを 使って吹き飛ばしてください。 キートップは、故意にはずさない でください。また、家庭用掃除機 などで吸引すると、故障の原因と なります。

#### !ご注意

- 汚れを落とすときは、必ず乾いた 柔らかい布で軽く拭き取ってく ださい。汚れが落ちにくいとき は、息をかけながら乾いた布で拭 き取るか、水で少し湿らせた布で 軽く拭いたあと、さらに乾いた布 で水気を拭き取ってください。
- ベンジン、アセトン、アルコール やシンナーなどは、表面の仕上げ を傷めますので使わないでくだ さい。化学ぞうきんをお使いにな るときは、その注意書きに従って ください。

#### CDやDVDなどのディスクの お手入れ

#### DVD-ROM、CD-ROMディスク のお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの 汚れは、読みとりエラーの原因に なります。いつもきれいにしてお きましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向 へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

## 書き込みのできるCDやDVD ディスクのお手入れ

- 未記録部分に傷やほこりがある と、正しいデータが記録できない ことがあります。取り扱いには充 分ご注意ください。
- ベンジンやシンナー、クリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを 使って吹き飛ばしてください。

## コンピュータ廃棄時など のハードディスク上の データ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要な データを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には次のような作業を行い ます。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化(フォーマット)する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリ ディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(いずれも有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れなくすることをおすすめします。

なお、消去のための専用ソフトウェアなどについての詳細は、VAIOホームページ内「サポート」ページ

(http://vcl.vaio.sony.co.jp) の「セキュリティについて」より「ハードディスク上のデータ消去に関するご注意」をご覧ください。

# 付属ソフトウェアの お問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が 異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問 い合わせください。

なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で「バイオ電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

1

[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2

画面上部の | yzhā用ナヒ タブをクリックし、画面左側にある[付属ソフトご紹介/お問い合わせ先]をクリックする。

#### !ご注意

Windows XPは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
 本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
 インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
 その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。

「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。ユーザー権利とアクセス許可について詳しくは、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックし、[コントロール パネル]→[ユーザーアカウント]を順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。

なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。

ただし、このような操作を行った場合の動作確認は 行っておりません。

#### VAIOする

□ Do VAIO

VAIOカスタマーリンク

# ビデオ編集・再生

DVgate Plus

VAIOカスタマーリンク

■ Windows Media (TM) PlayerVAIOカスタマーリンク

□ WinDVD for VAIO(ドルビー バーチャルスピーカー/ドル ビーヘッドホン対応)

VAIOカスタマーリンク

#### DVD作成

☐ Click to DVD

VAIOカスタマーリンク

# 音楽

□ SonicStage

VAIOカスタマーリンク

□ SonicStage Mastering StudioVAIOカスタマーリンク

# 静止画・写真

□ PictureGear StudioVAIOカスタマーリンク

#### ホームネットワーク

□ VAIO Media

VAIOカスタマーリンク

□ VAIO Media Integrated Server

VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

■ Network Smart Capture VAIOカスタマーリンク

## □ みんなで T V 電話

NTTコミュニケーションズ(株) ドットフォン パーソナル インフォ メーションセンター

電話番号: (0120) 050-506

受付時間:月曜〜金曜:9時〜17時 (指定休業日、祝日を除く)

ホームページ:

http://www.ntt.com/pcsp/

#### インターネット・メール

☐ Microsoft(R) Outlook Express

VAIOカスタマーリンク

☐ Microsoft(R) Internet Explorer

VAIOカスタマーリンク

□ Google ツールバー(TM) 日本語版

Google Inc.

電子メール:

toolbar-support-ja@google.com

i-フィルター Personal Editionデジタルアーツ株式会社 ユーザー サポート

電話番号: (03)5485-1334

受付時間:月曜~金曜:10時~18時(年末年始、祝日を除く)

ファックス番号: (03)5485-1337

電子メール(技術サポートメール): support@daj.co.jp

ホームページ: http://www.daj.co.jp/

#### ISP サインアップ

# □ インターネット カウンセラー

インターネット カウンセラーサポー トセンター

電話番号: (03)5565-4500

受付時間:月曜〜金曜:10時〜18時 (年末年始、祝日を除く)

※プロバイダーサービス内容やお申し込みにつきましては、各プロバイダーへお問い合わせください(下記参照)。

### □ AOLサインアップツール

AOLメンバーサポートセンター

電話番号: (0120)275-265

受付時間:毎日9時~21時

ファックス番号: (0120)379-930

電子メール: aoljapanms@aol.com

ホームページ:

http://www.jp.aol.com/

#### □ @niftyでインターネット

@ niftyブロードバンド導入ご相談窓口

電話番号: (0120)816-042(フリーダ イヤル)

携帯·PHS·海外からは

(03)5753-2374(電話料金はお客様

ご負担となります。)

受付時間:毎日9時〜21時(ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。)

電子メール: feedback@nifty.com

ホームページ:

http://www.nifty.com/support/index.htm

#### □ BIGLOBEサインアップナビ

BIGLOBEカスタマーサポート インフォメーションデスク

電話番号(通話料無料):

(0120)86-0962

電話番号(携帯電話、PHS、CATV電

話の場合):(03)3947-0962

受付時間:9時~22時 365日受付

ファックス番号: (03)3798-4198

ホームページ:

http://support.biglobe.ne.jp/

#### □ DIONサインアップソフト

KDDIカスタマーサービスセンター

電話番号: (0077)7192(無料)

受付時間:9時~21時

(土・日・祝日も受付中)

電子メール:メールでのお問い合わせはホームページから。

http://cs119.kddi.com/dion/

ホームページ: http://www.dion.ne.jp/

# □ OCNスタートパック

OCNスタートパックヘルプデスク

電話番号: (0120)047-747

受付時間:月曜~金曜:9時~21時、 土曜·日曜·祝日:9時~17時

(年末・年始は休業とさせていただき ます)

電子メール:info@ocn.ad.jp

ホームページ: http://www.ocn.ne.jp/

#### □ ODNサインアップソフトウェア

ODNサポートセンター

電話番号(ダイアルアップコースに関するお問い合わせ):0088-86(無料)

電話番号(ADSL/光コースに関するお問い合わせ):0088-222-375(無料)

受付時間:9時~18時(無料/年中無休)

電子メール:odn-support@odn.ad.jp (ダイアルアップコース)

info-adsl@odn.ad.jp(ADSL/光コース)

ホームページ: http://www.odn.ne.jp/ (ODNホームページ)

# □ ぷらら入会/接続ソフト (P'z Dialer)

株式会社ぷららネットワークス「ぷ ららダイヤル」

電話番号(入会に関するお問い合わせ): 009192-39(通話料無料)

受付時間:10時~22時

(12/29~1/3および5/3~5/5を除く)

電話番号(設定などに関するお問い 合わせ):009192-33(通話料無料)

受付時間:月曜~金曜:12時~21時、 土曜日曜祝日:12時~19時

(12/29~1/3および5/3~5/5を除く)

電話番号(携帯電話·PHS·公衆電話・ 海外などからご利用の場合):

(03) 5954-5330

(受付時間:月曜〜金曜 12時〜21 時、土曜日曜祝日12時〜19時、12/29 〜1/3および5/3〜5/5を除く)

通話料金は、お客様負担となります のでご注意ください。

電子メール:kojin@plala.or.jp

ホームページ: http://www.plala.or.jp/access/

□ So-net簡単スターターV2

So-netインフォメーションデスク

電話番号:0570-00-1414

電話番号(携帯·PHSからおかけになる場合):

札幌(011)711-3765/

仙台(022)256-2221/

東京(03)3446-7555/

名古屋(052)819-1300/

大阪(06)6577-4000/

広島(082)286-1286/

福岡(092)624-3910

受付時間:9時~21時 年中無休

ファックス番号: (03)3446-7557

電子メール∶info@so-net.ne.jp

ホームページ:

http://www.so-net.ne.jp/support/

☐ Yahoo! BB

Yahoo! BB カスタマーサポートセンター

電話番号: (0120)919-820

受付時間:24時間\*年中無休(施設点 検日およびメンテナンス日は休業)

\*23時から翌朝9時までの時間は、モデムの故障やネットワーク障害についてのお問い合わせのみ受け付けております。

※お電話の際は番号をお間違いのないようお願い申し上げます。

携帯·PHSからのお問い合わせ: (03)6688-5001 [東京]

電子メール:help@ybb-support.jp

※携帯電話からのメールは文字数制限等によりご返答できません。必ずパソコンからのメールをご利用ください。

ホームページ: http://bb.yahoo.co.jp/

### □ ホットスポット

ホットスポットインフォメーション デスク

電話番号: (0120)815244

受付時間:月曜〜金曜10時〜18時 (年末年始、祝日を除く)

電子メール:hotspot@ntt.com

ホームページ:

http://www.hotspot.ne.jp/

#### ワープロ・表計算

□ Microsoft(R) Office Personal Edition 2003

マイクロソフト スタンダードサポート

電話番号:東京(03)5354-4500/ 大阪(06)6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ:

4インシデント(4件のご質問)までは 無償、それ以降は有償になります。

本件について詳しくは、付属の

「Microsoft Office Personal Edition 2003 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間:月曜〜金曜:9時30分〜12時、 13時〜19時、土曜:10時〜17時 (マイクロソフト社指定休業日、年末 年始、日曜・祝日を除く)

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ:

マイクロソフト スタンダードサポートにてサポートいたします。期間、回数の指定はありません。こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間:月曜〜金曜:9時30分〜12 時、13時〜19時、土・日曜:10時〜17時 (マイクロソフト社指定休業日、年末 年始、祝日を除く)

#### !ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。 プロダクトIDの確認方法については、付属の「Microsoft Office Personal Edition 2003 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Microsoft
  Office Personal Edition 2003 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Microsoft Office Personal Edition 2003 関連のお問い合わせは、 VAIOカスタマーリンクではお受 けしておりません。

#### 実用ツール

# ☐ Drag'n Drop(R) CD+DVD

イージーシステムズジャパン株式会社 ホームページ:

http://www.ddcd.jp/dd3/sony/cd/index.html 製品 FAQページ:

http://www.ddcd.jp/dd3/sony/cd/faq.html オンラインサポート\*:

http://www.ddcd.jp/dd3/sony/cd/tosupport.html

\* Drag'n Drop CD+DVDは180日間 のオンラインサポートのみとな ります。

#### □ 駅すぱあと

ユーザーサポートセンター 電話番号(テクニカル): (03)5373-3522

電話番号(バージョンアップ): (03)5373-3521

受付時間:月曜~金曜:10時~12時、 13時~17時

(祝日、年末年始、夏期休暇を除く) ファックス番号: (03)5373-3523

電子メール: support@val.co.jp ホームページ: http://ekiworld.net/

# □ デジタル全国地図

株式会社ゼンリンデータコム お客様 相談室

電話番号: (0120)210-616

受付時間:月曜〜金曜:10時〜17時 (祝日・株式会社 ゼンリンデータコム 指定休日は除く)

電子メール:

itsmo\_navi@zenrin-datacom.net ホームページ:http://www.its-mo.net/

#### □ 筆ぐるめ

富士ソフト ABC インフォメーション センター

電話番号: (03)5600-2551

受付時間:月曜~金曜:9時30分~ 12時、13時~17時

(土・日・祝日・富士ソフト ABC株式 会社指定休業日を除く)

ファックス番号:(03)3634-1322

電子メール:users@fsi.co.jp

ホームページ:

http://www.fsi.co.jp/product/

#### □ てきぱき家計簿マム

テクニカルソフトサポートセンター 電話番号:東京(03)3564-6370

大阪(06)6633-1162

岡山(086)245-4770

受付時間:月曜〜金曜:10時〜17時 (祝日、テクニカルソフト株式会社休 業日を除く)

ファックス番号: (086)244-6010

電子メール:support@softnet.co.jp

ホームページ:

http://www.softnet.co.jp/

# □ 時事通信社「家庭の医学」デ ジタル版

時事通信社出版局デジタルコンテンツ グループ

電話番号: (03)3591-8690

受付時間:月曜〜金曜:10時〜16時 (年末年始、祝日を除く)

ホームページ:

http://book.jiji.com/igaku/index2.htm

# □ ATLAS 翻訳パーソナル 2004 LE

ATLASサポートセンター

電話番号: (03)5462-1934

受付時間:月曜〜金曜(祝日を除く) 9時〜12時、13時〜17時

ファックス番号: (03)5462-2344

電子メール: atlas@pc.fujitsu.com

ホームページ:

http://software.fujitsu.com/jp/atlas/

#### □ HD革命/BackUp Lite

株式会社 アーク情報システム サポート係

電話番号: (03)3234-9251

受付時間:月曜~金曜:10時~12時

と13時~17時まで

(年末年始、祝日を除く)

ファックス番号:(03)3234-9252

電子メール:

kakumei@ark-info-sys.co.jp

ホームページ:

http://www1.ark-info-sys.co.jp/

#### !ご注意

バックアップ・復元を確実に行うために、必ず、「HD革命 BackUp Lite」のヘルプをお読みください。

□ Adobe(R)Reader(R)

VAIOカスタマーリンク

#### ☐ Norton AntiVirus (TM) 2004

シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター

ホームページ:

http://www.symantecstore.jp/oem/sony/

#### !ご注意

本センターをご利用頂くためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートをご購入頂くか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。

\* テクニカルサポートセンターの 連絡先は、ご登録された電子メー ルアドレス宛に通知いたします。

ウィルス対策ソフトウェア「Norton AntiVirus」をお使いになるためには、「Norton AntiVirus」をインストールする必要があります。

なお、この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

インストールするには、[スタート] →[すべてのプログラム]→

[ Norton AntiVirus 2004 インストーラ] の順にクリックします。 以降、画面の指示に従って「Norton AntiVirus」ソフトウェアをインストールしてください。

#### 設定・ユーティリティ

□ VAIOランチャー

VAIOカスタマーリンク

#### □ メモリースティックフォーマッタ

ソニー株式会社 テクニカルイン フォメーションセンター

電話番号: (0564)62-4979

受付時間:月〜金 9時〜17時 (ただし年末、年始、祝日を除く)

ホームページ:

http://www.sony.net/memorystick/support/

□ Sony Notebook Setup

VAIOカスタマーリンク

## サポート・ヘルプ

# □ バイオ電子マニュアル

VAIOカスタマーリンク

#### □ VAIO ハードウェア診断ツール

VAIOカスタマーリンク

#### □ できる Windows XP for VAIO

インプレスカスタマーセンター

電話番号: (03)5213-9295

☐ How to VAIO

VAIOカスタマーリンク

## □ VAIO リカバリユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

□ VAIO Update

VAIOカスタマーリンク

#### その他

## ☐ Java (TM) Software

サン・マイクロシステムズ株式会社

ホームページ:

http://www.java.com/ja/

# □ VAIOオンラインカスタマー 登録

ソニーマーケティング株式会社 カスタマー専用デスク

電話番号: (0466)38-1410

受付時間:月曜~金曜日 10時~18時

(土曜、日曜、祝日、年末年始を除く)

# ロ オンラインコンテンツガイド

ソニー株式会社「オンラインコンテ ンツガイド」お問い合わせ窓口

受付時間:月曜~金曜日:9時~17時

30分(年末年始、祝日を除く)

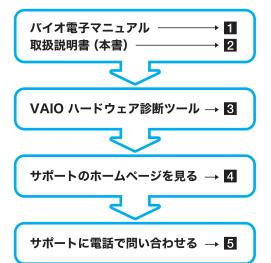
電子メール:info@grami.ne.jp

困ったときは

# 困ったときは

本機を操作して困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次の流れに従ってください。

また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。



#### ロ ソフトウェアのヘルプ

お使いになるソフトウェアを起動して、ヘルプをご覧ください。(ヘルプのないソフトウェアもあります。)

### □ Windowsのヘルプ

[スタート]ボタンをクリックし、[ヘルプとサポート]を クリックして、「ヘルプとサポートセンター」をご覧くだ さい。

# バイオ電子マニュアル

[スタート] → [すべてのプログラム] → [バイオ電子マニュアル] の順にクリックする。





#### ミヒント

VAIO ランチャーを起動している場合は、ランチャー内のアイコンをクリックしても「バイオ電子マニュアル」を起動できます。

#### □ 故障かな?と思ったときは

画面上部の Boたときは/サポート タブ→[よくあるトラブルと解決方法]を順にクリックして表示される情報から選んでご覧ください。

掲載している Q&A 情報は、「バイオ電子マニュアル Q&A 一覧」(117ページ)をご覧ください。

#### □ 本機の使いかたが分からないときは

画面上部の バイオの使いかた タブをクリックして表示される情報をご覧ください。

- 各部の説明(本体、キーボード、リモコン(VGN-E70B/S・ E70B/B)、デスクトップ画面)
- 電源/バッテリ/省電力
- キーボード/タッチパッド/リモコン
- ディスプレイ/音
- CD/DVD
- "メモリースティック"/フロッピーディスク/ メモリカードアダプタ
- Do VAIOを楽しむ
- 音楽
- 静止画/動画
- テレビ
- インターネット/電子メール
- 接続/拡張
- データのやりとり/保存
- ワイヤレス機能
- 設定
- ご注意/その他

# 2 取扱説明書(本書)

バイオ電子マニュアルが起動できないときは、本書の下記の項目をご覧ください。

- 電源/起動(121ページ)
- テレビ再生/録画(125ページ)
- 文字入力/キーボード(131ページ)
- タッチパッド(133ページ)
- 画面/ディスプレイ(135ページ)
- スピーカー/ヘッドホン(**137**ページ)
- ハードディスク(**138**ページ)
- エラーメッセージ(140ページ)

# S VAIO ハードウェア診断ツール

「VAIO ハードウェア診断ツール」を使って、CPUやハードディスクなどのハードウェアに故障がないかチェックします。

[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]  $\rightarrow$  [VAIO ハードウェア診断ツール]  $\rightarrow$  [VAIO ハードウェア診断ツール] の順にクリックして起動できます。

# 4. サポートのホームページを見る

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンクホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載しています。

詳しくは、「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」(146ページ)をご覧ください。

# 5 サポートに電話で問い合わせる

お電話でのお問い合わせについては、「VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる」(148ページ)をご覧ください。

お問い合わせには、「お客様サポート番号」または「VAIO カスタマーID」が必要です。詳しくは、43ページをご覧く ださい。

# バイオ電子マニュアルQ&A一覧

バイオ電子マニュアルに掲載されている Q & A 情報は以下になります。

故障かな?と思ったときにはご参照ください。

画面上部の Botときは/サポート タブ→[よくあるトラブルと解決方法]を順にクリックして表示される情報から選んでご覧ください。

#### □ 電源/起動

- 電源が入らない。(心(パワー)ランプ(グリーン)がつかないとき)
- ・電源が入らない、または電源ボタンが効かない。 (←」がすばやく点滅している)
- 電源を入れても、()(パワー)ランプ(グリーン)は点灯するが画面に何も表示されない。
- 電源が切れない。
- 電源が勝手に切れた。
- 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できません。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。
- ハードディスクから起動できない。
- 起動時の音量や起動デバイスの設定方法がわからない。

### □ パスワード

- 「Sony Notebook Setup」ソフトウェアで設定した起動時のパスワードを忘れてしまった。
- Windows XPのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。
- Windows XPのインターネット接続パスワードの文字 数が増えている。

#### □ 省電力動作モード

- 休止状態に移行できない。
- バッテリ残量がわずかなのに、休止状態にならない。
- スタンバイに移行できない。
- バッテリで長時間使いたい。

## □ インターネット接続

#### ダイヤルアップ

- ダイヤルアップでインターネットに接続できない。
  - モデムがダイヤルしていない。(初めてダイヤルする場合)
  - モデムがダイヤルしていない。(今までできていた のにできなくなった場合)
  - モデムはダイヤルしているが接続できない。(接続の動作(ネゴシエーション)が始まらない場合)
  - モデムはダイヤルしているが接続できない。(接続の動作(ネゴシエーション)はするが接続できない場合)
  - 「発信音がありません」と表示される。
  - 「モデムが検出できませんでした」と表示される。

#### ADSL

- ADSLでインターネットに接続できない。
- ADSL接続のネットワーク(LAN)コネクタの接続方法がわからない。

#### ネットワーク(LAN)

• ネットワーク(LAN)に接続できない。

#### 携帯電話

• 携帯電話を使ってインターネットに接続できない。

#### □ インターネット閲覧

- 接続するが通信速度が遅い。
- ダイヤルアップでインターネットに接続できなくなった。
- ADSL接続中に突然つながらなくなった。
- ホームページを見ることができない。
- ホームページが文字化けしている。
- ホームページの文字サイズを大きくしたい。

## □ 電子メール

- 電子メールをやりとりできない。
- 電子メールが文字化けしている。
- 電子メールに添付されているファイルが開けない。

#### □ ワイヤレス LAN

- ワイヤレス LANが使えない。
- 本機とワイヤレス LAN アクセスポイントの通信ができない(インターネットにアクセスできない)。
- ワイヤレス LAN経由で受信した映像や音声が、再生できなかったり途切れたりする。また、通信速度が遅い。
- ネットワーク上の他のコンピュータが表示されない。
- コンピュータどうし(Ad hocモード)で通信できない。
- 内蔵ワイヤレスLANの物理アドレス(MACアドレス) を確認したい。
- ワイヤレス LAN の通信を終了したい。

# □ テレビ再生/録画

# Do VAIOのテレビ再生/録画(VGN-E70B/S・E70B/B)

- テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。
- Do VAIOで音声が出力されない。
- Do VAIOで録画したビデオが正常に再生できない。
- 画面の色がきれいに表示されない。
- 番組を録画予約できない。
- 最初の部分が録画されていない。
- エラーメッセージが表示され、Windowsの操作などができない。
- 録画した映像がコマ落ちしている。
- 縞状のノイズが多い。
- 視聴時や再生時の音量が違う。
- 録画したテレビ番組の映像と音声がずれる。

# その他のテレビ再生/録画

- アナログ機器(VHSなど)からの映像を録画する方法がわからない。
- DV機器の映像の録画方法がわからない。
- 外部機器からの映像の録画を実行しても何も録画されない。

#### □ リモコン(VGN-E70B/S・E70B/B)

- リモコンで操作できない。
- Do VAIOを操作できない。

#### □ 文字入力/キーボード

- 文字の入力方法がわからない。
- 入力できない記号や文字がある。
- キーボードを押したとおりに文字が入力できない。
- IMEの言語バーが表示されない。
- 入力した文字が表示されない。
- 文字入力中に勝手にカーソルが移動する。
- ショートカットキーの使いかたがわからない。
- キートップがはずれた。

#### □ タッチパッド

- タッチパッドの使いかたがわからない。
- タッチパッドが使えない。
- 指がタッチパッドの端まできてしまいポインタを動かせない。
- タッチパッドを無効にしたい。
- タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。
- タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じて しまう。
- タッチパッドのスクロール機能が使えない。
- ポインタが動かない。
- 画面上のすべてのものが動かない。

#### □ 画面/ディスプレイ

- 画面に何も表示されない。
- 画面が固まって動かない。
- 画面が暗い。
- 画面の明るさ設定が変わってしまう。
- デスクトップ画面上にウィンドウやアイコンの軌跡 が残る。
- 画面に輝点・滅点(黒点)がある。
- Windowsの文字サイズを大きくしたい。
- 外部ディスプレイのつなぎかたがわからない。
- 外部ディスプレイまたはテレビに何も表示されない。
- 外部ディスプレイの表示サイズ、表示位置がおかしい。
- 本機の画面をテレビの表示に切り替えられない。
- 拡張デスクトップの設定方法がわからない。
- 液晶プロジェクタのつなぎかたがわからない。液晶プロジェクタに何も表示されない。

#### □ 輝度ボタン

液晶ディスプレイのバックライトが消えている状態で☆(輝度)ランプが点灯している。

#### □ 拡大ボタン

- (拡大)ボタンを押しても、画面の解像度が切り替わらない。
- 動画再生中、 (拡大)ボタンで拡大できない。

# □ CD/DVDディスク

### CD/DVDの再生

- CD-ROMが再生されない、または音楽 CDの再生時、 ノイズが聞こえたり、音がとぎれる。
- 音楽 CD の再生方法がわからない。
- DVDビデオが再生できない、または再生時に画像や音がとぎれる。
- Do VAIOで録画したビデオが正常に再生できない。 (VGN-E70B/S・E70B/B)
- ディスクが取り出せない。
- イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。
- 再生音量が小さい。
- DVDビデオの再生時に映像と音声がずれる。
- 他のコンピュータで作成した CD-Rや CD-RW が読めない。
- CD-RWの読み出しに時間がかかる。
- CD-RW に書き込んだ MPEG2 データを再生すると、 正常に再生できない。

#### CD/DVDの作成

- オリジナル音楽CDの作成方法がわからない。
- CDへのデータ保存方法がわからない。
- CDのバックアップの方法がわからない。
- **DVD**ビデオの作成方法がわからない。
- **DVD**へのデータ保存方法がわからない。
- DVDのバックアップ方法がわからない。
- ディスクに書き込めない、書き込み中にエラーが発生する。
- CD-Rに書き込めない。
- CD-RWを使用して作成した音楽CDがCDプレーヤーで再生できない。
- DVD-R、DVD-RWに書き込めない。
- DVD+R、DVD+RWに書き込めない。
- **DVD**の書き込みに時間がかかる。
- 「Click to DVD」ソフトウェアで作成した DVDビデオの動画が正常に再生できない。

#### □ フロッピーディスク

- フロッピーディスクが取り出せない。
- 「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示 され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存でき ない。
- 「書き込み禁止」というメッセージが表示された。
- フロッピーディスクを初期化しようとしたができない。
- フロッピーディスクにアクセスできない。
- フロッピーディスクが認識されない。
- フロッピーディスクにデータを保存したい。

#### ロ"メモリースティック"

- 「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」 というメッセージが表示された。
- "メモリースティック"のフォーマットをしたい。
- "メモリースティック"の使いかたがわからない。
- "メモリースティック"にデータを保存したい。

#### □ PCカード

• PCカードが使えない。

## ロ メモリカードアダプタ

- アダプタがコンピュータに認識されない。
- 抜き差しし直してもアダプタが認識されない。
- メモリカードへのデータの書き込み/データの削除 /フォーマットができない。
- 書き込みまたは削除に成功したはずのデータが書き 込まれていない、または削除されていない。
- 特定のメモリカードにアクセスできない。
- 本機で使用できたメモリカードがデジタルカメラなどで使用できない。

#### □ スピーカー/ヘッドホン

- スピーカーやヘッドホンから音が出ない。
- Do VAIOで音声が出力されない。
- Do VAIOでテレビの録画や再生をするために、スピーカーの音量設定を変更したい。(VGN-E70B/S·E70B/B)
- 映像や音声の再生時に音とびがする、または音が出ない。

#### ロ マイク

- マイクが使えない。
- マイクの音が大きい、または、小さい。
- 音声を扱うソフトウェアでエラーメッセージが表示 された。

#### ロ プリンタ

- プリンタで印刷できない。
- プリンタで印刷できない。(今までできていたのにできなくなった場合)

## □ i.LINK / DV機器

- DV機器が使用できない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。
- 本機と接続した i.LINK対応機器が認識されない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。
- 「DVgate Plus」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器 に映像を録画できない。
- 「DVgate Plus」ソフトウェアを使用してテープに録画 中、「録画に失敗しました」などのメッセージが表示される。
- 「DVgate Plus」ソフトウェアを使用中にフレーム落ち が生じる。
- i.LINK接続したバイオどうしで通信できない。

# □ ハードディスク

- ハードディスクの空き容量を知りたい。
- ハードディスクの空き容量が少なくなった。
- 誤ってハードディスクを初期化してしまった。
- ハードディスクから起動できない。
- ハードディスクから異音がする。

## □ プロセッサ(CPU)

「システムのプロパティ」画面でCPUのクロック周波数が正しく表示されない。

#### ロ ファン

- ファンが回らない。
- 何も操作していないのにファンから音がする。

#### ロ メモリ

• 「システムのプロパティ」画面でメモリの容量が正し く表示されない。

#### ロ ソフトウェア

- ソフトウェアの使いかたがわからない。
- ソフトウェアを終了した、または電源を切ったら、 データが消えた。
- ソフトウェアの動作が遅い。
- ソフトウェアのインストール方法がわからない。
- 「Click to DVD」ソフトウェアで作成した DVD ビデオの動画が正常に再生できない。
- Microsoft Office (Excel / Outlook / Word)が見つからない。
- Microsoft Officeのライセンス認証のしかたがわからない。
- ウイルス対策ソフトウェアが見つからない。
- 映像や音声の再生時に音とびがする、または映像や音声が再生されない。

#### ロ エラーメッセージ

#### 電源投入時のエラーメッセージ

- Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.
- No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.
- · NTLDR is missing. Press any key to restart.
- · Operating system not found
- Press <F1> to resume, <F2> to Setup
- · System Disable
- このリチャージャブルバッテリーパックは使用できません。

#### フロッピーディスクのエラーメッセージ

- アプリケーションが使用中です
- ディスクがいっぱいです
- 書き込み禁止

## "メモリースティック"のエラーメッセージ

「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」

#### その他のエラーメッセージ

- DV機器が接続されていないか、電源が入っていない ので、動作しません。
- 無効な日時が入力されています。
- 「録画に失敗しました。」という類のメッセージが表示される。

#### □ カスタマー登録

- オンラインでカスタマー登録できない。
- 「無効な日時が入力されています。」と表示され、オンラインカスタマー登録ができない。

# よくあるトラブルと解決方法

ここでは、本機のよくあるトラブルと解決方法を説明します。

#### !ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切るには」(39ページ)の手順に従い、いったん電源を切ってください。

他の方法で本機の電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。

# 電源/起動

状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

- ▲ バッテリが正しく装着されているか確認してください。(36ページ)
- ▲ 本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、電源コードとコンセントがそれ ぞれしっかりつながっているか確認してください。(38ページ)
- ▲ 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。

ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

▲ 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。

湿度の高い場所(80%以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

- ▲ 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。
- 電源が入らない、または電源ボタンが効かない。(←」がすばやく点滅している)
  - ▲ 装着されているバッテリは本機では使用できません。

バッテリを取りはずしてください。

# Q 電源を入れても、○(パワー)ランプ(グリーン)は点灯するが画面に何も表示されない。

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

△ 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。

Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バオオの使いかた」タブをクリックし、画面 左側にある[各部の説明]→[キーボード]→[Fnキーと組み合わせたショートカットキー一覧]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

- ▲ しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。
  - ① 本機の心(パワー)ボタンを4秒以上押したままにし、心(パワー)ランプが 消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。
  - ② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の心(パワー)ボタンを4秒以上押したままにし、心(パワー)ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。
- ▲ 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。 湿度の高い場所(80%以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますので おやめください。

# Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、 それぞれの操作を行ってください。

- ▲ 使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。
  - ソフトウェア画面上の[×](閉じるボタン)をクリックする。
  - Altキーを押しながら F4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。 データが未保存の場合は、「保存しますか?」というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックしてデータを保存してください。 「コンピュータの電源を切る」画面が表示されるまで Altキーを押しながら F4キーを押し、画面上の[電源を切る]をクリックしてください。

#### ・ヒント

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows XPは、周辺機器やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。
- ▲ USB機器やPCカードなどの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

PCカードをお使いの場合は、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

「バオの使いか、 タブをクリックし、画面左側にある[接続/拡張]→[PCカード]→[PCカードを取り付ける/取り出す]の順にクリックし、「PCカードを取り出すには」の手順に従って PCカードを取り出してください。

- ▲「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作してください。
  - ① Enterキーを押す。
  - ② それでも電源が切れない場合は、本機の(パワー)ボタンを4秒以上押したままにして、()(パワー)ランプが消灯するか確認する。

「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。

ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。 また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態に してから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」画面を表示させ、「シャットダウン」メニューをクリックし、[コンピュータの電源を切る]をクリックする。
- 本機の**(**パワー)ボタンを4秒以上押したままにする。
- ACアダプタとバッテリをはずす。

# **Q** 電源が勝手に切れた。

▲ バッテリで本機を使用中にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

ACアダプタで使用するか、バッテリを充電してください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の パイオの使いか タブをクリックし、画面左側にある[電源/バッテリ/省電力] $\rightarrow$ [バッテリ] $\rightarrow$ [バッテリを充電する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

- **Q** 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できません。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。
  - ▲ 装着されているバッテリは本機では使用できません。

本機の電源が切れてから、バッテリを取りはずしてください。

- **Q** 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。
  - ▲ 「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing.

    Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

▲「Operating system not found」と表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してから **Ctrl**キーと **Alt**キーを押しながら **Delete** キーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください。(100ページ)

▲ パワーオンパスワードを3回間違えて入力すると、「System Disable」と表示され Windows が起動しません。

本機の心(パワー)ボタンを4秒以上押したままにして、心(パワー)ランプが 消灯するか確認してください。

その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。

パスワードを入力する際は、 $\fill$  (Num Lock) ランプや  $\fill$  (Caps Lock) ランプ が点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを 押すか、または Shift キーを押しながら Caps Lock キーを押してランプを消灯 させてから入力してください。

▲「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示される場合、内蔵バックアップバッテリが消耗しています。

ACアダプタをつなぎ、本機を充電しながら、次の手順で操作してください。

- 電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。
   画面左下に「Entering SETUP…」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering SETUP…」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。
- ② 日時を確認する。

「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認してください。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

- 「System Date」の項目に月/日/年(西暦)を入力する。
   例:2004年1月31日と設定するには、1 + Enterキー+31 + Enterキー+2004 + Enterキーの順で入力します。
- 2) ↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。 例:午後2時35分00秒と設定するには、14 + Enterキー+35 + Enterキー +00 + Enterキーの順で入力します。
- ③ Escキーを押す。
- ④ ↓キーで[Get Default Values]を選択し、Enterキーを押す。
- ⑤ 「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、 Enterキーを押す。
- ⑥ [Exit(Save Changes)]が選ばれていることを確認して、Enterキーを押す。
- ⑦「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を 選択して、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

- **Q** ハードディスクから起動できない。
  - ▲ フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

- **Q** 起動時の音量や起動デバイスの設定方法がわからない。
  - ▲ 起動時の音量や起動デバイスの設定について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」 画面上部の がけるの使いかた タブをクリックし、画面左側にある[電源/バッテリ /省電力]→[電源/起動/終了]→[起動時の音量や起動デバイスを変更する]の 順にクリックして表示される情報をご覧ください。

# テレビ再生/録画

# Do VAIOのテレビ再生/録画(VGN-E70B/S•E70B/B)

- **Q** テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。
  - ▲ アンテナ変換プラグが本機のVHF/UHFコネクタと正しく接続されているか確認してください。(48ページ)
  - △ ご使用のアンテナの受信状況が良好か確認してください。

一般のテレビに接続して受信できるか、分配器を使用している場合は、分岐前のプラグを接続して受信できるかどうかを確認してください。 アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。この場合は別売りのアンテナブースターをご使用ください。

▲ Do VAIOをはじめて使うときに行う「Do VAIOの準備」で、チャンネル一覧が正しく取得できなかった可能性があります。

次の手順に従って設定を変更してください。

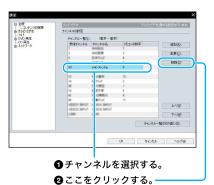
#### | 戸注音

「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてから行ってください。

#### 一部のチャンネルが映らない場合

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Do VAIO] の順にポインタをあわせ、[Do VAIO 設定]をクリックする。 「設定」画面が表示されます。
- ② [テレビ・ビデオ]をクリックする。 「チャンネルの設定」画面が表示されます。

③ チャンネルの一覧から映らないチャンネルを選択し、[削除]をクリックする。



- ④ 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。 選択したチャンネルが一覧から削除されます。
- ⑤ [追加]をクリックする。「チャンネルの追加」画面が表示されます。



⑤ 受信チャンネル、チャンネル名、リモコンの数字を設定して、[OK]をクリックする。

## すべてのチャンネルが映らない場合

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタをあわせ、[Do VAIO 設定]をクリックする。 「設定」画面が表示されます。
- ② [テレビ・ビデオ]をクリックする。 「チャンネルの設定」画面が表示されます。
- ③ [チャンネル一覧の作り直し]をクリックする。



ここをクリックする。

確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。 「チャンネルの設定」画面が表示されます。



⑤ 本機を使う都道府県および最も近い地域を選択し、「次へ」をクリックする。 チャンネルの自動検出が行われ、チャンネル一覧に表示されます。

# **Q** Do VAIOで音声が出力されない。

- A Do VAIO画面の をクリックし、元の音量に戻してください。
- ▲ ボリュームコントロールを確認してください。

次の手順で操作してください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして[コントロール パネル]をクリックする。 「コントロール パネル」画面が表示されます。
- ② [サウンド、音声、およびオーディオデバイス]をクリックする。
- ③ [サウンドとオーディオ デバイス]をクリックする。「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」画面が表示されます。
- ④ [音量]タブの「デバイスの音量」の[詳細設定]をクリックして、「Volume Control」、「Wave」のミュートがチェックされている場合はチェックをはずす。



# **Q** Do VAIOで録画したビデオが正常に再生できない。

▲「Norton AntiVirus 2004」ソフトウェアをお使いの場合は、ビデオの録画が正常に 行われないことがあります。

正常に取り込みを行うためには、「Norton AntiVirus 2004」ソフトウェアのウイルススキャンの設定を変更することをおすすめします。

次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Norton AntiVirus]の順にポインタをあわせ、[Norton AntiVirus 2004]をクリックする。

「Norton AntiVirus 2004」ソフトウェアが起動します。

②「Norton AntiVirus」画面上部の ☑ (オプション)をクリックする。 「Norton AntiVirus オプション」画面が表示されます。 ③「Norton AntiVirus オプション」画面左側の「システム」の[Auto-Protect]→ [除外]の順にクリックする。

#### - ここをクリックする。



「Norton AntiVirus オプション」画面右側に「除外リスト」が表示されます。

- ④「除外リスト」の「除外する項目」右側の[新規]をクリックする。 除外する項目を追加する画面が表示されます。
- ⑤「サブフォルダも含める」が になっているのを確認し、 をクリックする。 「フォルダの参照」画面が表示されます。
- ⑥ [ローカルディスク(D:)]→[VAIO Entertainment]の順にダブルクリックする。
- ⑦ [OK]をクリックする。手順4で表示された画面に「VAIO Entertainment」と表示されます。
- (8) [OK]をクリックする。
- ⑨「除外する項目」に「VAIO Entertainment」が追加されていることを確認し、 [OK]をクリックする。

#### !ご注意

この設定を行うと、Do VAIOで取り込んだフォルダはウイルスチェックされなくなりますので、これらのフォルダのウイルスチェックを定期的に手動で行ってください。

この設定は、お客様の責任において行ってください。

# **Q** 画面の色がきれいに表示されない。

▲ Do VAIOでテレビや DVDを再生するときは、ディスプレイの色数を最高(32ビット)に設定してください。

その他の設定では、画像が正しく表示されない場合があります。

ディスプレイの設定について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

パイオの使いかた タブをクリックし、画面左側にある[ディスプレイ/音]→ [ディスプレイ]→[ディスプレイの解像度/色数を変更する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

# **Q** 番組を録画予約できない。

△ バッテリ使用時の休止状態からは予約録画できません。

ACアダプタをつないでください。

- **Q** 最初の部分が録画されていない。
  - ▲ 録画が始まるまでに数秒かかることがあります。

実際に録画するときは、数秒早く[録画]をクリックしてください。

- Q エラーメッセージが表示され、Windowsの操作などができない。
  - ▲ 録画中や録画予約開始数分前、またはDVD作成中は、Windowsの終了、スタンバイ、休止、再起動をすることはできません。

また、手動録画中やDVD作成中はログオフもできません。

▲「時刻修正機能」が働いている間は、スタンバイ、休止状態への移行や、Windowsを終了することができません。

「時刻修正機能」は、NHK教育テレビの正午の時報を使用して、本機の時計を 修正するアプリケーションです。午前11時55分から、午後12時05分の間に 起動します。

- **Q** 録画した映像がコマ落ちしている。
  - ▲ 録画中の負荷が高くなりすぎるとコマ落ちすることがあります。。

次のことをすると負荷を下げることができます。

- 高画質モードでの追いかけ再生(スリップ再生)や、録画中に他のビデオの 再生をしない。
- 録画中は、他のソフトウェアを起動したり使用しない。
- **Q** 縞状のノイズが多い。
  - ▲ アンテナ変換プラグは、他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
  - A 分配していないか確認してください。

分配している場合は、別売りのアンテナブースターをお使いください。

- Q 視聴時や再生時の音量が違う。
  - ▲ ボリュームコントロールの設定を変更すると、テレビの視聴時や再生時の音量が変わる場合があります。

# **Q** 録画したテレビ番組の映像と音声がずれる。

▲「SonicStage Mastering Studio」ソフトウェアの設定画面で、オーディオフィルタの機能を有効にしていないか確認してください。

有効になっている場合は、上記の症状が起こることがあります。

次の手順で設定を無効にしてください。

① デスクトップ画面右下の通知領域にある (「SonicStage Mastering Studio オーディオフィルタ機能」アイコン)を右クリックし、表示されるメニューから[設定]をクリックする。 「設定」画面が表示されます。

#### ・ヒント

通知領域に (「SonicStage Mastering Studio オーディオフィルタ機能」 アイコン) がない場合は、下記の手順で「設定」画面を表示させてください。

- 1) [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→
  [SonicStage Mastering Studio] の順にポインタをあわせ、[オーディオフィルタ機能]をクリックする。
  - 「SonicStage Mastering Studio オーディオフィルタ機能」画面が表示されます。
- 2) 画面右上の をクリックする。
- ② 画面左側の「カテゴリ」で「エフェクトの適用」が選択されているのを確認し、「エフェクトの適用範囲」のチェックボックスにチェックが入っていないか確認する。 チェックが入っている場合は、チェックボックスをクリックしてチェックをはずしてください。
- ③ [OK]をクリックする。
- **Q** USBスピーカーを接続しても音が出ない。

▲「スピーカー/ヘッドホン」(137ページ)をご覧ください。

# その他のテレビ再生/録画

- Q アナログ機器(VHSなど)からの映像を録画する方法がわからない。
  - A Do VAIOで録画できます。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バオの使いかた タブをクリック し、画面左側にある[Do VAIOを楽しむ]→[テレビ番組を楽しむ(VGN-E70B/S・E70B/B)]→「録画する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

- Q DV機器の映像の録画方法がわからない。
  - A「DVgate Plus」ソフトウェアで録画できます。

「DVgate Plus」ソフトウェアでの録画方法について詳しくは、「DVgate Plus」 ソフトウェアのヘルプをご覧ください。 ▲「Click to DVD」ソフトウェアを使って、DV機器の映像から直接 DVD ビデオを作成 することもできます。

「Click to DVD」ソフトウェアでの DVD ビデオの作成方法について詳しくは、 Click to DVD」ソフトウェアのヘルプをで覧ください。

- **Q** 外部機器からの映像の録画を実行しても何も録画されない。
  - ▲ 本機に接続した機器が動作していない場合があります。

ビデオカメラレコーダーやビデオデッキから録画するときは、電源が入っているか、機器と本機が正しく接続されているか確認してください。

▲ ゲーム機器などの映像は、表示や録画ができない場合があります。

本機と接続したビデオ機器から映像を入力している場合、一時停止したときの画像、映像が入力されていないときの画面(青い画面など)、本機に接続したビデオ機器が表示するメニュー画面などは表示や録画ができない場合があります。

# 文字入力/キーボード

- **Q** 文字の入力方法がわからない。
  - A 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バイオの使いがた タブをクリックし、 [コンピュータの基礎を学ぶ できる Windows for VAIO]→「文字を入力しよう」の 順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- **Q** キーボードを押したとおりに文字が入力できない。
  - △ 入力モードを確認してください。

日本語入力モードと英字入力モードがあります。

言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」

🏓 あ 般 🥞 🌽 🤣 😰 😰 kana 🗘 に、英字入力モードのときは「A」

🏻 🕳 🖪 投 🥞 🤣 💋 😰 CAPS 🔭 になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

- ▲ (Caps Lock) ランプが点灯していないか確認してください。
  - △ (Caps Lock) ランプが点灯していると、Shiftキーを押さなくても大文字が入力されます。Shiftキーを押しながら Caps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。(33ページ)
- ▲ ↑ (Num Lock)ランプが点灯していないか確認してください。

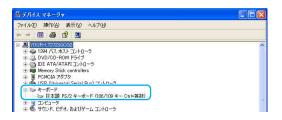
U、I、O、J、K、L、M、@ などの文字が入力できない場合は、Num Lock (ナムロック) が有効になっている場合があります。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。(32ページ)

#### ▲ キーボードのドライバが正しく設定されているか確認してください。

異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

次の手順で操作してください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
- ② [パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。
- ③ [システム]アイコンをクリックする。
- ④ [ハードウェア]タブの[デバイス マネージャ]をクリックする。
- ⑤ キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード (106/109 キー Ctrl+ 英数)」 に設定されているか確認する。



#### ドヒント

キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード(106/109キー Ctrl+英数)」 に設定されていない場合は、次の手順で変更してください。

- 1) キーボードの項目に表示されているキーボード名を右クリックし、[ドライバの更新]をクリックする。 「ハードウェアの更新ウィザード」画面が表示されます。
- [一覧または特定の場所からインストールする]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
- 3) [検索しないで、インストールするドライバを選択する]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
- 4) [互換性のあるハードウェアを表示]をクリックしてチェックをはずし、同じ画面の「製造元」で[(標準キーボード)]が選択されているか確認したあと、「モデル」から[日本語 PS/2 キーボード(106/109キーCtrl+英数)]を選択し、[次へ]をクリックする。
- 5) ここで「ドライバの更新警告」画面が表示されますが、[はい]をクリックする。
- 6)「ハードウェアの更新ウィザードの完了」画面が表示されるので、[完了]をクリックする。
- 7)「システム設定の変更」画面で再起動を促すメッセージが表示されるので、[はい]をクリックして再起動を行う。

- **Q** タッチパッドの使いかたがわからない。
  - ▲ タッチパッドの使いかたについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の
    バイオの使いかた タブをクリックし、画面左側にある[キーボード/タッチパッド /リモコン]→[タッチパッド]→[タッチパッドを使う]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- **Q** タッチパッドが使えない。
  - A タッチパッドが無効になっています。

タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の | パイオの使いかた | タブをクリック | し、画面左側にある | キーボード/タッチパッド/リモコン]  $\rightarrow$  [ タッチパッドを無効にする/有効にする] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

A タッチパッドの設定を確認してください。

次の手順で操作してください。

- ① 「スタート」ボタンをクリックして、「コントロール パネル」をクリックする。
- ② [プリンタとその他のハードウェア]アイコンをクリックする。
- ③ [マウス]アイコンをクリックする。「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
- ④ [タッピング]タブをクリックする。
- ⑤「コーナーでタップしない」がチェックされていないことを確認する。 チェックされているときは、クリックしてチェックをはずします。
- **Q** 指がタッチパッドの端まできてしまいポインタを動かせない。
  - ▲ 指をいったんタッチパッドから離し、中央に戻してください。
- $\mathbf{Q}$  タッチパッドを無効にしたい。
  - ▲ タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを無効にしてください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の M がれる使いか タブをクリック し、画面左側にある  $[+-ボード/タッチパッド/リモコン] \rightarrow [タッチパッド] \rightarrow [タッチパッドを無効にする/有効にする] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。$ 

それでもタッチパッドが無効にならないときは、本機を再起動してください。

- **Q** タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。
  - ▲ タッチパッドの設定を変更し、タッピング機能を無効にしてください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バオの使いがた」タブをクリックし、画面左側にある[キーボード/タッチパッド/リモコン]→[タッチパッド]→[タッピング機能を無効にする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

- **Q** タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう。
  - ▲ スマートアクションの機能を無効にしてください。

次の手順に従ってタッチパッドの設定を確認してください。

- ① [スタート] ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。
- ② [プリンタとその他のハードウェア]アイコンをクリックする。
- ③ [マウス]アイコンをクリックする。「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
- ④ [機能]タブをクリックする。
- ⑤「左コーナーの設定」を「なし」にする。
- **Q** タッチパッドのスクロール機能が使えない。
  - ▲ ソフトウェアによっては、タッチパッドのスクロール機能が使えないことがあります。

その場合は、タッチパッドの左右ボタンを同時に押して、オートスクロール機能を可能にしてからスクロールしてください。

- **Q** ポインタが動かない。
  - ▲ 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインタが動きにくくなる場合があります。

しばらく待ってから、もう1度ポインタを動かしてください。

それでもポインタが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切る、または再 起動させてください。

- ① CtrlキーとAltキーを押しながら Delete キーを押して「Windows タスク マネージャ」を表示させる。
- ② Altキーを押しながらUキーを押してから $\uparrow$ キーまたは $\downarrow$ キーを押して[コンピュータの電源を切る]または[再起動]を選び、Enterキーを押す。

上記の操作でも何も起こらないときは、本機の①(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

# **Q** 画面上のすべてのものが動かない。

- △ 次の手順で本機を再起動してください。
  - ① Ctrlキーと Altキーを押しながら Delete キーを押して「Windows タスク マネージャ」を表示させる。
  - ② Alt キーを押しながらUキーを押してから $\uparrow$ キーまたは $\downarrow$ キーを押して[再起動]を選び、Enterキーを押す。

上記の操作でも何も起こらないときは、本機の(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

# 画面/ディスプレイ

# **Q** 画面に何も表示されない。

▲ LCD/Videoスタンバイになっている場合があります。

タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の バイオの使いかた タブをクリックし、画面 左側にある[各部の説明]→[キーボード]→[Fnキーと組み合わせたショートカットキー一覧]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

▲ 本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作しないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スタンバイ\*1)。

キーボードのいずれかのキーを押すか、() (パワー)ボタン $^{*2}$  を一瞬押すと、元の状態に戻ります。

また、バッテリでご使用中に約30分操作しないと、自動的に本機の電源を切ります(休止状態 $^{*1}$ )。

元の状態に復帰させるには、①(パワー)ボタンを一瞬押してください。 で使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定\*3することもできます。

- \*1 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の パイオの使いか タブを クリックし、画面左側にある[電源/バッテリ/省電力]→[省電力]→ [本機を使っていないときに消費電力をおさえる(省電力動作モード)] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- \*2 (パワー)ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。
- \*3 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の パオの使いか タブを クリックし、画面左側にある[電源/バッテリ/省電力]→[バッテリの 消費電力を節約する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

# **Q** 画面が固まって動かない。

#### △ 次の手順で本機を再起動させてください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押す。

「Windows タスク マネージャ」画面が表示されます。

「Windows タスク マネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。



②「Windows タスク マネージャ」画面の[シャットダウン]メニューから[コンピュータの電源を切る]をクリックする。
 本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の (パワー)ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の $\bigcirc$ (パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると $\bigcirc$ (パワー)ランプが消灯します。 $\bigcirc$ (パワー)ランプ(グリーン)が点灯した場合は、いったん手を離し、再度 $\bigcirc$ (パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

#### !ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなる ことがあります。

# Q 画面が暗い。

#### ▲ ○ (輝度)ボタンを押してください。

また、Fnキーを押しながらF5キーやF6キーを長押しすると、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。

# Q 画面に輝点・滅点(黒点)がある。

#### ▲ 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

画面上に常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

# **Q** 外部ディスプレイまたはテレビに何も表示されない。

△ 表示するディスプレイの設定を確認してください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の パイオの使いか タブをクリックし、画面左側にある[ディスプレイ/音]→[ディスプレイ]→[表示するディスプレイを選ぶ]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

▲ 本機を起動中、ユーザーの簡易切り替えを行うと、その後Fnキーを押しながらF7キーを押して表示するディスプレイを変更することができません。

本機起動時のユーザーでログオンし直すか、「バイオ電子マニュアル」画面上部の 「バイオの使いかた タブをクリックし、画面左側にある[ディスプレイ/音] →[ディスプレイ] →[表示するディスプレイを選ぶ]の順にクリックして表示される情報をご覧になり、設定を変更してください。

# スピーカー/ヘッドホン

# **Q** USBスピーカーを接続しても音が出ない。

#### ▲ 次の手順で設定を変更してください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。 「コントロール パネル」画面が表示されます。
- ② [サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]アイコンをクリックする。
- ③ [サウンドとオーディオ デバイス]アイコンをクリックする。「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」画面が表示されます。
- ④ [オーディオ]タブをクリックする。
- ⑤「音の再生」の「規定のデバイス」リストからUSBオーディオデバイスを選択して、[OK]をクリックする。 リストに表示されるUSBオーディオデバイスの名称は、お使いのUSBスピーカーによって異なります。お使いのデバイス名を選択してください。

#### ミヒント

通知領域に ♥ がない場合は、下記の手順で「設定」画面を表示させてください。

- 1) [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→
  [SonicStage Mastering Studio]の順にポインタをあわせ、[オーディオフィルタ機能]をクリックする。
  - 「SonicStage Mastering Studio オーディオフィルタ機能」画面が表示されます。
- 2) 画面右上の をクリックする。
- ⑦ 画面左側の「カテゴリ」で「エフェクトの適用」が選択されていることを確認し、「オーディオデバイスの選択」の「オーディオデバイス」リストから「USB オーディオデバイス」を選択して、[OK]をクリックする。

# **Q** ハードディスクの空き容量を知りたい。

#### ▲ 次の手順で確認してください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[マイ コンピュータ]をクリックする。
- ② 空き容量を知りたいハードディスクのアイコンを右クリックする。
- ③ [プロパティ]をクリックする。



ハードディスクのプロパティ画面が表示され、空き容量が確認できます。

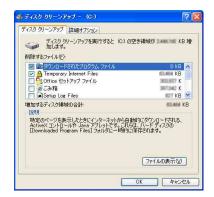
# **Q** ハードディスクの空き容量が少なくなった。

#### ▲ ディスククリーンアップを行ってください。

Windowsでは、処理を速くするために一時ファイルやバックアップファイルが自動的に作成されるため、ハードディスクの空き容量が減少します。ディスククリーンアップを行うと、一時ファイルなどが削除され、空き容量を増やすことができます。

次の手順でディスククリーンアップを行ってください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[アクセサリ] →[システムツール]の順にポインタをあわせ、[ディスクのクリーンアップ]をクリックする。 「ドライブの選択」画面が表示されます。
- ② [D-D) [DK] を選択して、 [DK] を [DK]
- ③ ファイルの説明をよく読み、削除するファイルにチェックをつける。



- ③ [OK]をクリックする。「これらの操作を実行しますか?」というメッセージが表示されます。
- ⑤ [はい]をクリックする。ディスクのクリーンアップが実行されます。

# **Q** 誤ってハードディスクを初期化してしまった。

△ ハードディスクにあったファイルは復元できません。

ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります。(94ページ)

# **Q** ハードディスクから起動できない。

▲ フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

# **Q** ハードディスクから異音がする。

▲ OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。

これは正常な処理であり、故障ではありません。

ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップ(138ページ)を行ってください。

ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[アクセサリ]
   →[システムツール]の順にポインタをあわせ、[ディスク デフラグ]をクリックする。
   「ディスク デフラグ ツール」画面が表示されます。
- ②「最適化」をクリックする。最適化(デフラグ)が開始されます。
- ▲ ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。

これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

**Q** Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.

▲「電源/起動」(123ページ)をご覧ください。

表示されたメッセージの回避方法をご案内します。

Q No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.

△「電源/起動」(123ページ)をご覧ください。

**Q** NTLDR is missing. Press any key to restart.

▲「電源/起動」(123ページ)をご覧ください。

**Q** Operating system not found

A「電源/起動」(124ページ)をご覧ください。

Q Press <F1> to resume, <F2> to Setup

A「電源/起動」(124ページ)をご覧ください。

Q System Disable

A「電源/起動」(124ページ)をご覧ください。

**Q** このリチャージャブルバッテリーパックは使用できません。

▲「電源/起動」(123ページ)をご覧ください。

**Q** 無効な日時が入力されています。

▲ 日時が正しく設定されているか確認してください。

次の手順で操作してください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]→[日付、時刻、 地域と言語のオプション]→[日付と時刻]の順にクリックする。 「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。
- ② [日付と時刻]タブをクリックして、「日付」と「時刻」を現在の日時に合わせる。
- ③ [OK]をクリックする。 変更した日時の設定が有効になります。

サービス・サポート

# VAIO**カスタマー登録** について

バイオをご購入いただきましたお客様へは、「VAIOカスタマー登録」をおすすめしております。

登録の手続きについて詳しくは、「カスタマー登録する」 (43ページ)をご覧ください。

なお、登録に際してのお客様の個人情報のお取扱いについては「お客様の個人情報のお取扱いについて」(157ページ)をご覧ください。

# VAIOカスタマー登録を行っていただくと…

VAIOカスタマー登録を行っていただきますと以下をご 提供します。

- 保証書(有効期間1年間)をお送りします。バイオ本体の出荷時に付属する保証書が提供する製品の保証期間は、ご購入日から3か月間有効となっており、登録いただくことで、有効期限1年間の保証書をお送りします。なお、この保証書のお届けまでに数週間を要する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 「My Sony ID」(オンラインで登録の場合)または 「VAIOカスタマーID」(郵送で登録の場合)を保証書に 記してお送りします。
- 電子メールアドレスを登録されたお客様のみを対象 として、電子メールによるバイオに関するさまざまな 情報をご提供します。
- ご所有の機種に対応したサポート情報をご提供する「マイサポーター」(147ページ)をご利用いただけます。
  - お客様からの個別のご質問をインターネット経由 のメールで受け付け、VAIOカスタマーリンクから 返信する「テクニカルWebサポート」

(https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/)をご利用いただけます。

- VAIOカスタマーリンクホームページにて各種サポート(VAIO e-Support)をご利用できます。
  - バイオ有償オプションサービス(153ページ)などをホームページ上からお申込みできます。
- バイオの使いかたのご質問や技術的お問い合わせを、 VAIOカスタマーリンクがお電話で承ります。なお、お問い合わせには「お客様サポート番号」または「VAIOカスタマーID」が必要です。
- お客様のサポート履歴を記録し、素早い対応ができます。 お電話でのお問い合わせの際、自動音声でのご案内時に 「お客様サポート番号」または「VAIOカスタマーID」をお 伝えいただくと、ソニーの担当者が過去のサポート履歴 をお調べし、それまでのご対応内容を踏まえたサポート をご提供します。

# 各種IDについて

カスタマー登録を行っていただくと、さまざまなサービスやサポートをご利用いただくためのIDやパスワードを発行いたします。下記の種類があります。

これらのIDは後日郵送でお送りする保証書に記載されています。

なお、オンラインで登録いただいた場合も、郵送で登録いただいた場合も、サービス・サポート内容に違いはありません。

# オンラインで登録いただいた場合に 発行されるもの

## ☐ My Sony ID

「ソニー共通体系のお客様ID」です。

ひとつのIDとパスワードで、ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスでのお客様ご本人の認証(ログイン=ご本人様であることの確認)に利用でき、またすでに他のIDをご所有の場合もそれらのIDと「IDリンク(ひも付け)」設定を行うことでマスターキーのように使えます。

My Sony IDと My Sony ID用パスワードの文字列はお客様が設定された任意の文字列で取得できます。

この My Sony ID は、VAIOホームページやソニーグループの各種ホームページなどでご提供するさまざまなサービスをご利用いただくために大切なものです。 My Sony ID について詳しくは My Sonyホームページ

(http://www.sony.co.jp/mysony/)をご覧ください。

## □ お客様サポート番号

お客様が電話で技術的な質問を VAIO カスタマーリンク にお問い合わせいただく際に必要なもので、お客様固有 の番号(16桁)となっています。

## 郵送で登録いただいた場合に発行されるもの

#### □ VAIOカスタマーID

お客様固有の番号(数字13桁)です。

このVAIOカスタマーIDは郵送で登録を行われたお客様向けに発行され、VAIOホームページなどでご提供するさまざまなサービスをご利用いただいたり、お客様が電話で技術的な質問をVAIOカスタマーリンクにお問い合わせいただくために必要です。このVAIOカスタマーIDを、後日、MySonyホームページで取得いただいたMy Sony IDとIDリンク(ひも付け)することも可能です。

#### !ご注意

• ご所有の方が変更になった場合は、新たにご所有者となられる方が、新規 VAIO カスタマー登録いただければID やパスワードを記載した用紙をお送りします。なお、その場合は保証書(1年保証書)の発行は行われません。

「My Sony ID」「お客様サポート番号」「VAIOカスタマーID」はお客様個人を対象とするものですので、他の方へは譲渡をしないようにお願いします。

#### VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ先

VAIOカスタマー登録や登録内容の変更、送付物についてのお問い合わせは、カスタマー専用デスクにお問い合わせください。

お問い合わせ先については、「VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ」(155ページ)をご覧ください。

# 「VAIO Update」を 利用するには

「VAIO Update」は、ソニーがご提供するお客様への「重要なお知らせ」や「アップデートプログラム」の情報を、定期的にお知らせするソフトウェアです。

ソニーがご提供する情報が更新されると、「VAIO

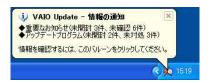
Update」はタスクバーの通知領域からアイコンとバルーンでお知らせします。バルーンには「重要なお知らせ」と「アップデートプログラム」の更新件数が表示されます。

#### !ご注意

VAIO Update を利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

バイオの使いかた をクリックし、「インターネット/電子メール」内の項目をクリックして表示される情報をご覧ください。

□ VAIO Updateバルーン表示画面



- □ VAIO Update画面(上記のバルーン表示をクリックすると表示されます)
  - ①重要なお知らせ



②アップデートプログラム

# ①重要なお知らせ

セキュリティ関連情報などソニーがお客様へご提供する 「重要なお知らせ」を確認することができます。

「重要なお知らせ」の本文中に記載されている対象機種を ご確認の上、必要に応じて対応してください。

#### ②アップデートプログラム

お客様がご使用のバイオを最新の状態にできるアップ デートプログラムを確認し、インストールすることができます。

## □「VAIO Update」の使いかたについて

詳しい説明や操作方法については、「VAIO Update」のヘルプまたはムービーをご覧ください。

ヘルプの表示方法、ムービーの再生方法は以下のとおり です。

# クリックするとヘルプを表示します。



### 設定画面



# バイオ内の情報を 調べる

本機には、本機の使いかたを簡単に検索できる「バイオ電子マニュアル」が付属しています。「バイオ電子マニュアル」を使って、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。困ったときはまず「バイオ電子マニュアル」を起動してみましょう。「ヘルプとサポートセンター」では、Windowsやバイオのヘルプ、Q&Aの検索、サポートツールの実行、最新情報の入手など、おもに Windowsのサポートに関する機能をご利用になれます。

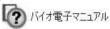
また、Windowsのヘルプ、ソフトウェアに付属しているヘルプを使って解決方法を閲覧することもできます。

さらに、「困ったときは」(116ページ)や関連する項目(目次や索引をご利用ください)をご覧ください。

# 「バイオ電子マニュアル」を見る

「バイオ電子マニュアル」はバイオの使いかた、楽しみかたをディスプレイ画面上で説明するソフトウェアです。 バイオの使いかたを知りたいときや、バイオを使っていて困ったことがあったときは「バイオ電子マニュアル」を開いてください。

#### [スタート] ボタンをクリックして 表示される



をクリック



「バイオ電子マニュアル」の使いかたについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の はじめてのバイオ タブをクリックして表示される画面内の[バイオ電子マニュアルの使いかたを見る]をクリックしてください。

#### □ 画面の見かた



1

# トップへ戻る

「バイオ電子マニュアル」を開いたときに、最初に表示される画面に戻ります。

戻る 進む

前に見ていた画面に戻ったり、進んだりできます。

# . 🛍 ブックマーク

よく見るページを登録することができます。登録したページは簡単に呼び出すことができます。

# 分ポルト

「バイオ電子マニュアル」の情報を印刷することができます。

# A + 文字サイズ

「バイオ電子マニュアル」に表示する文字の大きさを 変えることができます。

. 用語集

コンピュータ用語の説明を見ることができます。

(2)

◎ 検索

質問文を入力して情報を探すことができます。

条件設定

検索条件を設定したり、あらかじめ用意された質問文例 などから質問文を選んで情報を探すことができます。

(3)

ご覧になりたい内容に応じて下記のタブをクリックしてください。

# はじめてのバイオ

「バイオ電子マニュアル」の入り口です。コンピュータを初めて使うときにご覧いただきたい「できる Windows」などをここから起動することができます。

# バイオの使いかた

本機の使いかたを見ることができます。画面左から調べたい項目をクリックしてください。

# 困ったときは/サポート

本機を操作していて困ったときの解決方法や、トラブルが発生したときの対処方法の説明を見ることができます。

# ソフト活用ナビ

付属のソフトウェアを使いこなすための、便利なツー ルや情報を見ることができます。

4

#### 項目表示部

ここから見たい情報をクリックします。タブによって表示される内容は異なります。

## ヘルプとサポートセンターを見る

# □ ヘルプとサポートセンターを見るには

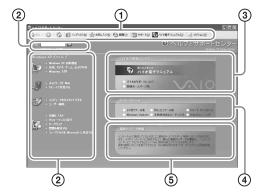
# 【スタート】ボタンをクリックして【ヘル プとサポート】を選ぶ。

ヘルプとサポートセンターの初期画面が表示されます。

ヘルプとサポートセンターの初期画面と、各エリアの機能は以下のようになっています。

この初期画面および各機能は、バイオ用にカスタマイズ されたものです。

店頭でパッケージ販売される Windows XP Home Edition/ Professional に標準で搭載されているヘルプとサポートセンターとは異なります。下記はバイオ用にカスタマイズされた Windows XP Home Editionの画面例です。



## ①ナビゲーションバー

参照ページの戻り、お気に入りへの追加、履歴の参照、バイ オ電子マニュアルの起動などこちらから操作できます。

## ②ヘルプ、Q&A検索

Windowsに関するヘルプの参照や検索が行えます。

- 分類分けによる参照
- キーワード検索

### ③バイオに関する情報

バイオに関する情報は、こちらからすべて参照できます。

- バイオ電子マニュアルの起動
- バイオ関連ホームページへのリンク
- VAIOカスタマーリンクへのお問い合わせについて

## ④サポートツール

困ったときに有効なさまざまなサポートツールをこちら から実行できます。

- よく使われるツール(コントロールパネルやマイコン ピュータなど)
- システムの復元ツール
- · Window Update
- ディスクツール
- リモートアシスタンスなど…

# ⑤最新サポート情報

ネットワークに接続すると、こちらからバイオに関する おすすめ情報などの最新情報を見ることができます。 いつもチェックするようにしましょう。

## 各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。

また、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

**ッフト活用**だ タブをクリックし、[付属ソフトご紹介/お問い合わせ先]をクリックして表示される内容には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

#### ・ヒント

#### ヘルプとは

ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、 デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検 索して、表示する機能のことです。

# VAIOカスタマーリンク のホームページを確認 する

本機をインターネットに接続し、VAIOカスタマーリンクホームページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページではお客様の疑問 や質問を解決するための各種サービスと、バイオに関す るサービスやサポート体制についての最新情報を提供し ておりますので定期的にご覧ください。

#### VAIOカスタマーリンクホームページ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

### ・ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の はじめてのバイオ をクリックし、[はじめてのインターネット]をクリックして表示される情報をご覧ください。

# □ VAIOカスタマーリンクホームページを見るには

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動して、 [お気に入り]、 [VAIOを楽しむためのサイト]、 [VAIO ホームページ]、 [サポート(サービス・サポート情報)] の順にクリックする。

VAIOカスタマーリンクホームページが表示されます。

# !ご注意

VAIO カスタマーリンクホームページのイメージは、開発中のものとなります。

インターネットに接続して最新の内容をご確認ください。



#### ①製品から調べる

製品別にお知らせやダウンロードなどのサポート情報をまとめた「製品別サポート情報ページ」が用意されています。製品ごとのアップデートプログラムや他社製品の接続情報が掲載されています。お使いの製品のページをウェブブラウザの「お気に入り」などに追加することをおすすめします。

## ②メニューから調べる

メニューごとにインデックスページが用意されています。各メニューにある項目をクリックする事により、ご覧になりたい項目のページへダイレクトに移動ができます(詳細ボタンをクリックすることで、すべての項目をご覧になれます)。

## ③ ウイルス・セキュリティ情報

バイオをご使用する際におけるセキュリティ関連の情報 を掲載しています。インターネットの普及に伴い、ソフト ウェアの脆弱性を狙った悪意のある第三者の攻撃や、ウ イルスによる被害が増えてきています。

バイオを安全にお使いになるために、常にセキュリティ 関連の情報をチェックしていただいて必要な対策をとら れることを強くおすすめします。

## ④サポートからのお知らせ

お客様への重要なお知らせおよびVAIOカスタマーリンクからの最新のお知らせを掲載しています(一覧ボタンをクリックすることですべてのお知らせをご覧になれます)。

## ⑤サポートページ検索

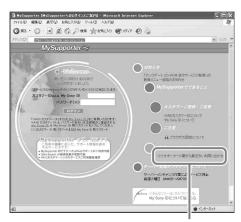
キーワードによる VAIO カスタマーリンクホームページ のサイト内検索ができます (Q&A については「Q&A 検索」 からご利用いただけます)。

## マイサポーターで確認する

「マイサポーター」は、バイオをご所有のお客様ひとりひとりに合わせて、ご所有の機種に対応したサポート情報やご案内を自動的に表示したり、VAIOカスタマーリンクへのコンタクト履歴をご確認いただけるサポートサービスです。

## マイサポーター

https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/



マイサポーターに関する最近多いお問い合わせ

#### ドヒント

- マイサポーターは My Sony ID に対応しています。
- マイサポーターにログインできない場合は「マイサポーターに関する最近多いお問い合わせ」をご覧ください。

### □ マイサポーターでできること

#### 機種の選択

複数の機種をお持ちの場合は、表示させる機種を選択し、 対象機種のサービス・サポートをご確認いただけます。

#### 情報コーナーでチェック

情報コーナーでは、お客様ひとりひとりのご所有機種に 対応したおすすめのサービス・サポートなどをご案内し ます。

#### ご利用履歴の確認

お客様のVAIOカスタマーリンクのご利用履歴(テクニカルWebサポート、修理情報)を確認できます。

#### ・ テクニカルWebサポート履歴

お客様がWebからお問い合わせされた内容とVAIOカスタマーリンクからの回答文の履歴を確認できます(2001年2月以降の履歴を対象とさせていただきます)。

#### 修理履歴

VAIOカスタマーリンクに直接修理をご依頼いただい たバイオ本体の修理履歴を確認できます。

#### ミヒント

マイサポーターをご利用いただくには、お客様がVAIOカスタマー登録を行われていることが必要です(VAIOカスタマーIDとVAIOカスタマーパスワード、またはMy Sony IDと My Sony IDパスワードを入力してマイサポーターヘログインし、ご利用いただくしくみです)。

VAIOカスタマー登録については

http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer/をご覧ください。

# VAIO カスタマーリンク に電話で問い合わせる

# 電話でのサポートをご利用の前に

「バイオ内の情報を調べる」(144ページ)や「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」(146ページ)を行ってもトラブルが解決しなかったときは、VAIOカスタマーリンクに電話でお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問や修理の受付を電話で承っております。

#### ・ヒント

VAIOカスタマー登録をされると、VAIOカスタマーリン クへの電話での技術的なお問い合わせが行えます。

### !ご注意

- 通話料はお客様のご負担となります。あらかじめご了 承の上、お問い合わせください。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していない**OS**、ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

Windows XP Home Edition と Windows XP Professional ではサポート体制が異なります。

お使いのパイオがWindows XP Home Edition搭載モデルかWindowsXP Professional搭載モデルのどちらなのかわからない場合は、「システムのプロパティ」をご覧ください。「システムのプロパティ」を表示するには、「スタート」ボタンをクリックし、「マイ コンピュータ]を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選びます。

# 技術的なお問い合わせは (Windows XP Home Edition 搭載モデルをお使いの場合)

技術的な疑問や質問については、VAIOカスタマーリンクにお電話ください。

本機をお手元に準備し、電源を入れた状態でお電話ください。

お問い合わせ先については、「使いかたのお問い合わせ/ 修理の受付」(155ページ)をご覧ください。

### ・ヒント

#### 「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」について

VAIOカスタマーリンクでの電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。一般的に午前中は電話が混雑しており、午後の方がお電話がつながりやすくなっております。

VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況を見るには、 VAIOカスタマーリンクホームページ

(http://vcl.vaio.sony.co.jp/) にある「各種お問い合わせ」の中から [VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況] をクリックします。

技術的なお問い合わせは(Windows XP Professional 搭載モデルをお使いの場合)

# 電子マニュアルおよびインターネットを使ったお問い合わせについて

バイオには、お客様のご都合のよい時間にいつでも無料でご利用になれる豊富なサポート用ソフトウェアとインターネットを通じたサポートサービスがございます。バイオに関する技術的なお問い合わせをインターネット経由で受け付ける「テクニカルWebサポート」(https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/)を、ぜひご活用ください。

### □ お電話でのお問い合わせについて

バイオの使いかたのご相談や技術的なご質問については、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。本機をお手元に準備し、電源を入れた状態でお電話ください。担当オペレーターが対応いたします。

#### 購入日から90日間は・・・

バイオのご購入日から90日間は、お問い合わせ回数にかかわらず無料でご利用いただける電話サポートをご用意しています。バイオの使いかたなど、ご購入直後のお客様の疑問にお答えします。

### 購入日から90日以降は・・・

バイオご購入日から90日を過ぎた後も電話サポートをご利用になれるように、「アドバンストサポート」という有料の電話サポートのメニューをご用意しています。お客様のお電話をWindows XP Professional 搭載モデル専用のオペレーターにおつなぎして、迅速なサポートをご提供いたします。

ご購入日から90日を過ぎた場合のお電話でのお問い合わせは、次ページの「アドバンストサポートチケット」をご購入の上、ご利用ください。

お問い合わせ先については、「お問い合わせ先について」 (155ページ)をご覧ください。

## □ インターネット経由でのお問い合わせについて

バイオに関する技術的なお問い合わせをインターネット 経由で受け付ける「テクニカルWebサポート」

(https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/) において、原則24時間以内にご回答を返信し迅速な対応をいたします(午前10時までにお受けしたご質問につきましては、原則としてその日のうちに返信させていただきます)。

- \* 本サポートは、特に期限はなく無料でご利用いただけます。
- \* メールでのお問い合わせは承っておりません。
- \* 24時間以内での返信は Windows XP Professional 搭載モデルのみのサービスとなっております。

# □「アドバンストサポートチケット」をご購入いた だくと

ご購入日から90日以降の電話サポートがご利用いただけます。

## 「アドバンストサポートチケット」とは

ご購入日から90日を過ぎてからお電話でバイオに関する 技術的なお問い合わせ(使いかたのご説明など)をされる 場合のメニューです。

下記のチケットをご購入いただくと、チケット1枚でお客様のご質問内容1件について、担当のオペレーターが対応いたします。

#### ・ヒント

- 本チケットは電子チケットです。お客様のお手元に紙 のチケットなどをお届けすることはありません。
- ご質問内容1件とはお電話の回数ではなく、一つの独立した質問で複数に分割できない内容と弊社が判断したものとします。回答完了の判断は弊社の裁量によるものとし、回答完了前に派生した問題は別の問題として数えます。
- ■チケットの種類と価格(2004年3月現在)
  - チケット1枚(単品):2000円(消費税別)
  - チケット3枚:5000円(消費税別)
  - 1年間有効(回数フリー):10000円(消費税別)

#### ■有効期間

ご購入の当日より1年間

#### ご購入について

「アドバンストサポートチケット」のご購入には「お客様サポート番号」または「VAIOカスタマーID」が必要になります。「お客様サポート番号」または「VAIOカスタマーID」について詳しくは、「VAIOカスタマー登録について」(142ページ)をご覧ください。

#### 購入方法

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内 窓口(156ページ)でお電話でお申込みいただけます。

## 支払方法

クレジットカード(VISA·MASTER·JCB、1回払いのみ可能)をご利用ください。

#### ミヒント

ご利用者本人のクレジットカード番号、有効期限をご購入時にお伺いいたします。

代金のお支払いは各クレジットカード会社の会員規約に 従い、ご指定の口座から自動引き落としとなります。

#### 返品・キャンセル・交換について

商品の性質上、お客様のご都合によるご返品、キャンセル、および交換は受け付けておりません。

#### その他

本サービスは、サービス購入者が行うすべてのお問い合わせに完全な回答を差し上げることを保証するものではありません。他社製品との接続、弊社にて再現できない使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

# 「アドバンストサポートチケット」についてのお問 い合わせ

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内 窓口(156ページ)にお問い合わせください。

### ・ヒント

## 「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」について

VAIOカスタマーリンクでの電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。一般的に午前中は電話が混雑しており、午後の方がお電話がつながりやすくなっております。

VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況を見るには、 VAIOカスタマーリンクホームページ

(http://vcl.vaio.sony.co.jp/) にある「各種お問い合わせ」の中から [VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況] をクリックします。

# 修理を依頼される ときは

## 修理依頼の手順

修理を依頼される前に、「バイオ電子マニュアル」の画面上部のキーワード検索で調べたり、「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」(146ページ)の操作を行い、お使いのバイオの症状に合うものがないか確認してください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作を行うことで直ることがあります。

それでも解決できない場合は、以下の手順に従ってお電 話ください。

## ・ヒント

#### 点検サービスも行っております

バイオの各機能(キーボード、ハードディスクドライブなど)が正常に動作しているか点検するサービスも行っております(有料)。

詳しくは、VAIOカスタマーリンクホームページ (http://vcl.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

#### !ご注意

修理時の代替機は用意しておりません。あらかじめご了 承ください。

# **データのバックアップをおとりください。**

データのコピーが可能な場合は、修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様で自身でバックアップをおとりくださるようお願いいたします。弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

データのバックアップをとるには以下のような方法があ ります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- DVD-RW/CD-RW/CD-Rにコピーする。 それぞれの操作方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バオの使いかた」タブをクリックし

て表示される内容をご覧ください。

#### !ご注意

• お使いの機種により、フロッピーディスクドライブや DVD-RW / CD-RW ドライブが搭載されておらず、別 売りの場合があります。バックアップなどで別売りのドライブが必要な場合、お客様にてご用意をお願いします。

OSが起動しないなど、バックアップを行うことができない状態の場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

# 2 VAIOカルテと筆記用具をご用意ください。

VAIOカルテは本機に付属しています。紛失された場合は、VAIOカスタマーリンクホームページ

(http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/karte.html) または FAX 情報サービス (155ページ) より入手してください。 筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号をひかえるのに必要です。



### ・ヒント

弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証にご加入されている場合は、そちらの保証内容もご確認されることをおすすめいたします。

# 3

# VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。



不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合がありますので、ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。お電話は音声認識を用いた自動音声応答で受け付けます。自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。お問い合わせ先については、「使いかたのお問い合わせ/修理の受付」(155ページ)をご覧ください。

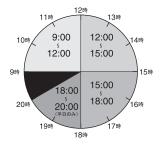
#### ドヒント

自動音声応答において機種情報などが正確に認識できると、担当のオペレーターにつながります。

# 4

# 修理が必要と判断させていただいた場合 は修理の受付をさせていただきます。

修理受付の際に修理受付番号を申し上げますので、お手持ちのVAIOカルテにご記入ください。また、修理品のお引き取り時間を以下の時間帯よりお選びください(一部地域を除く)。



- 9:00~12:00
- 12:00~15:00
- 15:00~18:00
- 18:00~20:00(平日のみ)

#### 1 ご注意

上記は2004年3月現在での選択可能な時間帯です。一部 地域ではご利用いただけない時間帯があります。

5

ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指 定の配送業者が修理品をお客様宅へお引 取りにうかがいます。

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ(本機に付属しています。あらかじめご記入ください。)
- 保証書
- 必要な付属品類

#### ・ヒント

- 受付時に修理品の引き取り日時、場所などを調整させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。
- 引取修理は、VAIOカスタマーリンク修理窓口で修理を受け付け、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅より集中修理拠点へ直送するサービスです。(送料はソニー負担です。)

# 6

# 修理完了後、ソニー指定の配送業者が修 理品をお客様宅へお届けいたします。



#### !ご注意

- 保証期間中でも有償になる場合がございます。詳しくは、保証書に記載されている「無料修理規定」をご覧ください。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは付属の「VAIOカルテ」内『修理代金のお支払い方法について』の欄をご覧ください。(なお、このカードによる分割払いは、VAIOカスタマーリンクで修理受付させていただいた場合の適用となります)

# 「修理・お預かり品インフォメーション」について

VAIOカスタマーリンクホームページの「修理・お預かり 品インフォメーション」では、VAIOカスタマーリンクへ 直接修理のご依頼をいただいた方に、修理の進み具合に 応じて「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修 理完了日」の日程をご案内しております。

修理・お預かり品インフォメーションを見るには、以下の 手順に従って操作します。

#### !ご注意

\_\_\_\_\_ 一部の機種では提供されません。

1

VAIOカスタマーリンクホームページ (http://vcl.vaio.sony.co.jp/) にある[修理 関連のご案内]をクリックする。



ここをクリックする

# [修理・お預かり品インフォメーション] をクリックする。

「サービスのご案内」画面が表示されます。

#### !ご注意

販売店経由で点検や修理依頼をされた場合の修理完了日は、販売店にご確認ください。

# 画面下の[このサービスを利用する]をクリックする。

「修理・お預かり品インフォメーション」画面が表示されます。



ここをクリックする

# 4. 修理受付番号と電話番号を入力し、[検索]をクリックする。

修理完了の予定日が表示されます。

## □ 修理対応について

ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になりますのでご了承ください。

#### □ 修理用補修部品について

ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品を使用することがあります。

また交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

## □ 海外でのご使用時の修理対応について

お買い求めいただいたバイオは、製品に必要な各種の安全 規格の認証を日本で取得した日本国内専用モデルです。 また、製品に付属する保証規定は日本国内のみ有効です。 海外において国内保証規定以外のご使用が起因となり、製 品に不具合が発生した場合は、保証(無償修理)の対象外と なる場合がありますのであらかじめご了承ください。 なお、VAIO Overseas Service(海外サポート修理サービ ス)の用意もございます。詳しくは「有償サービスの種類」 (153ページ)をご覧ください。

# その他のサービスと サポート

# 有償サービスの種類

バイオをより快適に安心してお使いいただくためのサービス、バイオのクリエイティブな世界を体験していただくためのサービスなど各種サービスをご用意しております。

#### !ご注意

一部の機種では提供されません。

# VAIO延長保証サービス

ご所有のバイオが故障した場合(破損、水漏れなど事故の場合を除く)、バイオご購入から3年間の無料修理をご提供する、VAIOご登録カスタマー専用の特別サービスをご用意しております。

詳しくは下記ホームページ「VAIO延長保証サービス」を ご覧ください。

http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/emcs\_plus/index.html

# 2 訪問サポートサービス(有償)

スタッフが直接お客様のご自宅へお伺いし有償で行なう サポートサービスをご用意しております。

詳しくは「自宅で「訪問サポートサービス(有償)」を受ける」(153ページ)または下記ホームページ「訪問サポートご案内」をご覧ください。

http://www.sony.co.jp/css/

# 3 バイオ有償オプションサービス

バイオをより快適にお使いいただくために、ソニー純正の有償オプションサービスをご用意しております。 詳しくは「バイオ有償オプションサービスを利用する」 (154ページ)をご覧ください。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/vyos/index.html

# イ アップデート CD-ROM 送付サービス (有償)

ご所有機種に応じた各種サポート CD-ROMを有償で送付させていただくサービスをご用意しております。 詳しくは下記ホームページ「アップデート CD-ROM送付サービス(有償)」をご覧ください。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/index.html

# 5 アドバンストサポート

Windows XP Professional、Windows 2000 搭載モデル用のサポートプログラムをご用意しております。 詳しくは「技術的なお問い合わせは(Windows XP Professional 搭載モデルをお使いの場合)」(148ページ)をご覧ください。

# う 訪問修理サービス(有償)

ソニーのサービスエンジニアが直接お客様のご自宅へお 伺いし修理を行うサポートサービスをご用意しておりま す。なお、対象機種はパーソナルコンピューターVGCシ リーズのみとなります。

詳しくは「自宅で「訪問サポートサービス(有償)」を受ける」(153ページ)をご覧ください。

# 7 VAIO Overseas Service (海外サポート 修理サービス)

日本国内でご購入されたパーソナルコンピューターVGNシリーズが、海外の対象地域にご滞在中に故障した場合、1年間お電話でサポートいたします。

詳しくは下記ホームページ「VAIO Overseas Service(海外サポート修理サービス)」をご覧ください。 http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/

## 自宅で「訪問サポートサービス(有償)」を受ける

スタッフがお客様のご自宅へ直接お伺いして、各種アップグレード作業やインターネットの接続などを有償で行う「訪問サポートサービス」をご提供しています。 以下のようなサービスがあります。(2004年3月現在)

- パソコンはじめてパック: バイオをお買い上げいただいたときの開梱、接続、動作確認など。
- インターネット設定パック:
   モデム、ウェブブラウザ、電子メールソフトウェアの設定と簡単な操作説明。
- **個人レッスン**: バイオの使いかたや、楽しみかたをご自宅で学べる。
- **バイオ有償オプションサービス**(154ページ)

# パーソナルコンピューターVGCシリーズの訪問修理 サービス:

パーソナルコンピューターVGCシリーズのみ、お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。パーソナルコンピューターVGNシリーズは対象外とさせていただきます。

#### ・ヒント

サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込み前にVAIOカスタマーリンクホームページでご確認ください。

訪問サポートサービスの詳細を見るには、次のように操作します。

VAIOカスタマーリンク ホームページ (http://vcl.vaio.sony.co.jp/) にある[サポート系サービス]をクリックする。



ここをクリックする

# 2 [訪問サポートサービス]をクリックする。

「対面・訪問サポートご案内」画面が表示されます。

### ホームページでのお申し込み

VAIOカスタマーリンクホームページ

(http://vcl.vaio.sony.co.jp/) にある「パソコン訪問サポート」よりお申し込みください。お申し込み手順は、ホームページ上の記載に従ってください。

## バイオ有償オプションサービスを利用する

ソニーではお買上げいただいたバイオをより快適にお使いいただくために、以下のようなソニー純正の各種有償オプションサービスをご提供しております。

各サービスの対象機種やサービス期間、料金については VAIOカスタマーリンク ホームページでご確認ください。 http://vcl.vaio.sony.co.jp/vyos/index.html

#### □ ハードディスクアップグレードサービス

動画ファイルの記憶領域やユーザデータの保存領域が拡 張できます。

一部のパーソナルコンピューター**VGN**シリーズのみの サービスとなります。

#### • データ移行サービス

現在お使いのハードディスク上の内容をそのまま交 換後のハードディスクに移行するサービスです。

 ポータブルi.LINKハードディスクケース移設サービス ハードディスク交換後、元のハードディスクをポータ ブルi.LINKハードディスクケースに移設してお返しするサービスです。

#### □ メモリーアップグレードサービス

データの処理速度や複数のアプリケーションソフトウェ アを同時に起動したときの処理速度が向上します。

## □ キーボード交換サービス

標準キーボードから英語配列キーボードに交換いたします。 英語配列キーボードでプリインストールのOSが使用可能 になります。なお、サービスは英語のみになっております。 パーソナルコンピューターVGNシリーズ(一部対象外) のみのサービスとなります。

### ロ ぴかぴかサービス

ご使用により汚れたり傷ついてしまった外装部品を交換 するサービスです。

一部のパーソナルコンピューター**VGN**シリーズのみの サービスとなります。

#### ホームページでのお申し込み

VAIO カスタマーリンクホームページにある「有償サービスのご案内」の中の「バイオ有償オプションサービス」(http://vcl.vaio.sony.co.jp/vyos/index.html)よりお申し込みください。お申し込み手順は、ホームページ上の記載に従ってください。

## 電話でのお申し込み

VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。 お問い合わせ先については、「使いかたのお問い合わせ/ 修理の受付」(155ページ)をご覧ください。

#### !ご注意

### お申込みに関するご注意

有償オプションサービスは、バイオ本体にソニー純正の 製品をお取り付けするサービスです。

他社製のコンピュータに対してのアップグレードおよび 他社製の製品を使用してのアップグレードサービスはお 受けいたしません。

有償オプションサービスで依頼の前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様自身にてパックアップされますようお願いいたします。弊社の作業により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。なお、アップグレードに使用する増設メモリや増設ハードディスクなどの在庫が無くなり次第、サービスは終了させていただきます。

# 「アップグレード完了予定日インフォメーション」 サービス

VAIOカスタマーリンクホームページの「修理・お預かり品インフォメーション」を使って「本体お預かり予定日」、「アップグレード完了予定日」、「アップグレード完了日」の日程を検索できますのでご利用ください。

アップグレード完了予定日インフォメーションを見るには、「「修理・お預かり品インフォメーション」について」 (151ページ)の手順に従って操作します。

#### ドヒント

ホームページの画面中で「修理品」と記載されている箇所は「アップグレード品」と読みかえてください。

# 対面サポートスポット「テクノスクエア」を利用 する

テクノスクエアでは、バイオを中心としたソニー製関連 製品の使いかたや接続のご相談を行っております。 有料サポートをご希望のお客様は直接テクノスクエアに お越しください。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。 http://www.sony.jp/support/service/TS/index.html

#### !ご注意

- テクノスクエアはお電話でのご相談は承っておりません。
- 修理の受付は修理窓口(155ページ)で承ります。

### FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

#### 1 示注音

一部の機種では提供されません。

## FAX情報サービス

FAX番号: (0466)30-3040

# お問い合わせ先に ついて

# 付属ソフトウェアに関するお問い合わせ

付属のソフトウェアについてはソフトウェアごとにお問い合わせ先が異なります。

「バイオ電子マニュアル」画面上部の ソフト活用サビ をクリックし、画面左側の[付属ソフトご紹介/お問い合わせ 先]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(109ページ)をご覧ください。

## VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

□ VAIOカスタマー登録(142ページ)に関するお問い合わせは

カスタマー専用デスク

電話番号:(0466)38-1410

受付時間:平日 10:00~18:00(年末年始を除く)

通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了 承ください。

なお、バイオの使いかたについてのお問合せ、修理の受付については下記「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

### 使いかたのお問い合わせ/修理の受付

# 使いかたのお問い合わせは

VAIOカスタマーリンク

電話番号:(0466)30-3000

初心者ダイヤル

電話番号: (0466)30-4109

初心者の方でもご理解いただきやすいよう、専任ス タッフがやさしい単語で丁寧にご説明する窓口です。

## 修理の受付は

VAIOカスタマーリンク修理窓口

電話番号:(0466)30-3030

• 通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

- Windows XP Professional 搭載モデルをお使いの場合、技術的なお問い合わせに対しては、本機のご購入日から90日間無料で対応いたします。ご購入日から91日以降は、「アドバンストサポート」による有償でのサポートメニューをご用意しております。(148ページ)
- お電話は音声認識を用いた自動音声応答で受け付けます。自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。

各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

- 付属のソフトウェアについては、「バイオ電子マニュアル」画面上部の プラストを開北 をクリックし、画面左側の[付属ソフトご紹介/お問い合わせ先]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(109ページ)をご覧になり、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお電話ください。
- お問い合わせには、あらかじめ「VAIOカスタマー登録」しておくことが必要です(43ページ)。 なお、登録時にご提供いただく個人情報のお取扱いについては、「お客様の個人情報のお取扱いについて」 (157ページ)をご覧ください。

# 受付時間

平日 10:00~20:00 土、日、祝日 10:00~17:00 (年末年始は除く)

お電話は午前11時以降、または午後の方がつながりやすくなっております。

VAIOカスタマーリンクホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)の「各種お問い合わせ」内の「電話受付混雑状況表」もあわせてご確認ください。

## お電話の前に以下の内容をご用意ください。

- ① お客様のお客様サポート番号、または VAIO カスタマーID(142ページ)
- ② 本機の型名(保証書などに記載されているものです)
- ③ 本機の製造番号(保証書などに記載されている7 桁の番号です)
- ① カスタマー登録いただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

## ・ヒント

A 発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

事本機に接続している周辺機器名(メーカー名と型名)

- ⑥ 表示されたエラーメッセージ
- ⑦ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前**とバージョン
- (8) トラブルが発生する前または**直前に行った操作**
- (9) トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか
- (10) その他お気づきの点

## 修理の場合は

- m VAIOカルテ(修理をお申し込みになるとき)
- ② 筆記用具(修理を受付する際にお伝えする修理 受付番号を控えるのに必要です)

## その他のお問い合わせ

通話料および通信料はお客様のご負担となりますので、 あらかじめご了承ください。

## !ご注意

バイオの使いかたに関するお問い合わせや、修理の受付については「使いかたのお問い合わせ/修理の受付」(155ページ)をご覧ください。

下記のお問い合わせ先では技術的なお問い合わせなどはお受けできません。あらかじめご了承ください。

□ VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口(148ページ)は

電話番号: (0466)30-3099

受付時間:平日 10:00~20:00

土・日・祝 10:00~17:00(年末年始は除く)

□ FAXでの情報提供(155ページ)は VAIOカスタマーリンクFAX情報サービス FAX番号:0466-30-3040

□ VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合 わせ窓口は

電話番号: (0466)30-3016

**受付時間:**平日 10:00~20:00

土・日・祝 10:00~17:00

# お客様の個人情報の お取扱いについて

ソニーマーケティング(株)およびソニー(株)(以下「ソニー」)は、ご登録いただいたお客様の個人情報ならびにお客様がVAIOご登録カスタマー向けのサービス等を利用した際にソニーが記録した履歴について、以下の定めに従い取扱いをいたします。(以下、個人情報と履歴を総称して「お客様の情報」とします)

#### 1. お客様の情報の使用目的について

お客様の情報は、下記の目的で使用させていただきます。 お客様の事前のご了承なく下記目的以外の使用はいたし ません。

- (1)VAIOカスタマーサポートのご提供(製品の保証、修理など)
- (2)製品やサービス・キャンペーン情報(含む広告)のご案内
- (3) お客様のご意見やご感想の回答のお願い
- (4) その他の特典サービスの提供
- (5)統計資料の作成
- 2. お客様の情報の保管・消去

不当に第三者が触れないよう、合理的な範囲内で、厳重に 保管します。

なお、ソニーは、使用目的の達成により継続保管の必要が なくなったと判断した場合、お客様の情報を消去する場 合がございます。

### 3.お客様の情報の開示

下記の場合を除き、お客様のご了承なく第三者に開示いたしません。

但し、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りで はありません。

- (1) お客様にお知らせした使用目的のために、業務を委託する協力会社に開示が必要な場合。(ソニーは、当該協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します。)
- (2)司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合。

### 4.他人の情報の提供について

お客様が、ご自分以外の方の個人情報を登録する場合には、お客様が必ずその方から、ソニーに対して個人情報を 提供することについてご了解をいただいてください。

- 5.お問い合わせ及びその他のご連絡
- (1) 個人情報の照会・修正、またはソニーからの情報配信 を終了する場合、VAIOホームページ
- (http://www.vaio.sony.co.jp/)上からお客様ご自身で必要な手続を行ってください。
- (2) 個人情報の削除をご希望の場合、または VAIOホーム ページがご利用できない場合、前述のカスタマー専用デスクまでお問い合わせください。
- 6.ソニーは、必要に応じて、本内容を変更・修正・追加・削除できるものとします。

ソニーマーケティング株式会社

パーソナル・インフォメーション・マネージメント委員長 発行日:2002年5月1日

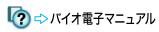
# 主な仕様

モデル	VGN-E70B/S·E70B/B	VGN-E50B/S·E50B/B·E50B/D		
os				
プロセッサ*1		Microsoft® Windows® XP Home Edition		
キャッシュメモリ(CPU内蔵)	インテル <sup>®</sup> Celeron <sup>®</sup> M プロセッサ 1.30 GHz 1次キャッシュ 64 KB.2次キャッシュ 512 KB			
システムバス	1次キャッシュ 64 KB、2次キャッシュ 512 KB 400 MHz			
チップセット	400 WHZ インテル <sup>®</sup> 855GMチップセット			
メインメモリ 標準/最大	512 MB(256 MB×2)/最大2 GB(DDR SDRAM)	256 MB / 最大2 GB(DDR SDRAM)		
メモリバス	266	MHz		
拡張メモリスロット(空き)	SODIMMスロット(DDR266)×2(0)	SODIMMスロット(DDR266)×2(1)		
表示機能 グラフィックアクセラレータ	インテル <sup>®</sup> 855GMチップセットに	内蔵(3Dアクセラレーション対応)		
ビデオメモリ	最大64 MB(メイ	インメモリ共有)		
液晶ディスプレイ	15型XGA(1024)			
表示モード	最大約1619万色 *2 (10	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
外部ディスプレイ出力 *3	最大約 1677万色 (1600 × 1200、1280 × 10	024, 1280 × 768, 1024 × 768, 800 × 600)		
MPEGハードウェアエンコーダボード	▼TV チューナー内蔵 <sup>14 *5</sup> (テレビ録画機能搭載、AV入力対応)     ・録画モード:     高画質モード (MPEG2 8 Mbps 720 × 480 30 fps) 約17分/1 GB 標準モード (MPEG2 4 Mbps 720 × 480 30 fps) 約34分/1 GB 長時間モード (MPEG2 2.5 Mbps 352 × 480 30 fps) 約53分/1 GB     ・	-		
記憶装置 ハードディスクドライブ	約60 GB (Ultra ATA/100) (C:約15	GB/D:40 GB(お買い上げ時)) *6 *7		
CD/DVDドライブ	DVD±RWドライブ *8(固定式)  • 書き込み *9:  DVD+R最大4倍速、DVD+RW最大2倍速、DVD-R最大4倍速 *10、DVD-RW最大2倍速 *11、 CD-R最大4倍速、CD-RW最大約8倍速  • 読み出し *12: 最大8倍速(DVD-ROMの場合)、最大24倍速(CD-ROMの場合) くバッファーアンダーランエラー防止機能搭載 >			
フロッピーディスクドライブ	-	内蔵3.5型(1.44 MB/720 KB *13)固定式		
外部接続端子	USB2.0 (High-speed/Full-s	speed/Low-speed対応)×4		
	i.LINK(IEEE1394) S400(4ピン)×1			
	ネットワーク(LAN)コネクタ(100BASE-TX/10BASE-T)×1			
	ステレオヘッドホン出力(ステレオミニジャック)×1			
	マイク入力(モノラルミニジャック)×1			
	ブリンタボート (D-sub 25 ピン) × 1  AV 出力 (NTSC/PAL 対応、ステレオ音声出力 ) *14 *15 × 1			
	外部ディスプレイ出力 (VGA タイプ、D-sub 15 ピン) * <sup>14</sup> × 1 モデム用モジュラジャック× 1			
	AV 入力(NTSC 対応、ステレオ音声入力)×1	-		
	S映像入力(ミニジャック)×1			
	TVアンテナ(UHF/VHF)入力端子×1			
ワイヤレス通信	2.4GHzワイヤレスLAN(内蔵) (IEEE802.11b/g 準拠、WPA対応、Wi-I ・無線チャンネル: 1~ 14*18     まままりの 20 (VEEE200.41) 準備) 2 FDM/VEEE200.41 準備的 2 FDM/VEEE200.41 FDM/V	Fi適合、Super G対応 <sup>*16</sup> ) <sup>*17</sup>		
メモリースティックスロット	<ul> <li>変調方式: DS-SS(IEEE802.11b準拠)、OFDM(IEEE802.11g準拠)</li> </ul> メモリースティック(標準/ Duo サイズ対応スロット メージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	モリースティック PRO対応 高速データ転送が広) v + *19		
PCカードスロット	メモリースティック (標準 / Duo サイズ対応スロット、メモリースティック PRO対応、高速データ転送対応)×1 **19  Type III × 1またはType II × 2、CardBus対応			
オーディオ機能	AC97準拠			
内蔵モデム <sup>*20</sup>	ソフトウェア MIDI音源、 最大 56kbps <sup>*21</sup> (V.92 および V.9			
入力デバイス		<u> </u>		
主な付属品	インテリジェントタッチパッド、キーボード 「付属品を確かめる」(20ページ)をご覧ください。			
電源	ACアダプタ: AC100-240V,50/60Hz (付属電源コードはAC100V用) *22 バッテリ: 出力電圧 11.1 V			
バッテリ駆動時間 *23*24	付属パッテリ	× 1:約3時間		
パッテリ充電時間 <sup>*25</sup>	- 電源ON時:約2.5時間(約85%)、約3.5時間(約100%) - 電源OFF時:約2.5時間(約85%)、約3.5時間(約100%)			
温湿度条件	<ul> <li>動作温度:5°C~35°C (温度勾配10°C/時以下)</li> <li>動作温度:20%~80%(たたし結踏しないこと、および35°Cにおける湿度は65%以下、湿球温度29°C以下)</li> <li>保存温度:20°C~60°C (温度勾配10°C/時以下)</li> <li>保存温度:10%~90%(たたし、結踏しないこと、および60°Cにおける湿度は20%以下、湿球温度29°C以下)</li> </ul>			
外形寸法(突起物含まず)	約 幅 329 mm×高さ 41.6(最厚	部61.1)mm×奥行296.5 mm		
質量	約3.7 kg(パッ	・テリ装着時) 		
別売品	<ul> <li>リチャージブルバッテリーパック PCGA-BP2EA</li> <li>ACアダプター PCGA-AC19V3</li> <li>増設メモリーモジュール 512MB: VGP-MM512G<sup>*26</sup></li> </ul>			

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- \*1 プロセッサの処理能力は、使用状況により変化します。
- \*2 グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現。
- \*3 外部ディスプレイによっては表示できないモードがあります。
- \*4 CATVの受信はサービス(放送)の行われている地域のみ可能です(C13~C38ch)。CATVを受信するには、使用する機種ごとにCATV会社との受信契約が必要です。なお、スクランブルのか かった有料放送の視聴・録画はできません。詳しくはその地域のCATV会社にお問い合わせ下さい。
- \*5 BS·CSなどの衛星放送および地上デジタル放送は、本機の内蔵チューナーでは受信できません。
- \*6 本機はハードディスク内にリカバリ(お買い上げ時の状態に戻す)に必要なデータを保持します。このリカバリ用の領域として約5 GBを消費します。
- \*7 1 GBを 10億 パイトで計算した場合の数値です。Windows のシステムでは、1 GBを 1,073,741,824 パイトで計算しており、Windows 起動時に認識できる容量は、約50 GB(C:約13 GB/D:約 37 GB) になります。ファイルシステムはNTFSです。
- \*8 本機のドライブは8 cmディスクの書き込みには対応しておりません。
- \*9 使用するディスクによっては一部の書き込み/読み出し速度に対応していない場合があります。
- \*10 DVD-RはDVD for General Ver.2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
- \*11 DVD-RWはDVD-RW Ver.1.1または、DVD-RW Version 1.1/2X-SPEED DVD-RW Revision 1.0をお使いください。
- DVD-RW Version 1.2/4X-SPEED DVD-RW Revision 2.0はご使用できません。 \*12 ソニー製DVD-R for General Ver.2.0、DVD-RW Ver.1.1の読み出しも確認しています。ご使用のディスク・設定・環境によっては再生できない場合があります。
- \*13 720 KBの読み書きは可能ですが、フォーマットはできません。
- \*14 AV出力と外部ディスプレイ出力の同時使用はできません。
- \*15 ビデオ出力を行うには、AVケーブル VMC-20FR(別売)などをご利用ください。
- \*16 通信速度(IEEE802.11b:最大約11 Mbps, IEEE802.11g:最大約54 Mbps)は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波状況 により通信が切断される場合があります。
- \*17 IEEE802.11gは、IEEE802.11bが混在した状態では高速通信ができず、約半分の伝送速度になることがあります。
- \*18 14チャンネルに対する規制が他チャンネルと異なるために、14チャンネルは、IEEE802.11bモードで動作します。14チャンネルは送信時最大2Mbpsまでの仕様になっています。
- \*19 メモリースティックPROではマジックゲート機能は使用できません。
- \*20 一般電話回線のみに対応しています。交換機(PBXやホームテレホンなど)を経由する回線には対応していません。
- \*21 V.92方式が利用できない場合には、V.90モデムとして機能します。56 kbpsはデータ受信時の理論値です。データ送信時は規格上33.6 kbpsが最大値になります。実際の通信速度は回線品質な どの状況により変動します。
- \*22 その他の仕様については、ACアダプタのラベルをご覧ください。
- \*23 省電力モード時。駆動時間は使用状況および設定等により上記時間と異なる場合があります。
- \*24 JEITAパッテリー動作測定法(Ver.1.0)にもとづく駆動時間です。 詳細についてはVAIOホームページ内[サポート]機種別ページで順次ご案内します。
- \*25 充電時間は使用状況により、記載時間と異なる場合があります。
- \*26 お買い上げ時にメモリ増設済みの場合があります。メモリスロットの状況をご確認のうえ(80ページ)、お買い求めください。

# 索引



が付いている項目に関連する情報は、本機にプレインストールされている「バイオ電子マニュアル」内に詳しい情報が記載されています。

# 「バイオ電子マニュアル」の起動方法

[スタート]ボタン $\rightarrow$ [すべてのプログラム] $\rightarrow$ [バイオ電子マニュアル]の順にクリックします。 VAIOランチャーが起動している場合は、 $\bigcirc$ をクリックしてください。

# 【ア行】

アドバンストサポート148, 153, 156
アンテナ変換プラグ20
一般電話回線53, 54, 58
インターネット52,53
インターネット閲覧118
インターネット接続117
ウイルス42, 56, 77, 127, 147
液晶ディスプレイ
22, 103, 118, 135
エラーメッセージ 120, 129, 140
音楽
再生 🕜
作成
音量
音量ボタン34
F 1 7-3

# 【力行】

拡大ボタン	25,	119,	
カスタマー登録 _	_43, 120,	142,	155
カスタマーID		_43,	142
画面		118,	135
カルテ			150
キーボード	22, 32,	118,	131
起動		117,	121
輝度ボタン	_25, 119,	136,	0
輝度ランプ			_25
吸気口			_31
休止状態	_39, 105,	123,	135
携帯電話			118

诘露	103
コンピュータウイルス	1 17
42, 56, 77, 127,	147
【サ行】	
 肖音ボタン 25	5, 34
肖音ランプ	
<b>省電力</b>	1
<b>省電力動作モード</b>	
39, 105, 117,	1
ショートカットキー	1
Fnキーとの組み合わせ	0
Windows キーとの組み合わせ	<b>?</b>
スタンバイ 39,	135
スタンバイボタン	_ 34
スピーカー <b>24, 119, 137</b> ,	
静止画	1
印刷	
再生	
保存	
セキュリティ <b>8, 77</b> ,	
妾続	
· 液晶プロジェクタ	
オーディオ機器	
外部ディスプレイ	
スピーカー	
テレビ	0
ネットワーク(LAN)	0
プリンタ	0
ヘッドホン	0
マイク	0
i.LINK	
USB機器	
设定	
· 音量	
省電力	
タッチパッド	
ディスプレイ	0
本機の使用環境	0
リモコン	0
操作ボタン	
ノフトウェア <u></u> 不正コピー禁止について	
不正コピー祭正について 付属ソフトウェア	

# 【夕行】

F > 13 T	
ダイヤルアップ62,	117
ダイヤルアップ接続	_70
ダイレクトボタン	_34
タッチパッド22, 118, 133,	
チャンネル数字ボタン	
チャンネルボタン	
ディスク	
お手入れ	107
再生	119
作成	
取り扱いについて	
ディスクドライブウィンドウ	_23
ディスプレイ118, 135,	1
表示切り替え	
ディスプレイパネルを開く	
ディスプレイロックボタン	
テクニカル Web サポート	
142, 148	149
1 <del>12</del> , 1 <del>1</del> 8	155
デスクトップ画面	
テレビ	
見る	
録画	
Do VAIO	
テレビ再生118,	
テレビ録画118,	
テレホンコード	59
電源117,	
<sup>1</sup> 入れる	
切る	
コード20	
電子メール72,	
動画	
再生	
作成	
トーン式ダイヤル44	, 62
ドライブ	
アクセスランプ	. 27
アクセスランプ	. 27 . 27
アクセスランプ........ イジェクトボタン....... DVD±RWドライブ......	. 27
イジェクトボタン	. 27
イジェクトボタン	. 27 . 27
イジェクトボタン	. 27 . 27 _24

【八行】	文字入力 118, 131	(F)
パーティションサイズを変更する	モジュラジャック 30, 58, 59	Fn+33
100	モデム 55, 58, 66	
ハードディスク120, 138	モニタコネクタ <b>30</b>	[1]
アクセスランプ 23, 30	F 1-2-3	IDラベル23
データ消去について 108	【ヤ行】	ISDN 53, 54, 60
取り扱いについて 103 バックアップ 88, 103	有償サービス 153	i.LINK 120 コネクタ
リカバリ	【ラ行】	コネグタ26
バイオ電子マニュアル	リカバリ 84	[L]
6, 116, 144, <b>?</b>	ディスクを作成する91	LCD/Videoスタンバイ 135
排気口30	リカバリ領域を削除する 101	ss
パスワード 117		[M]
	リモコン 20, 34, 118, 🔞	30 MONITORコネクタ30
バッテリ20, 105, 105, 105	準備する36	My Sony ID 43, 46, 142
準備する36 バッテリベイ26	ソフトウェア操作 🔞	
バッテリランプ23, 30	リモコン用受光ユニット 20	(N)
パルス式ダイヤル44, 62	/ m <= 1	NETWORK コネクタ 30
パワーボタン 22, 38	【ワ行】	Num Lk = 32
パワーランプ23, 30, 38	ワイヤレスLAN 118, 😯	Num Lockランプ24
<u> </u>	スイッチ	(n)
ファン120	取り扱いについて104	(P)
付属ソフトウェア109	ランプ23	PCカード 119, 🕢
プリンタ119	[A]	イジェクトボタン26
コネクタ30	ACアダプタ 20, 38, 105	スロット
プロセッサ 120	ACアクフタ 20, 36, 105 AC電源 38	取り扱いについて105
フロッピーディスク 119, 🝖	ADSL 53, 54, 59, 64, 118	PRINTER コネクタ 30
イジェクトボタン <b>29</b>	A/V INコネクタ 28	(s)
ドライブ29	A/V OUTコネクタ 30	S VIDEO INコネクタ 28
取り扱いについて104		S VIDEO 歌ケーブル 20
アクセスランプ29	[C]	Scroll Lockランプ24
ヘッドホン119, 137	Caps Lock = 33	<del></del>
コネクタ	Caps Lockランプ 24	(U)
ポインタ40, 134	CATVインターネット回線	USBコネクタ 26, 30
ホームページ 🔞	53, 54, 60	
ボリュームボタン 25, 🝖	CDディスク 119, 🕜	(V)
	お手入れ107	VAIO Update143
【マ行】	再生 119, 🔞	VAIOカスタマーリンク
マイク119	作成	78, 91, 117, 142, 146, 148, 150, 155 VHF/UHFコネクタ28
コネクタ	取り扱いについて103	VOLボタン25
マイサポーター91, 142, 147	CPU 120	25
マニュアルイジェクト穴27		(w)
右ボタン22 メッセージ120, 123, 129, 140	(D)	Windows 40, 77, 94, 98, 116, 145, 148
メモリ120, 123, 123, 140	DC INコネクタ 26, 38	WIRELESS LANスイッチ 28, 29
増設する80	Do VAIO 49, 106, 118, 125, 🕡	WIRELESS LANランプ23
モジュールを取り付ける 80	DV機器 120	
モジュールを取りはずす 83	DVDディスク 119, 🙋	
メモリースティック 119, 🕜	お手入れ107	
アクセスランプ 24	再生	
スロット26	作成119, 🕜	
取り扱いについて104	作成119, <b>1</b> 7 取り扱いについて103	
メモリカード 🕜	取り扱いに Jい C 103 DVD ± RW ドライブ 27	
メモリカードアダプタ	213±1111 7 17 21	

\_\_\_\_\_ 20, 119, 🕡

## 商標について

- へいるはソニー株式会社の商標です。

**MAGICGATE**、OpenMG、**OpenMG** はソ ニー株式会社の商標です。

- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す 呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ" (\*) はソニー株式会 社の商標です。
- 「So-net」、「ソネット」、「So-netのロゴ」は、ソニー株式 会社の商標または登録商標です。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright (c) 2000-2003 Gracenote. Gracenote
   CDDB(R) Client Software, copyright 2000-2003 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending.
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a Trademark of Sony Corp.
- Equaliser for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) 2003 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager and Renaissance Bass plug-ins by Waves Ltd.
- Noise Reduction Effector Powered by DigiOn, Inc.
   Copyright (C) 2003 DigiOn, Inc.
- ASIO Interface Technology by Steinberg Media Technologies AG.
- VST PlugIn Interface Technology by Steinberg Media Technologies AG.
- Digital Music Recognition Technology & MoodLogic for SonicStage Mastering Studio Service provided by MoodLogic, Inc. Copyright(C) 2003.
- Grami All rights Reserved. Copyright Sony Corporation.
   Contains IP3 Technology licensed from Visionarts,Inc.
   A part of software is based on the work of the independent JPEG Group.
- Intel、Pentium、Celeron、Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。

- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、Windows、 OutlookおよびBookshelfは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- SmartMedia (TM) は、株式会社 東芝の商標です。
- MultiMediaCard (TM) は MultiMediaCard Association の商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号 D口 はドルビーラボラトリーズの商標です。
- . Phone およびドットフォンは、NTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- (c) 2003 Google Inc. All rights reserved.
- 「i-フィルター」はデジタルアーツの商標です。
- @niftyはニフティ株式会社の商標です。
- NEC、BIGLOBEは、日本電気(株)の登録商標です。
- DIONはKDDI(株)の商標です。
- ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
- 「ぷらら」は株式会社ぷららネットワークスの登録商標です。
- Yahoo! BBはヤフー株式会社およびソフトバンクBB 株式会社が提供するADSL接続サービスです。 BBフォンはソフトバンクBB株式会社が提供するIP 電話です。
- Adobe、Adobe 口ゴ、Adobe Readerは Adobe
   Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録 商標です。
- Powered by CyberSupport.
   「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
   Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
   Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
- Sun、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴマークは、米国Sun Microsystems,Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ATHEROS and Atheros Total 802.11 Super G are trademarks of Atheros Communications, Inc. The Atheros and Atheros Total 802.11 Super G logos are registered trademarks of Atheros Communications, INC.



• その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

# ソニーが提供する情報一覧

# 付属の取扱説明書類

# ■ 取扱説明書(本書)



はじめにお読みください。 バイオを使うための準備など、お使いに なるうえで大切な情報を記載しています。 (さらに詳しい内容については「バイオ 電子マニュアル」をご覧ください。)

# ■ VAIOで楽しもう!



バイオに付属のソフトウェアの紹介です。 音楽や映像などに関する様々なソフトウェア を活用することで、バイオの楽しみが広がり ます。

# 画面で見るマニュアル

# ■ バイオ電子マニュアル



知りたい情報が、すべてここに集まっています。使いかたを調べたいときや困ったとき、ソフトウェアの活用方法を知りたいときは、まずこちらをご覧ください。

# ■ How to VAIO



「How to VAIO」では、デジタル写真、 デジタル音楽、デジタル映像の楽しみかた を紹介しています。

# ■ ヘルプ/チュートリアル



バイオに付属のソフトウェアにはヘルプや チュートリアルが用意されています。ソフト ウェアの使いかたなどを知りたいときに ご覧ください。

# インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を 閲覧することができます。

■ 困ったときはここで解決!

VAIOカスタマーリンクホームページ http://vcl.vaio.sony.co.jp/

困ったときにご覧ください。状況にあった解決方法を提供しています。

**■ ENJOY VAIO** 

http://vaio.sony.co.jp/Enjoy/index.html

バイオを楽しむための情報をテーマ別にお届けします。

# 電話でのお問い合わせ

■ VAIOカスタマーリンク

使いかたのお問い合わせ 電話番号 (0466) 30-3000

初心者ダイヤル 電話番号 (0466) 30-4109

※初心者の方でもご理解いただきやすいよう、 専任スタッフがやさしい用語で丁寧にご説明する窓口です。

お問い合わせには、「お客様サポート番号」、 または「VAIOカスタマーID」が必要です。

■ カスタマー登録に関するお問い合わせ カスタマー専用デスク 電話番号 03-5977-7255

### 受付時間

平日:10時~20時 土、日、休日:10時~17時 (年末年始は除く)

## 受付時間

平日:10時~18時(年末年始は除く)

VAIOカスタマーリンク 使いかたのお問い合わせ 電話番号 (0466) 30-3000 初心者ダイヤル 電話番号 (0466) 30-4109

※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。 http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。 http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35 http://www.sony.co.jp/

© 2004 Sony Corporation / Printed in China 2-050-910-**01** (1)

